

SANUPS

Lithium-ion Battery UPS

A11K-Li

無停電電源装置

LCDパネル

操作説明書

SANYODENKI


はじめに

このたびは、Uninterruptible Power Supply 無停電電源装置 A11K-Li（以下UPSという）をお買いあげいただき、まことにありがとうございます。

この操作説明書には、LCDパネルのメニュー、機能と操作方法について記載されています。

LCDパネルの操作をする前に必ずこのLCDパネル操作説明書をお読みください。UPSの設置、操作についてはA11K-Liの取扱説明書をご覧ください。お読みになった後は、A11K-Li取扱説明書といっしょにいつでもご覧になれる場所に保管してください。

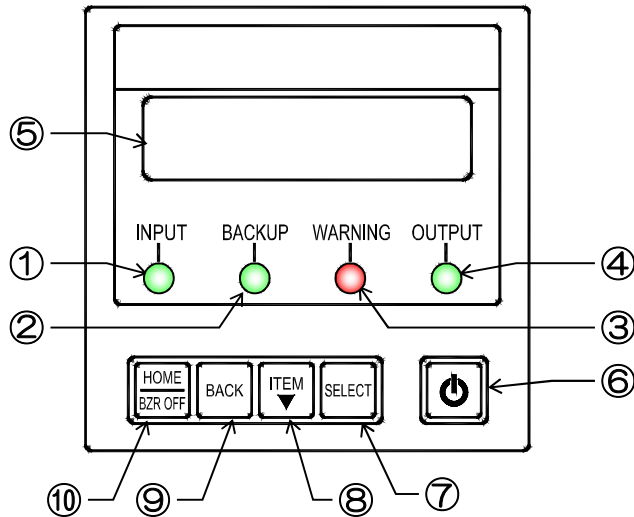
目次

1. LCDパネルの名称と機能.....	1
1.1 LCDパネルの各部の名称.....	1
1.2 ホームメニューの機能.....	2
1.3 LCDパネルの操作方法.....	3
2. UPS の状態を見る.....	5
2.1 UPSの運転状態を見る.....	5
2.2 UPSの出カコンセントの状態を見る.....	7
2.3 UPSの計測情報を見る.....	8
3. UPSの設定をする.....	9
3.1 電圧を設定する.....	11
3.2 周波数変動範囲を設定する.....	12
3.3 インタフェースを設定する.....	13
3.4 通信ポーレートを設定する.....	14
3.5 復電時の動作を設定する.....	15
3.6 ブザー音が鳴る条件を設定する.....	16
3.7 過負荷時の動作を設定する.....	17
3.8  OFF 時のUPS給電状態を設定する.....	18
3.9 入力異常時のバイパス給電切り換え 有効/無効 を設定する.....	19
3.10 軽故障時に転送信号を送出するか設定する.....	20
3.11 試験用の「装置異常」転送信号を送出する.....	21
3.12 試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を送出する.....	22
3.13 バッテリー起動時の出力周波数を設定する.....	23
3.14 入力電圧の下限を設定する.....	24
3.15 バッテリー充電電流値を設定する.....	25
3.16 バッテリー電圧低下警告発生のタイミングを設定する.....	26
3.17 バッテリーテストの実行時間を設定する.....	27
3.18 バッテリーテストのスケジュールを設定する.....	28
3.19 系統コントロールの 有効/無効 を設定する.....	29
3.20 OUTPUT0 コンセントの動作を設定する.....	30
3.21 OUTPUT1 コンセントの「ON」遅延時間を設定する.....	31
3.22 OUTPUT2 コンセントの「ON」遅延時間を設定する.....	32
3.23 OUTPUT1 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する.....	33
3.24 OUTPUT2 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する.....	34
3.25 OUTPUT1 コンセントの停電時出力時間を設定する.....	35
3.26 OUTPUT2 コンセントの停電時出力時間を設定する.....	36
3.27 連動運転時の「ON」遅延時間を設定する.....	37
3.28 連動運転時の「OFF」遅延時間を設定する.....	38

3.29	R I N G信号の設定をする	39
3.30	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性を設定する.....	40
3.31	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性を設定する	41
3.32	復電確認時間を設定する.....	42
3.33	エアフィルタを使用 する/しない を設定する.....	43
3.34	出力電圧の調整値を設定する.....	44
3.35	時刻を設定する.....	45
3.36	設定値をリセットする.....	46
3.37	UPSを再起動する.....	47
4.	UPSの操作をする.....	49
4.1	UPSを起動する または 停止する.....	50
4.2	バッテリーテストをする.....	51
4.3	バッテリーテストの結果を見る.....	53
4.4	バイパス運転に切り換える	54
5.	メンテナンスメニュー（サービス員用）	55
6.	メニュー一覧.....	56
7.	状態表示説明.....	61
8.	計測情報表示について	62

1. LCDパネルの名称と機能

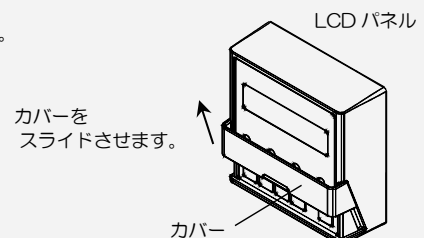
1.1 LCDパネルの各部の名称



番号	名称	表示	色	機能
①	入力 LED	INPUT	緑	点灯 入力電源が正常な場合
				点滅 入力電源が異常な場合
②	バックアップ LED	BACKUP	緑	点灯 バッテリ運転中
③	警告 LED	WARNING	赤	点灯 注意・警告情報または故障発生時、バッテリー運転放電終止
④	出力 LED	OUTPUT	緑	点灯 インバータ運転による給電中
				点滅 バイパス運転による給電中
⑤	LCD 画面	—	—	UPS の状態情報、計測値、保守支援情報、各種設定値、操作などを表示
⑥	ON/OFF ボタン		—	インバータ運転の起動・停止操作
⑦	SELECT キー	SELECT	—	LCD 表示項目・内容の選択・決定
⑧	ITEM キー	ITEM ▼	—	LCD 表示項目・内容の切り換え
⑨	BACK キー	BACK	—	選択の取り消し、LCD 表示（メニュー）階層を戻す
⑩	HOME キー	HOME BZR OFF	—	LCD 表示（メニュー）階層をホームメニューに戻す ブザー鳴動中、ブザー音の停止

LCDパネルについて

- LED の図表示について
LED は、操作説明書の中で【INPUT(緑)】、【WARNING(赤)】のように表示されています。
- LCDパネル操作部のカバーについて
ON/OFF ボタン、キーを操作するときは、カバーを上のスライドさせます。
操作後は、誤操作防止のため、もとに戻してください。



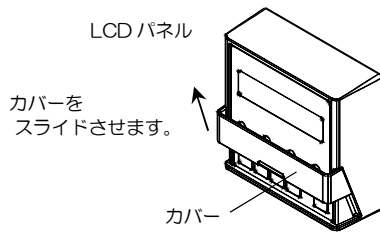
1.2 ホームメニューの機能

LCDパネルには、下記の6つのホームメニューがあります。それぞれのメニューの機能により、設定グループ、設定項目などがあります。表示文字の内容、設定方法の詳細は、それぞれのページをご覧ください。表示項目、設定項目の一覧は「6.メニュー一覧」をご覧ください。

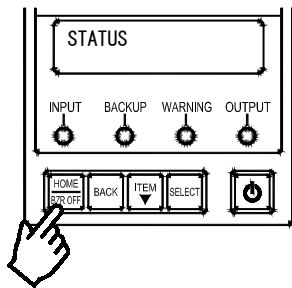
ホームメニュー	機能	詳細
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">STATUS</div> 5～6 ページ参照	ステータス/状態表示 UPSの状態が表示されます。	状態表示項目： 装置の運転モード、 交流入力、交流出力、バッテリー状態、 装置内部の異常、負荷率 など
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">OUTPUT STATUS</div> 7 ページ参照	アウトプット ステータス/出力状態 UPSの出力の状態が表示されます。	表示項目： 出力コンセント 0, A, B, C の 給電 ON/OFF 状態 出力コンセント 1 給電 ON/OFF 状態 出力コンセント 2 給電 ON/OFF 状態
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MEASUREMENT</div> 8 ページ参照	メジャーメント/計測表示 UPSの計測値が表示されます。	計測表示項目： 入力（電圧、周波数） 出力（電圧、電流、電力、負荷率、周波数） バッテリ（電圧、放電電流、充電率、バッテリー残保持時間、 バッテリ状態、停電発生回数、 バッテリ運転積算時間） 充電電力（電圧、電流） 温度（周囲温度、バッテリー温度）
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">SETTING</div> 9～45 ページ参照	セットアップ/設定 UPSの各種設定をします。	設定項目： 入出力：電圧、周波数 インタフェース：インタフェース、通信ポーレート 動作：起動動作、ブザー音、過負荷時の動作、 出力停止時の動作、入力異常時の動作、 軽故障信号の設定、擬似転送信号の送出、 バッテリ起動時周波数、入力電圧の下限、 バッテリ充電電流値 バッテリ：バッテリー電圧低下警告タイミグ バッテリテスト時間、テスト周期 機能1：系統コントロール、連動運転 機能2：RING 信号、PC I/F 信号極性、復電確認時間、 エアフィルタ使用時の設定、出力電圧調整 システム：時刻
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">CONTROL</div> 49～54 ページ参照	コントロール/操作 UPSの操作をします。	操作項目： UPSの起動/停止 バッテリテスト、テスト結果表示 バイパス運転切り換え
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">MAINTENANCE</div> 保守説明書（サービス員用）	メンテナンス/保守 サービス員用のメニューです。 保守用の情報表示、または 設定をします。 お客様は操作をしないでください。 操作方法はサービス員用の保守 説明書に記載されています。	表示項目： 故障履歴表示、操作履歴表示、バッテリー情報、 UPS運転状態、UPS計測値

1.3 LCDパネルの操作方法

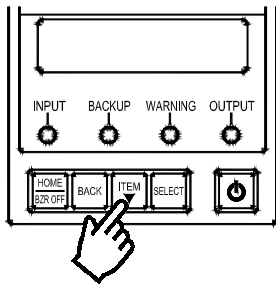
- ① カバーを上へスライドさせます。




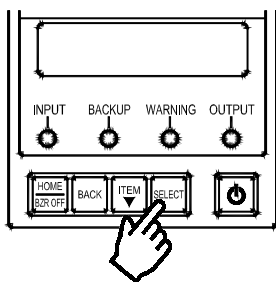
- ②  を押して LCD 画面を表示させます。




- ③  を押して画面を切り換えます。





- ④  を押して項目を決定します。



- ⑤  を押してホームメニューに戻り、カバーをもとの位置に戻します。

ご注意

- UPSのブザーが鳴っているときに、 を押した場合は、ブザー音が停止します。1回押してブザー音が停止しない場合は、ブザー音が停止するまで、複数回押してください。ブザーが鳴っていない状態で  を押さないとLCD画面にメニューは表示されません。
- LCD画面は、10分以上操作をしないとパネルのライトが消灯します。約30秒後にスクリーンセーバーとして、UPS運転モード、入出力電力の計測値情報などがランダムに表示されます。いずれかのキーを押すとホームメニューの「STATUS」が表示されます。
- 実際にLCD画面に表示される文字は、操作説明書に記載されている文字列、配置と異なる場合があります。

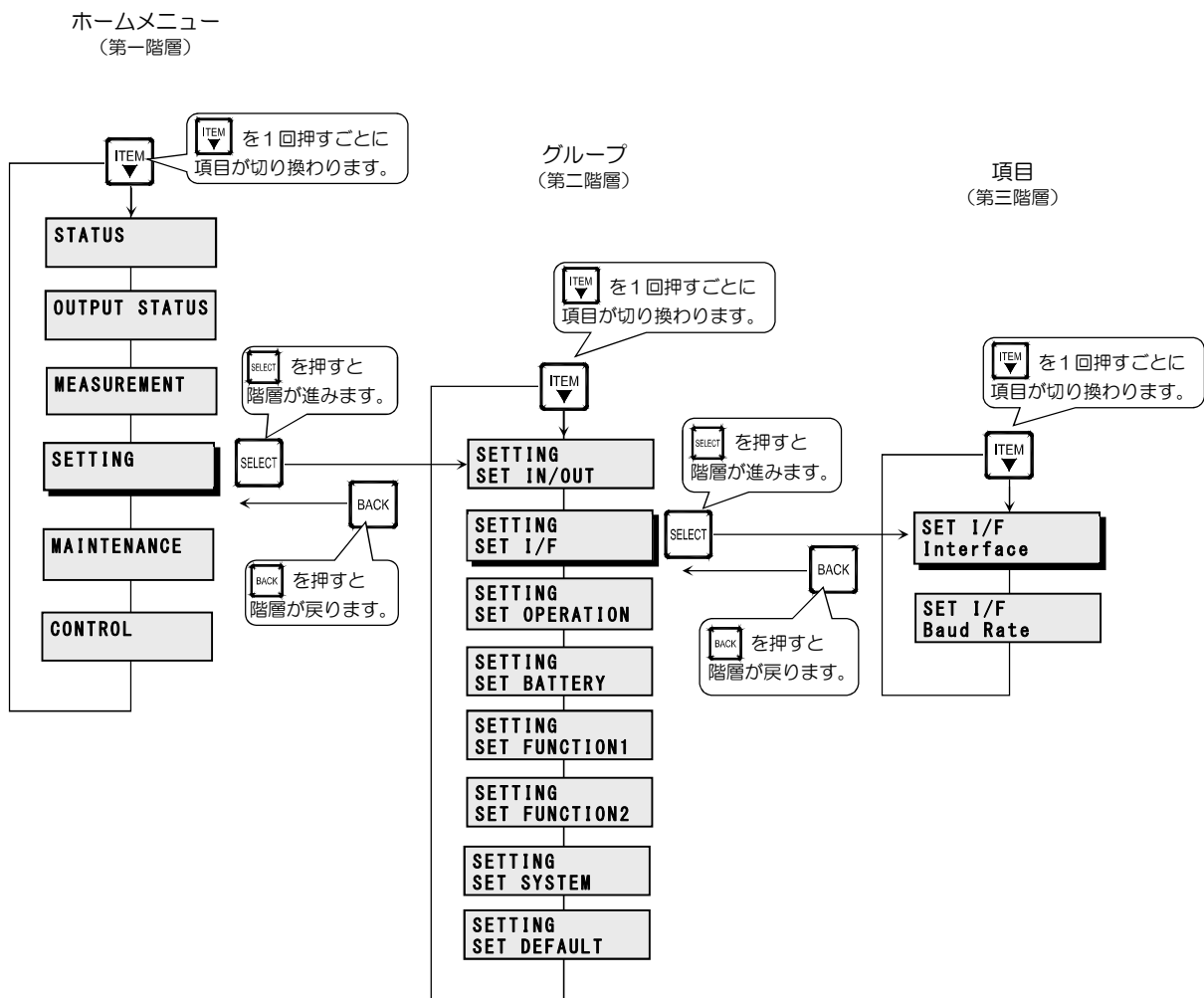
手順③と手順④を繰り返して表示または設定をします。

メニューはすべて下図のような階層で構成されています。

- SELECT を押すと階層が進み、BACK を押すと階層が戻ります。
- それぞれの階層に項目があり、ITEM を1回押すごとに項目が切り換わり巡回します。
- 画面に表示されている項目で、SELECT を押すと、項目が決定され階層が進みます。

階層、項目の数はメニューにより異なりますが、操作方法は同様です。

例：「SETTING」画面で SELECT を押して、SETTING メニューの項目から、インタフェース設定へ進む場合。



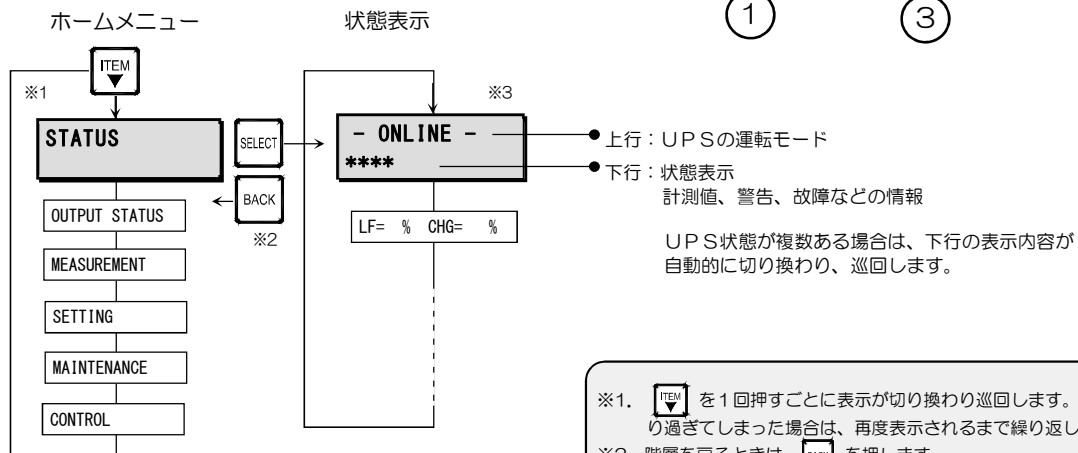
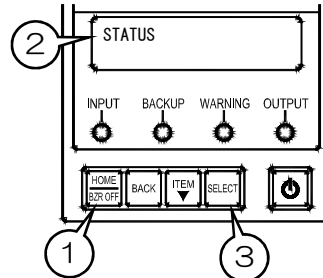
メニューの内容、選択画面の詳細などは各項目のページをご覧ください。

2. UPSの状態を見る

2.1 UPSの運転状態を見る

現在のUPSの運転状態を見ることができます。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② 「STATUS」が表示されていることを確認します。
- ③ **SELECT** を押して状態を表示させます。



ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 表示された内容の詳細につきましては、購入先または当社までお問い合わせください。また、装置異常、故障などが表示されたときは、購入先または当社までご連絡ください。

表示される状態表示は次ページの表のとおりです。

- ④ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

UPSの状態表示の一覧は下表のとおりです。

UPSの状態により、画面上行にいずれかのUPS運転モード、下行にいずれかの状態が表示されます。
表示された状態の詳細、対応方法は「7. 状態表示説明」をご覧ください。

UPS運転モード (上行)		状態表示 (下行)			
表示	内容	表示	内容	表示	内容
STANDBY	待機中	Input Error	入力異常	Batt Vol End	バッテリー放電終止
ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Vol Low	バッテリー電圧低下
BYPASS	バイパス運転中	Input Vol High	入力過電圧	Batt Vol Error	バッテリー電圧異常 (軽故障)
BATTERY	バッテリー運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	Over Load	過負荷
BATT TEST	バッテリーテスト中	INV Vol High	インバータ過電圧 (重故障)	CHG Vol High	充電器過電圧 (重故障)
SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Low	インバータ電圧低下 (重故障)	CHG Vol Low	充電器不足電圧 (重故障)
		Output Stop (HV)	バイパス出力断 (過電圧)	FAN Error	ファン異常 (軽故障)
		Output Stop (LV)	バイパス出力断 (不足電圧)	EEPROM Error	ROM異常 (重故障)
		Byp MCCB Error	バイパスブレーカ異常 (軽故障)	Arrestor Error	避雷器異常 (軽故障)
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	LCD COM Error	LCDパネルとの通信異常 (軽故障)
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	DSP Error	コントローラ異常 (重故障)
		LF= % CHG= % ^{※1}	負荷率 %、バッテリー充電率 %	BUS Error	直流電圧異常 (重故障)
		Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	Fin Temp Error	フィン温度異常 (重故障)
		Remote	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中	Minor Error	軽故障
		Remote OFF	Remote OFF による停止中	Fatal Error	重故障
		Wakeup Wait	復電時確認時限中	ChgRate Wait	充電率起動待ち中
		Wakeup = s	スケジュール起動遅延中	Linked ON = s	連動 ON 遅延中
		Shutdown= s	スケジュール停止遅延中	Linked OFF= s	連動 OFF 遅延中
		Batt Temp Error	バッテリー温度異常 (軽故障または重故障 ^{※3})	Req To Restart	再起動要
		BMS COM Error ^{※2}	バッテリーとの通信異常 (軽故障)	COM Error	UPS内部の通信異常 (軽故障)
		Over Discharge	過放電 (軽故障または重故障 ^{※3})	Over Charge	過充電 (重故障)
		Batt FET Error	バッテリー FET 異常 (重故障)	Cell Balance Err	セルバランス異常 (重故障)




※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

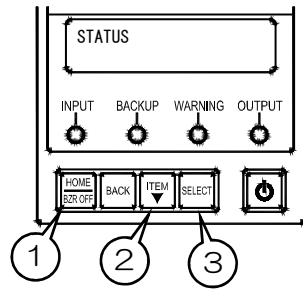
※2. Battery Management System : バッテリーマネジメントシステムの略。

※3. UPSの状態により、軽故障の場合と重故障の場合があります。

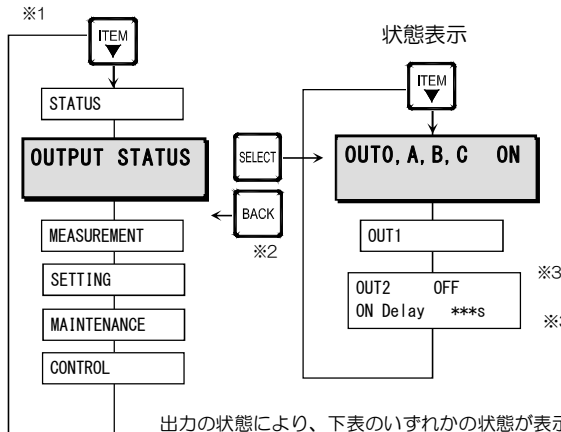
2.2 UPSの出力コンセントの状態を見る

UPSの出力コンセント、出力端子台の電力供給状態を見ることができます。


- ①  を押してLCD画面を表示させます。
- ②  を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③  を押して状態を表示させます。




ホームメニュー



ポイント

※1.  を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。


※2. 階層を戻るときは、 を押します。

※3. 系統コントロール運転のON/OFF遅延時間が設定されている場合は図のように表示されます。

出力の状態により、下表のいずれかの状態が表示されます。
 UPSのモデルにより出力端子の形状（出力コンセントまたは端子台）、表示は異なります。
 ご使用のUPS背面を確認してください。

表示	内容
OUT0, A, B, C ON	OUTPUT0,A,B,C コンセントから電力が供給されています。
OFF	OUTPUT0,A,B,C コンセントの電力供給は停止しています。
OUT1 ON	OUTPUT1 コンセントから電力が供給されています。
OFF	OUTPUT1 コンセントからの電力供給は停止しています。
OUT1 OFF Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定により、OFF 遅延実行中です。OUTPUT1 コンセントからの電力供給は、**秒後に停止します。停止するまでの秒数がカウントダウン表示されます。
OUT1 ON Delay **s	系統コントロール運転の ON 遅延時間の設定により、ON 遅延実行中です。OUTPUT1 コンセントからの電力供給は、**秒後に開始します。開始するまでの秒数がカウントダウン表示されます。
OUT2 ON	OUTPUT2 コンセントから電力が供給されています。
OFF	OUTPUT2 コンセントからの電力供給は停止しています。
OUT2 OFF Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定により、OFF 遅延実行中です。OUTPUT2 コンセントからの電力供給は、**秒後に停止します。停止するまでの秒数がカウントダウン表示されます。
OUT2 ON Delay **s	系統コントロール運転の ON 遅延時間の設定により、ON 遅延実行中です。OUTPUT2 コンセントからの電力供給は、**秒後に開始します。開始するまでの秒数がカウントダウン表示されます。

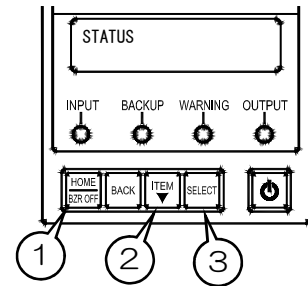
A11KL202、302、502 の場合は、コンセントボックス（オプション）を接続したときの出力コンセントの電力供給状態を示します。

- ④  でホームメニューに戻ります。

2.3 UPSの計測情報を見る

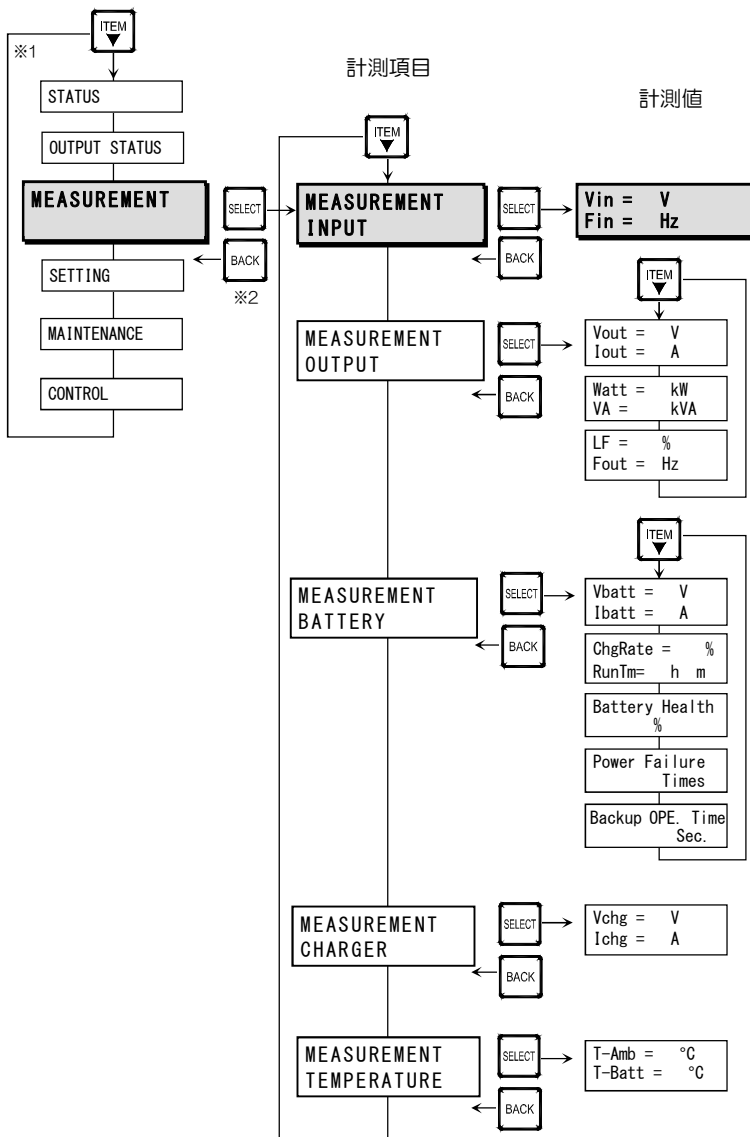
UPSの各種の計測値を見ることができます。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「計測項目」→「計測値」へ進みます。
- ⑤ で計測項目を切り換え、見たい計測値を表示させます。



例：UPSの入力電圧値を見る

ホームメニュー



ポイント

- ※1. を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。

計測項目	計測値	
	計測値表示	内容
INPUT 入力計測値	Vin = V	入力電圧
	Fin = Hz	入力周波数
OUTPUT 出力計測値	Vout = V	出力電圧
	Iout = A ※1	出力電流
	Watt = kW ※1	出力電力(W)
	VA = kVA ※1	出力電力(VA)
	LF = % ※1	負荷率
	Fout = Hz	出力周波数
BATTERY バッテリー計測値	Vbatt = V	バッテリー電圧
	Ibatt = A	バッテリー放電電流
	ChgRate = %	バッテリー充電率
	RunTm = h m ※1	バッテリー残保持時間
	Battery Health % ※2	バッテリー状態
	Power Failure Times	停電発生回数
	Backup OPE. Time Sec.	バッテリー運転積算時間
CHARGER 充電器計測値	Vchg = V	充電器電圧
	Ichg = A	充電器電流
TEMPERATURE 温度計測値	T-Amb = °C	周囲温度
	T-Batt = °C	バッテリー温度

- ※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。
- ※2. バッテリーの容量率を示します。
UPSの取扱説明書「6.2 バッテリーの点検」をご覧ください。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

3. UPSの設定をする

設定メニューには、設定項目別に8つの設定グループがあります。工場出荷時は、初期設定欄に「※」印がある設定値に設定されています。ご使用の環境、用途に合わせて設定してください。設定方法、設定値の詳細は、3.1~3.36の各項目をご覧ください。設定を変更した場合は、現在の設定欄にチェックをしておくことをお勧めします。

設定項目一覧表

ホームメニュー：SETTING

設定グループ	設定項目		設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
	表示	内容	表示	内容				
SET IN/OUT 入出力設定	Voltage	電圧 ★ *1	UPSの電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	100V 110V 120V	出力電圧100V 出力電圧110V 出力電圧120V	※	3.1	11
	FREQ Range	周波数変動範囲 ★ *1	出力周波数の変動範囲(%)を設定。	1% 3% 5% 7%	±1% ±3% ±5% ±7%	※	3.2	12
SET I/F インタフェース設定	Interface	インタフェース	外部インタフェース部のコネクタ使用時のインタフェースを設定。	Standalone WS Terminal	スタンドアロン ワークステーション ターミナル	※	3.3	13
	Baud Rate	通信ボーレート	パーソナルコンピュータ、LANインタフェースカード、ワークステーション接続時の通信ボーレートを設定。	9600 4800 2400	9600bps 4800bps 2400bps	※	3.4	14
SET OPERATION 動作設定	Start Condition	復電時の動作	停電発生時、バッテリー放電終了によるUPS停止後、商用電源が復電した場合のUPSの動作を設定。	Auto	自動起動	※	3.5	15
				STOP	停止			
				BATT>30%	充電率30%以上で起動			
				BATT>50%	充電率50%以上で起動			
	BUZZER	ブザー音	ブザー音が鳴る条件を設定。	ALL	すべて		3.6	16
				Group #0	グループ0	※		
				Group #1	グループ1			
				Group #2	グループ2			
	OVERLOAD	過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への切替後の動作を設定。	Auto Ret BYP Stay on BYP	バイパスから自動復帰 過負荷時バイパス給電	※	3.7	17
	Output @OFF	OFF時給電状態 ★ *1	UPS停止時の給電状態を設定。	OFF BYPASS	出力停止 バイパス給電	※	3.8	18
	Byp OPE. @InputLV	入力異常時のバイパス給電	入力異常時のバイパス給電への切り換え 有効/無効を設定。	Enabled Disabled	有効 無効	※	3.9	19
	MinorErr Signal	軽故障時の転送信号	軽故障発生時に転送信号を送出する/しないを設定。	Output None	送出する 送出しない	※	3.10	20
Test Err Signal	装置異常の疑似転送信号送出	試験用の装置異常の転送信号を送出。	Output None	送出する 送出しない	※	3.11	21	
Tst BatLV Signal	バッテリーLVの疑似転送信号送出	試験用のバッテリー電圧低下の転送信号を送出。	Output None	送出する 送出しない	※	3.12	22	
Bat Start Freq.	バッテリー起動時出力周波数	バッテリー電力で起動するときの出力周波数を設定。	50Hz 60Hz Disabled	50Hz 60Hz 無効	※	3.13	23	
			Variable Fixed	切り換わる 固定	※			
Input LV Level	入力電圧の下限	負荷率により入力電圧の下限が切り換わる/固定を設定。	Variable Fixed	切り換わる 固定	※	3.14	24	
CHGCUR Value	バッテリー充電電流値	負荷率によりバッテリー充電電流値が切り換わる/固定を設定。	Variable Fixed	切り換わる 固定	※	3.15	25	
SET BATTERY バッテリー設定	BATLV Timing	バッテリーLVタイミング	バッテリー電圧低下警告の発生タイミングを設定。	BATT<10%	バッテリー充電 残り10%		3.16	26
				BATT<20%	バッテリー充電 残り20%			
				BATT<30%	バッテリー充電 残り30%	※		
				BATT<40%	バッテリー充電 残り40%			
				BATT<50%	バッテリー充電 残り50%			
BATT TST Length	バッテリーテスト時間	バッテリーテストの実行時間を設定。	2 Min. 5 Min. 10 Min. 15 Min. 30 Min. 90 Min.	2分間実行 5分間実行 10分間実行 15分間実行 30分間実行 90分間実行	※	3.17	27	
			180 Days 90 Days 30 Days None	180日で自動テスト 90日で自動テスト 30日で自動テスト 自動テストしない	※			
			180 Days 90 Days 30 Days None	180日で自動テスト 90日で自動テスト 30日で自動テスト 自動テストしない	※			
			180 Days 90 Days 30 Days None	180日で自動テスト 90日で自動テスト 30日で自動テスト 自動テストしない	※			
			180 Days 90 Days 30 Days None	180日で自動テスト 90日で自動テスト 30日で自動テスト 自動テストしない	※			

設定グループ	設定項目			設定値		初期設定	現在の設定	参照項目	参照ページ
	表示	内容		表示	内容				
SET FUNCTION1 機能設定 1	Output Ctrl	系統コントロール有無 ★ *1, *2	出力コンセントの系統コントロール有効/無効の設定。	Enabled	有効			3.19	29
				Disabled	無効	※			
	OUTPUT0 OPE.	OUTPUT0の動作 *2	OUTPUT1,2コンセント停止後のOUTPUT0の動作を設定。	Stop	給電停止	※		3.20	30
				Continue	給電継続				
	OUT1 ON Delay	OUTPUT1 ON遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT1コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※		3.21	31
				5 Sec.	5秒				
				30 Sec.	30秒				
				1 Min.	1分				
				5 Min.	5分				
	OUT2 ON Delay	OUTPUT2 ON遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT2コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※		3.22	32
				6 Sec.	6秒				
				35 Sec.	35秒				
				1 Min.30 Sec	1分30秒				
				5 Min.30 Sec	5分30秒				
OUT1 OFF Delay	OUTPUT1 OFF遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS停止後、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントから電力供給を停止するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※		3.23	33	
			10 Sec.	10秒					
			30 Sec.	30秒					
OUT2 OFF Delay	OUTPUT2 OFF遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS停止後、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントから電力供給を停止するタイミングを設定。	1 Min.	1分			3.24	34	
			3 Min.	3分					
			5 Min.	5分					
OUT1 RUN TIM @PF	OUTPUT1 停電時運転時間 *2	停電発生時、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントからバックアップを開始してから電力供給を停止するまでの時間を設定。	BATT END	放電終了まで	※		3.25	35	
			0 Sec.	0秒					
			30 Sec.	30秒					
OUT2 RUN TIM @PF	OUTPUT2 停電時運転時間 *2	停電発生時、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントからバックアップを開始してから電力供給を停止するまでの時間を設定。	1 Min.	1分			3.26	36	
			3 Min.	3分					
			5 Min.	5分					
Linked ON Delay	連動ON遅延時間 *3	複数台のUPSを連動運転する場合のON/OFF遅延時間を設定。	0 Sec.	0秒	※		3.27	37	
			10 Sec.	10秒					
			30 Sec.	30秒					
			1 Min.	1分					
			3 Min.	3分					
Linked OFF Delay	連動OFF遅延時間 *3	複数台のUPSを連動運転する場合のON/OFF遅延時間を設定。	5 Min.	5分			3.28	38	
			10 Min.	10分					
			15 Min.	15分					
			0 Sec.	0秒	※				
			10 Sec.	10秒					
SET FUNCTION2 機能設定 2	RING Output	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	Output	出力する			3.29	39
	None	出力しない	※						
	Polarity:PF	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性を設定。	Positive	正	※		3.30	40
				Negative	負				
	Polarity:BatLV	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性を設定。	Positive	正	※		3.31	41
				Negative	負				
	Recov. Chk Time	復電時確認時間	復電時、商用電源が復旧したとUPSが認識するまでの時間を設定。	0 Sec.	0秒	※		3.32	42
				10 Sec.	10秒				
				30 Sec.	30秒				
				60 Sec.	60秒				
	Air Filter	エアフィルタ使用の有無	エアフィルタを使用する/しないを設定。	Use	使用する			3.33	43
	No Use	使用しない	※						
	Out Vol Adj.	出力電圧調整	定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	-5	5段階マイナス			3.34	44
				-4	4段階マイナス				
-3				3段階マイナス					
-2				2段階マイナス					
-1				1段階マイナス					
0				調整しない	※				
+1				1段階プラス					
+2				2段階プラス					
+3				3段階プラス					
+4				4段階プラス					
+5	5段階プラス								
SET SYSTEM システム設定	DATE/TIME	年月日/時刻	UPSの時刻を設定。	DATE YY/MM/DD TIME HH:MM:SS	月日 年/月/日 時刻 時:分:秒			3.35	45
SET DEFAULT 設定値 初期化	SET DEFAULT	工場出荷時の状態にリセット。		-	-			3.36	46

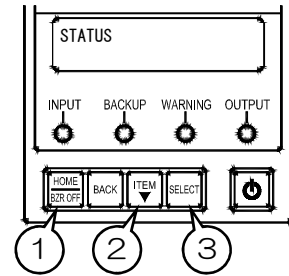
ご注意

- *1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。設定変更をした場合は「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。
- *2. UPSを複数台接続し連動運転をする場合は、オプションの連動ケーブル、リモートスイッチが必要です。

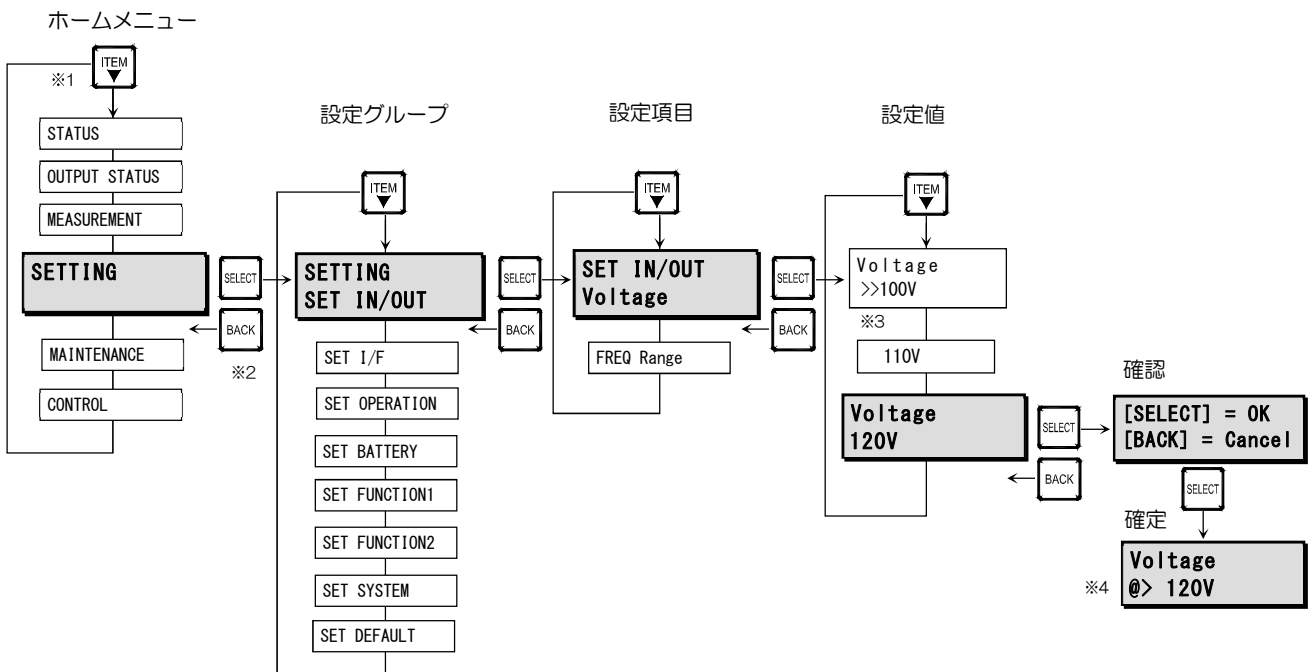
3.1 電圧を設定する

UPSの電圧を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：出力電圧を「120V」に設定変更する場合



ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
100V	UPSの出力電圧を設定します。
110V	入力電圧と出力電圧は同一です。
120V	入力電圧を確認し、同じ電圧を選択してください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

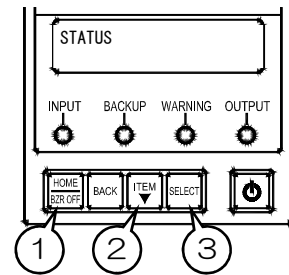
ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

3.2 周波数変動範囲を設定する

出力周波数が入力周波数に同期する追従範囲を設定します。

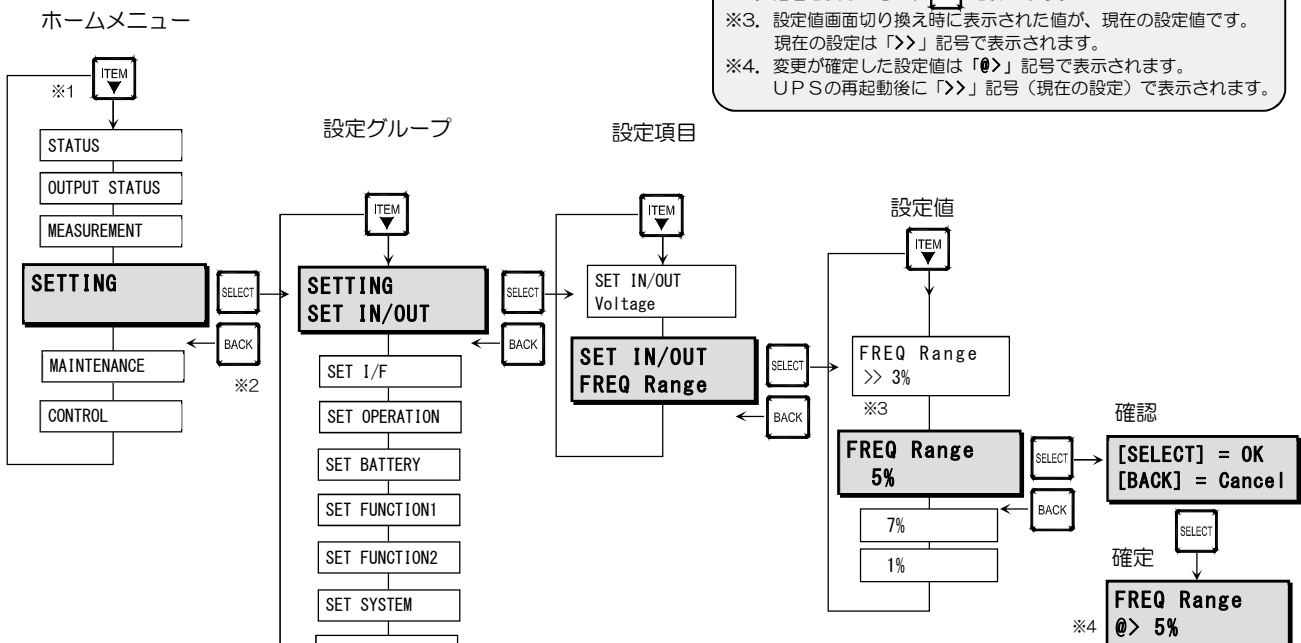
- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：周波数変動範囲を「5%」に設定変更する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更が確定した設定値は「@>」記号で表示されます。UPSの再起動後に「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
1%	入力周波数の±1%
3%	入力周波数の±3%
5%	入力周波数の±5%
7%	入力周波数の±7%

初期設定

数値が小さいほど出力周波数の精度がよくなりますが、入力周波数が不安定な場合はバッテリー運転に切り換わりやすくなります。エンジン発電機の出力に接続する場合などは「5%」以上を選択してください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

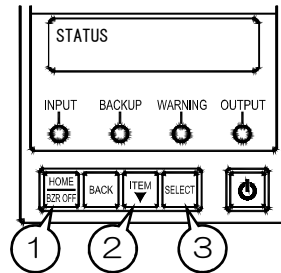
ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください、UPSを再起動してください。

3.3 インタフェースを設定する

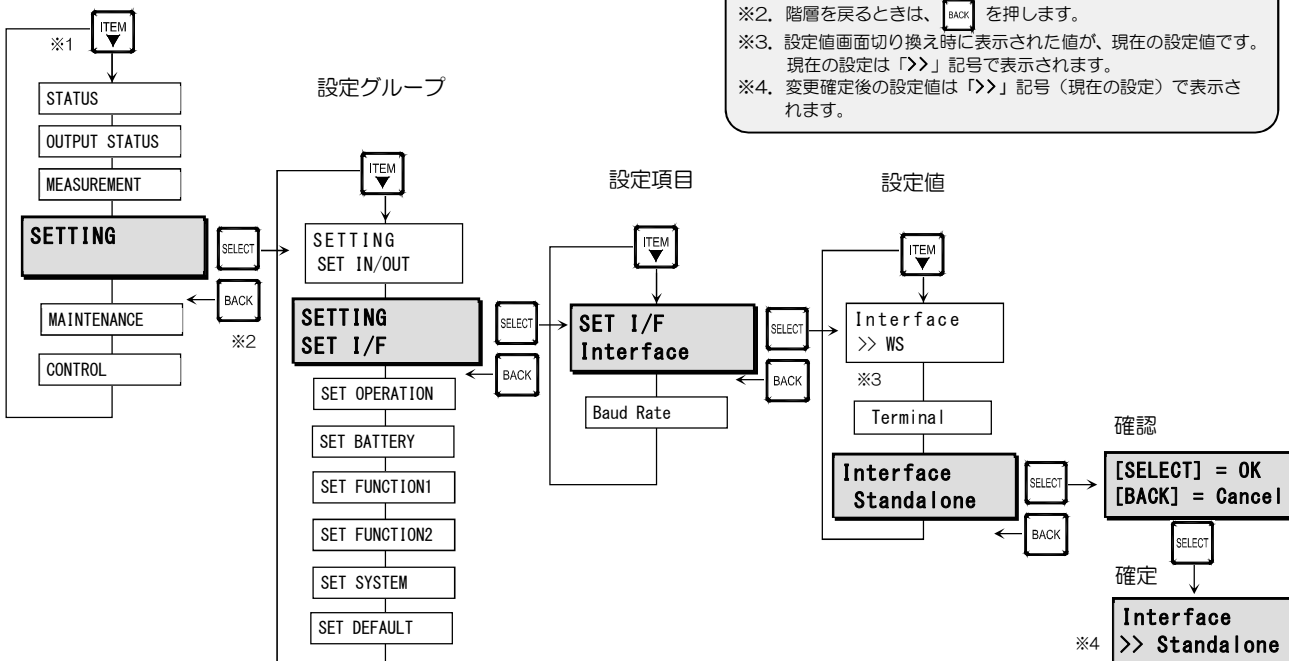
UPS背面のPC I/F、CARD I/F、REMOTE 端子を使用する場合のインタフェースを設定します。
 詳細は、UPS取扱説明書「5. UPSを使う・・・応用編」をご覧ください。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：インタフェースを「Standalone」に設定する場合

ホームメニュー



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
Standalone スタンドアロン	下記を使用する場合に選択。 ・リモートスイッチによるUPSのリモートON/OFF機能
初期設定 WS ワークステーション	下記を使用する場合に選択。 ・電源管理ソフトウェア ・LANインタフェースカード ・リモートスイッチによるコンピュータのワンタッチシャットダウン機能
Terminal ターミナル	この設定値には設定しないでください。

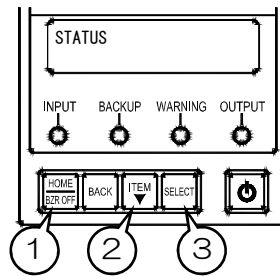
接点インタフェースカードは、「Standalone」または「WS」のどちらかに設定されていても使用できます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

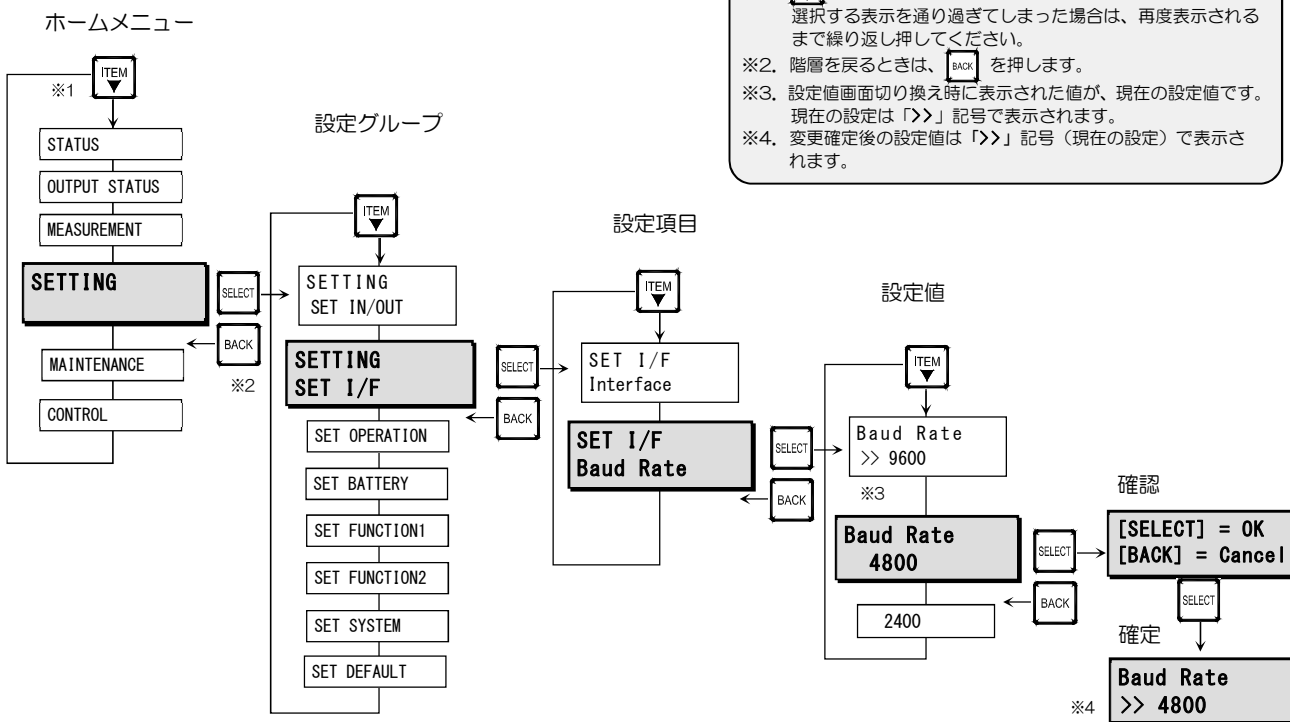
3.4 通信ボーレートを設定する

ワークステーション、パーソナルコンピュータ、LANインタフェースカードなどを接続する場合の通信ボーレートを設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：通信ボーレートを「4800」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
初期設定	9600	通信ボーレート 9600 bps
	4800	通信ボーレート 4800 bps
	2400	通信ボーレート 2400 bps

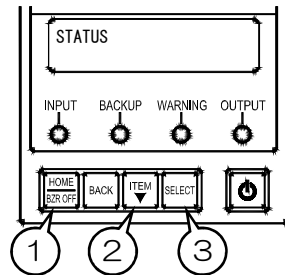
LAN インタフェースカードを使用する場合は「9600bps」に設定してください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

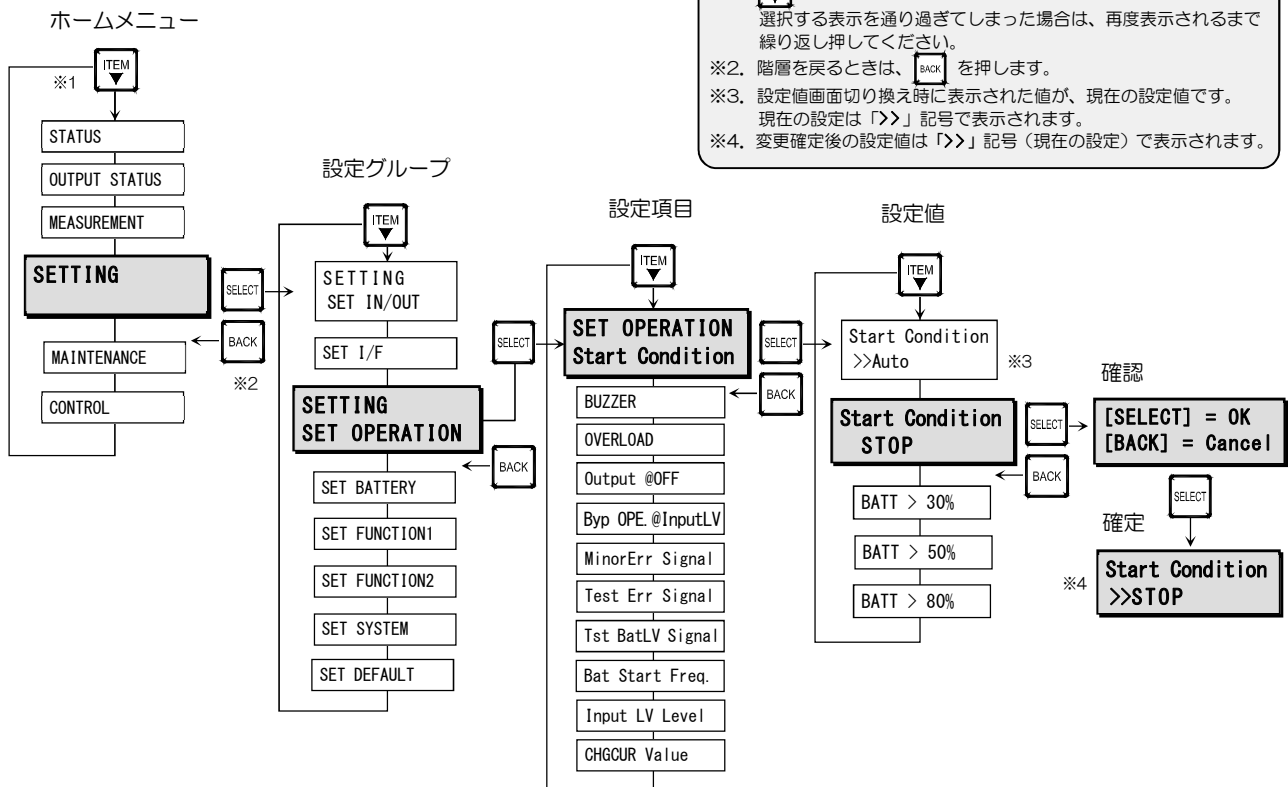
3.5 復電時の動作を設定する

停電発生時、バッテリー放電終止によりUPSが停止した後、商用電源が復帰した場合のUPSの動作を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：復電時の動作を「STOP」（停止）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 Auto	自動 商用電源が復帰した場合、UPSは自動的に起動します。
STOP	停止 商用電源が復帰しても、UPSは停止したままです。 ただし、「3.8」で「BYPASS」が選択されている場合は、バイパス給電となります
BATT > 30%	30%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリーが30%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
BATT > 50%	50%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリーが50%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。
BATT > 80%	80%以上 商用電源が復帰した場合、バッテリーが80%以上に充電されると、自動的にUPSが起動します。

- ・復電時「3.32 復電確認時間を設定する」で設定した時間が経過した時点で、UPSは商用電源が復帰したと認識し、動作を開始します。
- ・電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した充電率でUPSが起動します。上記の操作で「STOP」以外の設定に設定した場合、設定値は有効になりません。

この場合、上記の操作で設定値を表示させると **Start Condition >> BATT > 5%(Val)** のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。

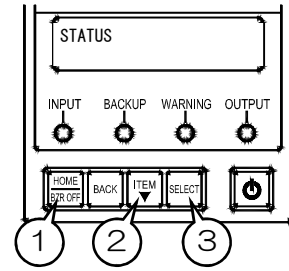
この設定値は **ITEM** を押すと表示されなくなりますが、いったん、**BACK** で戻り **SELECT** を押すと再度、表示されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

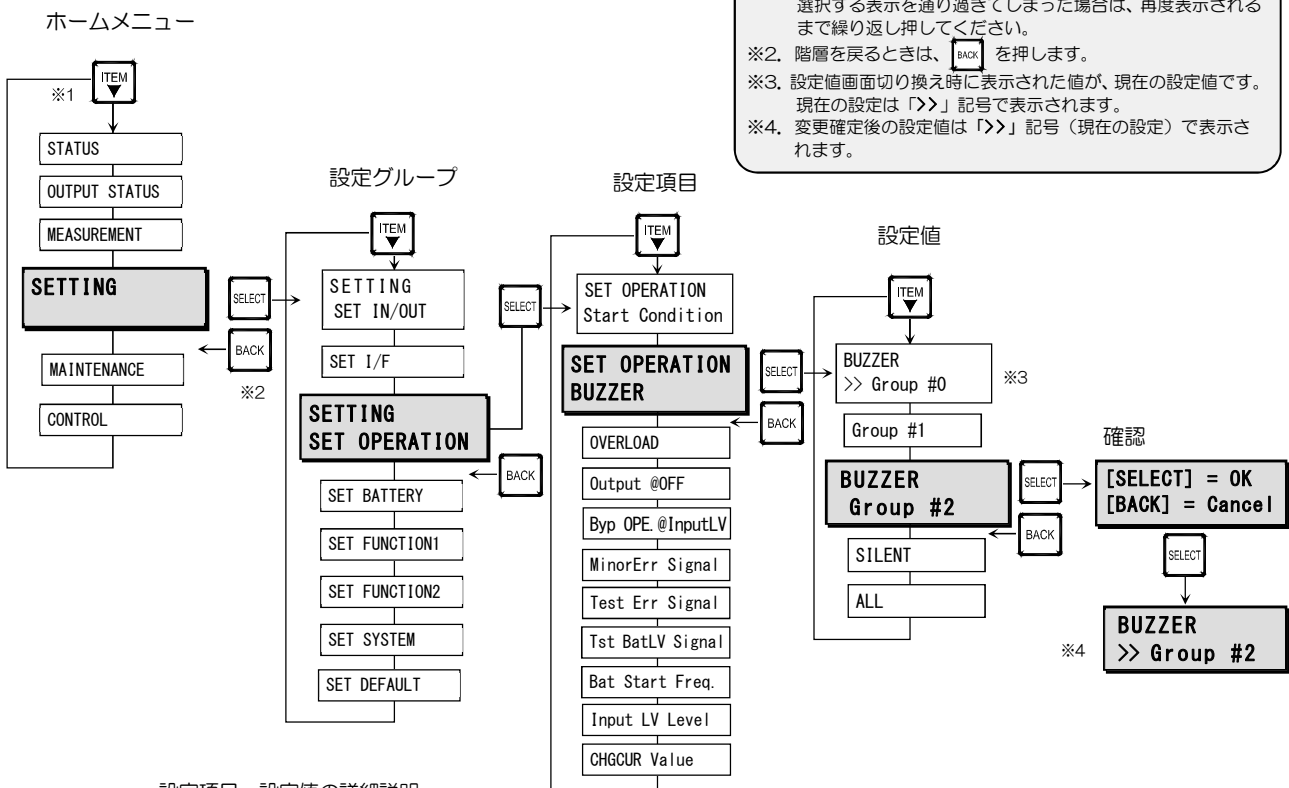
3.6 ブザー音が鳴る条件を設定する

ブザー音が鳴る条件を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：ブザーが鳴る条件を「Group #2」に設定する場合



ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

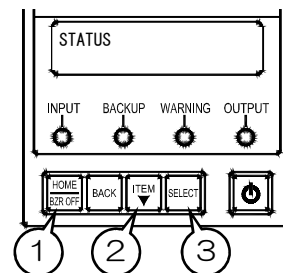
設定値	ブザー音が鳴る条件	
ALL	すべての状態	<ul style="list-style-type: none"> ・キークリック音 ・重故障発生時 ・放電終止発生中 ・軽故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時 ・自動、手動、電源管理ソフトウェアによるバッテリーテスト中 ・自動、手動によるバッテリーテスト結果異常時 ・バッテリー電圧低下時 ・過負荷時（バイパス運転中） ・バッテリー運転中 ・バッテリー電圧異常時
初期設定	Group #0	グループ0 <ul style="list-style-type: none"> ・キークリック音 ・重故障発生時 ・放電終止発生中 ・軽故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時 ・手動によるバッテリーテスト中 ・自動、手動によるバッテリーテスト結果異常時 ・バッテリー電圧低下時 ・過負荷時（バイパス運転中） ・バッテリー運転中 ・バッテリー電圧異常時
	Group #1	グループ1 <ul style="list-style-type: none"> ・キークリック音 ・重故障発生時 ・放電終止発生中 ・軽故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時 ・バッテリー電圧低下時
	Group #2	グループ2 <ul style="list-style-type: none"> ・キークリック音 ・重故障発生時 ・電源管理ソフトウェアからのブザー鳴動要求時 ・バッテリー電圧低下時
	SILENT	停止 <ul style="list-style-type: none"> ・キークリック音

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.7 過負荷時の動作を設定する

過負荷によりバイパス給電へ切り換わった後にUPS給電に戻るための条件を設定します。

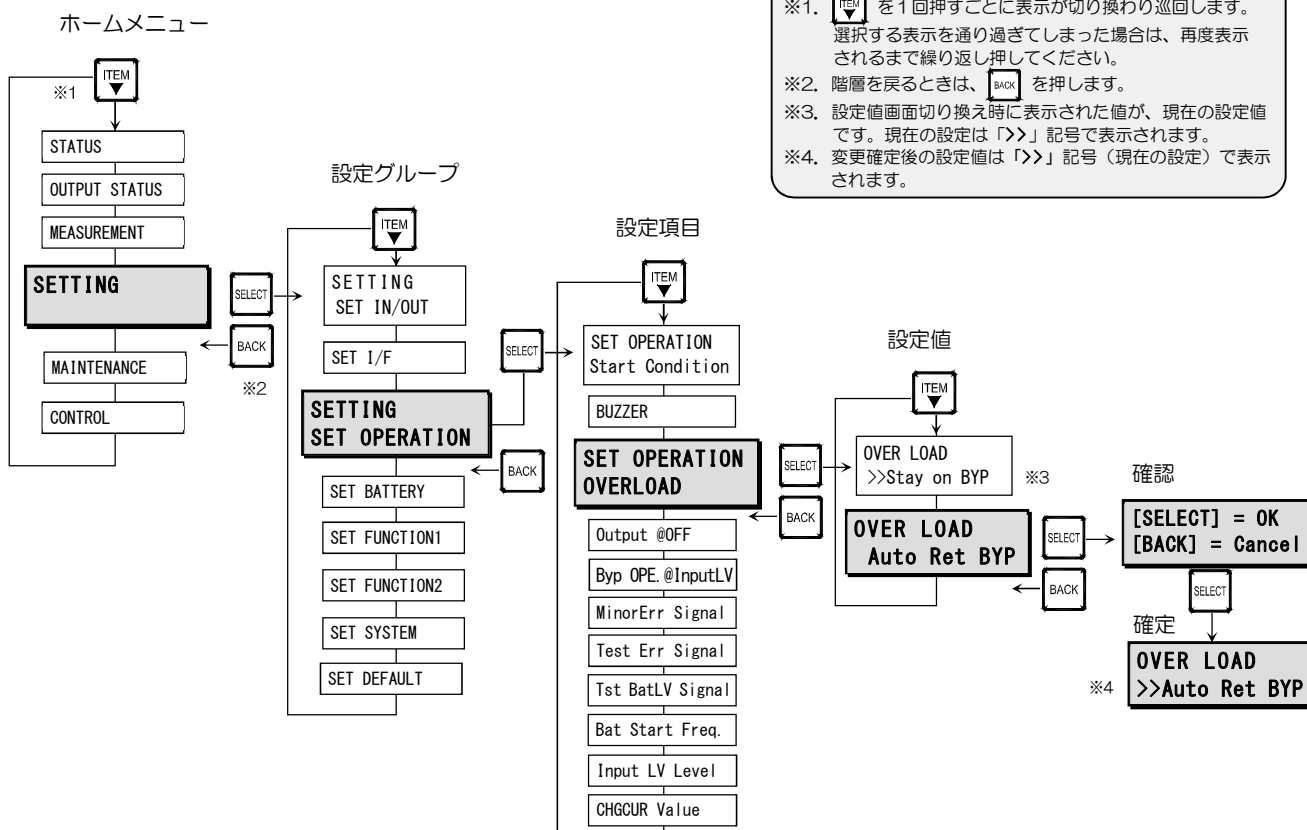
- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：過負荷時の動作を「Auto Ret BYP」（自動復帰）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
Auto Ret BYP	自動復帰 過負荷によりバイパス給電に切り換わった後、一定時間で自動的にUPS給電へ切り換わります。過負荷状態が継続している場合は、再度バイパス給電へ切り換わり、この動作が繰り返されます。
初期設定 Stay on BYP	バイパス給電 過負荷状態が継続している場合は、バイパス給電が継続されます。過負荷状態が解消されるとUPS給電に切り換わります。バイパス給電に切り換わったときの商用電源の電圧値により、UPS給電とバイパス給電の切り換えが繰り返されることがあります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.8 OFF時*のUPS給電状態を設定する

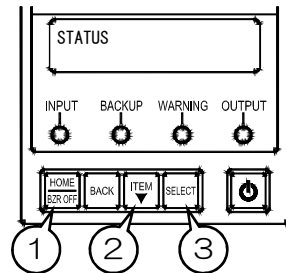
ボタンのOFF操作によりUPSを停止した場合のUPSの給電状態を設定します。

* OFF時とは・・・

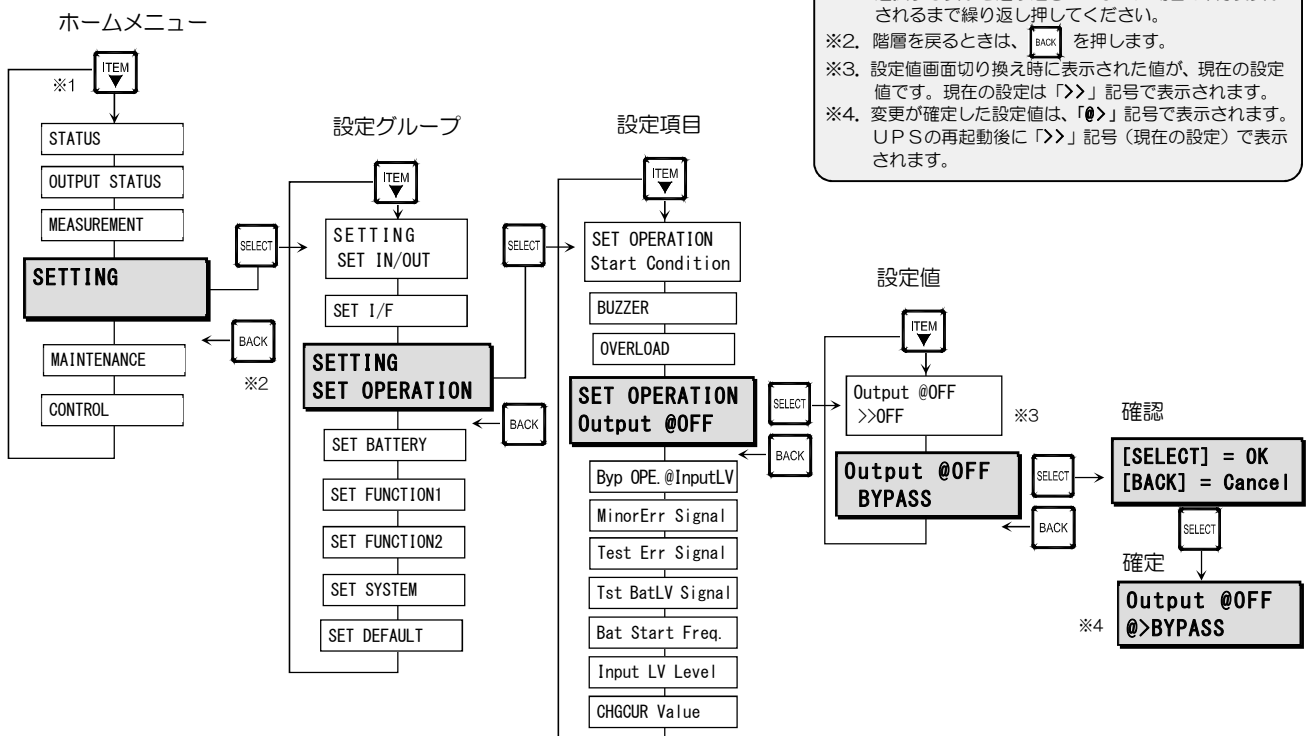
この場合のOFF時とはUPSが下記の状態を指します。

- LCDパネルの ボタンを押して「INV OFF」操作をしてUPSを停止。
- LCD画面に「-STANDBY-」または「-BYPASS-」が表示、【INPUT(緑)】が点灯。
- UPSの入力電源プラグは商用電源に接続されている、かつ入力ブレーカがあるモデルの場合 **MAIN MCCB** は「ON」。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：OFF時の給電状態を「BYPASS」（バイパス給電）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	OFF	出力停止 UPSは停止し、電力は供給されません。
	BYPASS	バイパス給電 バイパス給電へ切り換わり給電が継続します。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

3.9 入力異常時のバイパス給電切り換え 有効/無効 を設定する

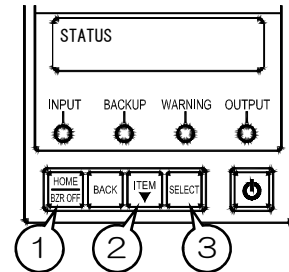
入力異常*¹が発生している場合に、UPSが下記の状態*²になったとき、UPSがバイパス給電に切り換わるか、切り換わらないかを設定します。

★ご注意

- ★1. 入力異常とは、つぎの2つの状態です。
- ・入力電圧低下
 - ・入力周波数異常

- ★2. 下記の状態とは、つぎの3つの状態です。
- ・過負荷
 - ・UPS故障
 - ・バッテリー放電終止

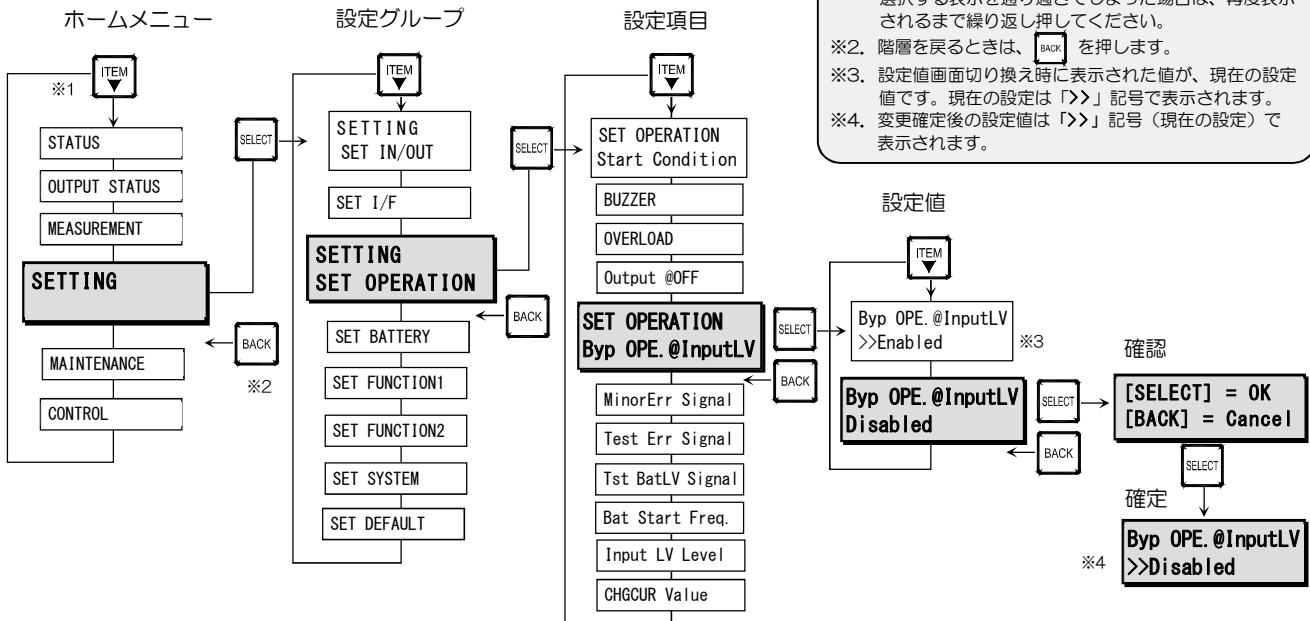
- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バイパス給電に切り換わらない「Disabled」（無効）に設定する場合

ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	初期設定	有効	無効	詳細
Enabled	有効			入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合、バイパス給電に切り換わり給電が継続します。
Disabled			無効	入力異常（入力電圧低下、または入力周波数異常）の場合は、バイパス給電に切り換わりません。この設定値に設定した場合、バイパス給電中に入力電圧低下、または入力周波数異常が発生したときは、電力供給が停止します。

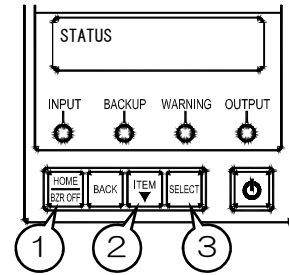
入力過電圧はこの場合の入力異常に含まれません。
 入力過電圧の場合は、「Enabled」（有効）／「Disabled」（無効）のどちらに設定されていても、バイパス給電に切り換わりません。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

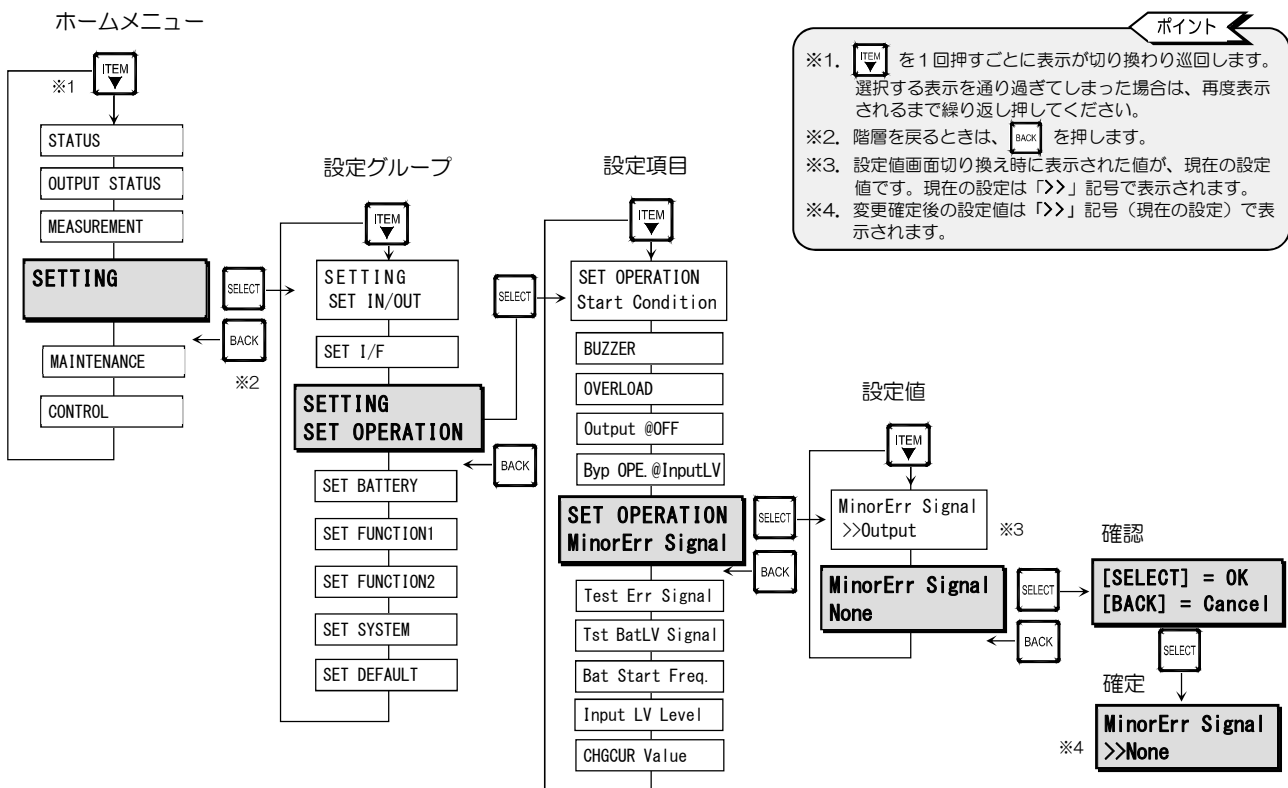
3.10 軽故障時に転送信号を送出するか設定する

軽故障が発生したとき、CARD I/F コネクタの「装置異常」転送信号を送出するかしないかを設定します。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：軽故障時、「装置異常」転送信号を送出しない「None」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

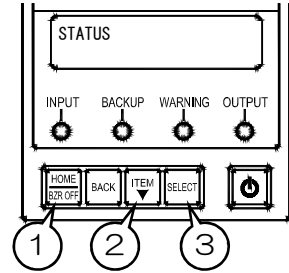
設定値	詳細
初期設定 Output 信号を送出する	軽故障発生時、つぎの転送信号が送出されます。 ・CARD I/F コネクタから送出される転送信号の「装置異常」に軽故障が含まれ、故障発生時に転送信号が送出されます。 重故障／軽故障の判別はできません。
None 信号を送出しない	軽故障発生時、つぎの転送信号は送出されません。 ・CARD I/F コネクタの「装置異常」

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

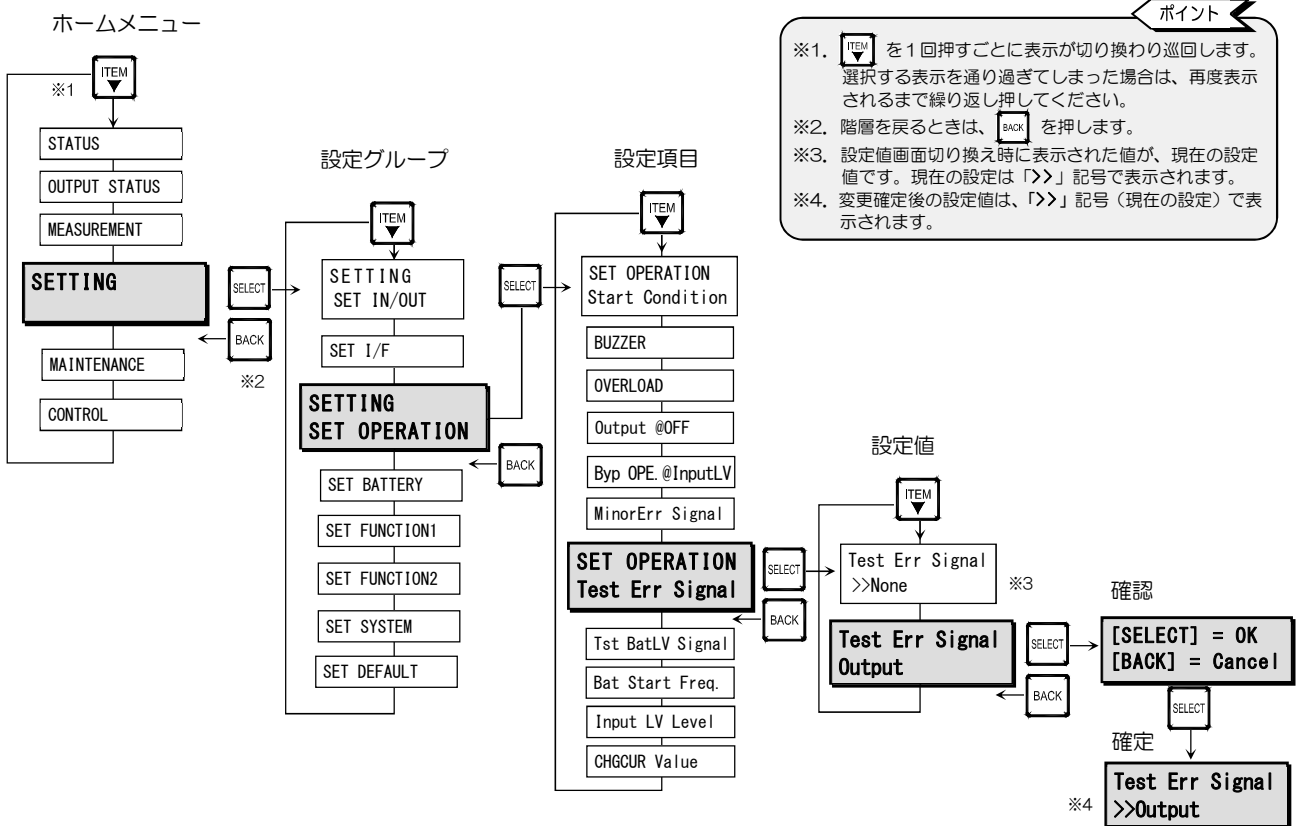
3.11 試験用の「装置異常」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に CARD I/F コネクタおよび SIGNAL 端子から「装置異常」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **HOME** / **BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：試験用の「装置異常」転送信号を送出する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
<p>初期設定</p> <p>None</p> <p>信号を送出しない</p>	<p>信号は送出されません。試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。</p>
<p>Output</p> <p>信号を送出する</p>	<p>外部インタフェース部の CARD I/F コネクタおよび SIGNAL 端子から擬似的に「装置異常」信号が送出されます。設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「None」に設定してください。</p>

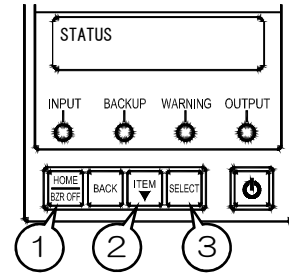
「Output」に設定しても、UPSを停止（入カプラグを抜く、または **MAIN MCCB** を「OFF」）した場合は、再起動時に、初期設定「None」に戻ります。

- ⑥ **HOME** / **BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

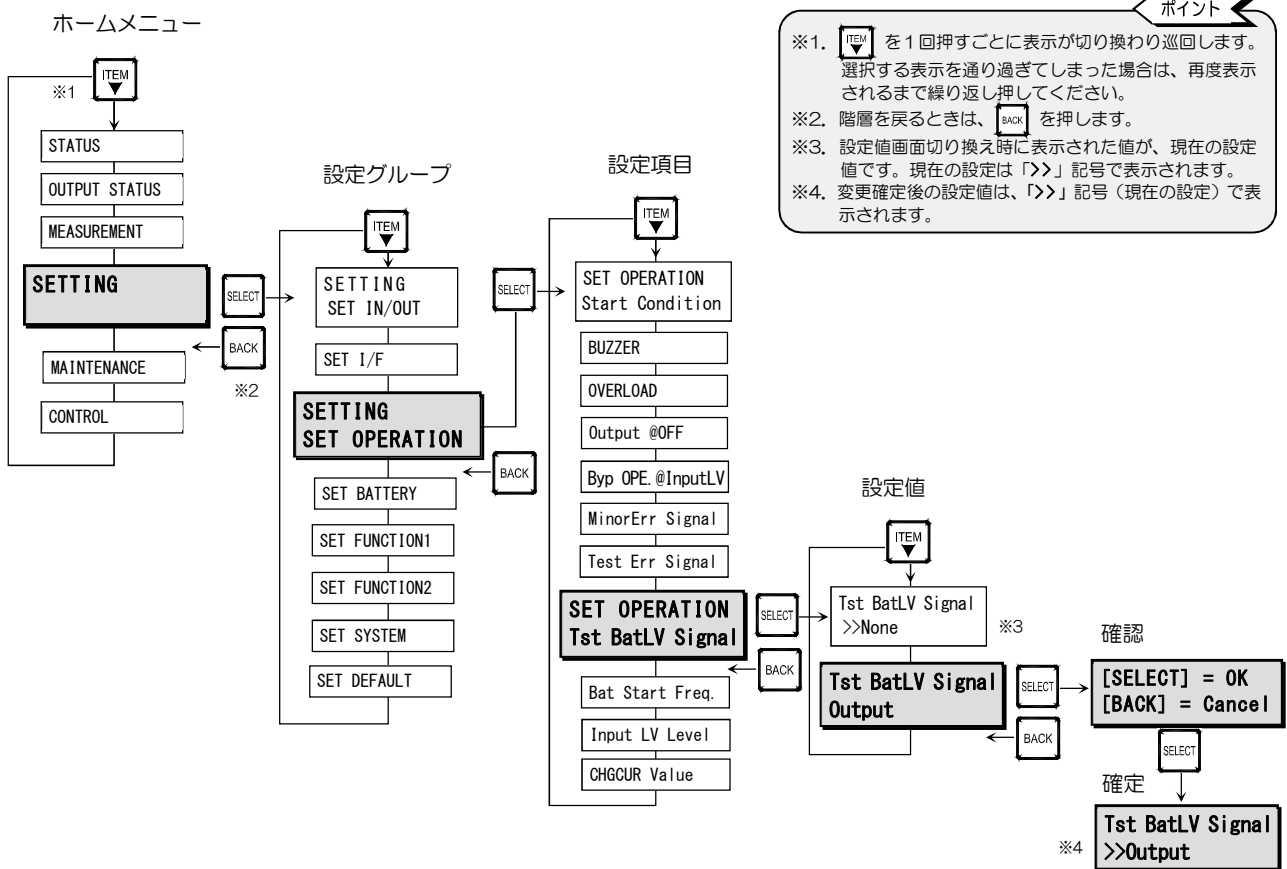
3.12 試験用の「バッテリー電圧低下」転送信号を送出する

設備試験などのため擬似的に CARD I/F コネクタから「バッテリー電圧低下」転送信号を送出します。作業終了後は必ず設定をもとに戻してください。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：試験用の「バッテリー電圧低下」信号を送信する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定 None	信号を送出しない 信号は送出されません。 試験などを実施するとき以外は、この設定値に設定しておいてください。
Output	信号を送出する 外部インタフェース部の CARD I/F コネクタから擬似的に「バッテリー電圧低下」信号が送出されます。 設備の試験時などに設定してください。この設定値に設定されている間は、信号送出が継続しています。試験などの作業が終了した後は、必ず「None」に設定してください。

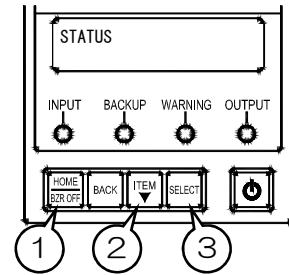
「Output」に設定しても、UPSを停止（入力プラグを抜く、または **MAIN MCCB** を「OFF」）した場合は、再起動時に、初期設定「None」に戻ります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

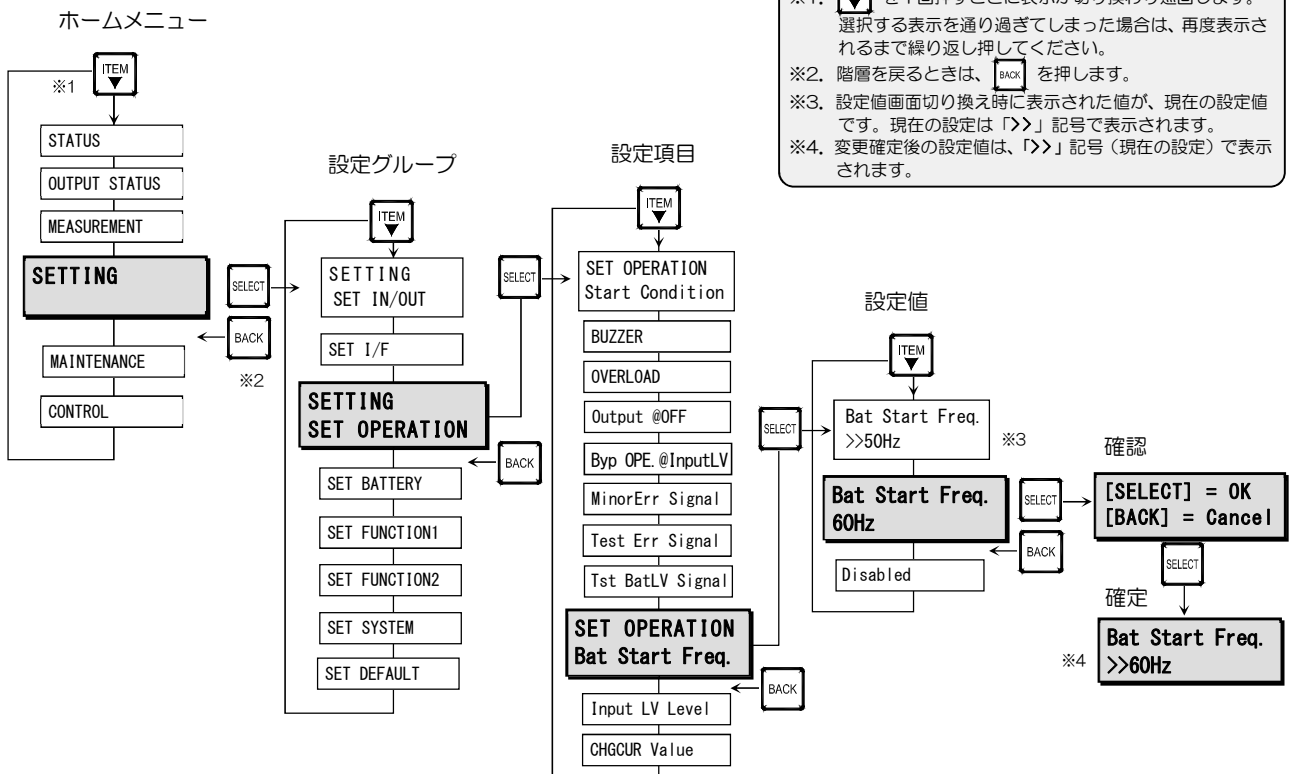
3.13 バッテリ起動時の出力周波数を設定する

UPSをバッテリー電力から起動する場合の出力周波数を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリー起動時周波数を「60Hz」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
50Hz	出力周波数 50Hz	バッテリー電力起動時の出力周波数を設定します。ご使用の環境、負荷機器の仕様に合わせて設定してください。交流入力周波数と異なる周波数を選択した場合、バッテリー電力起動でUPSを運転した後、交流入力正常になったときは、自動的に交流入力電源の周波数と同じ周波数になります。
60Hz	出力周波数 60Hz	
初期設定 Disabled		バッテリー電力起動の機能が無効になります。UPSの取扱説明書「5.2 商用電源の状態が悪いときにUPSを起動する」の操作でUPSを起動することはできません。

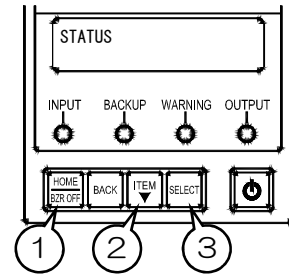
交流入力電源異常時に、バッテリー電力でUPSを起動したい場合は、あらかじめ交流入力電源が正常な状態でUPSを運転しているときに出力周波数を設定しておいてください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

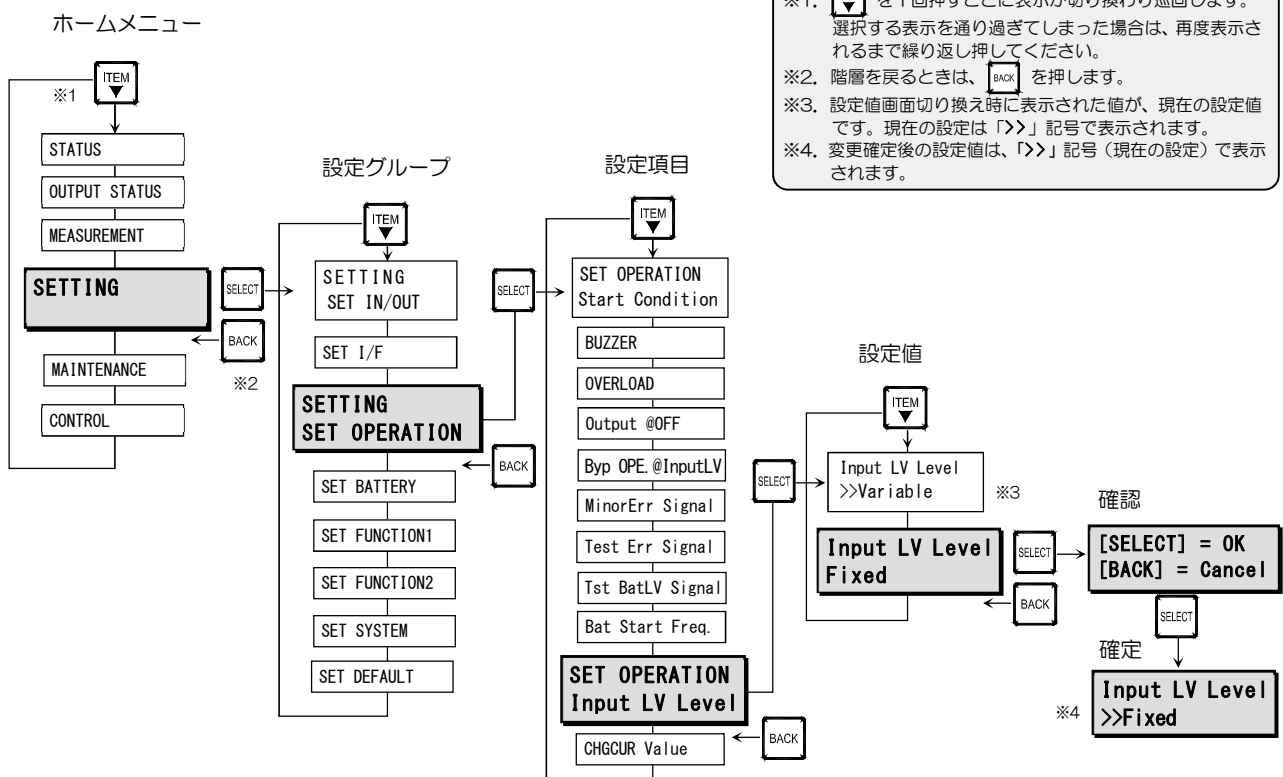
3.14 入力電圧の下限を設定する

入力電圧の下限を設定します。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：入力電圧の下限を「Fixed」（固定）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

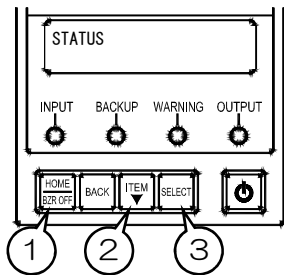
設定値	詳細	入力電圧の下限値
初期設定 Variable	切り換わる	負荷率により、入力電圧の下限が右記のように切り換わります。
		負荷率 70%未満 定格電圧の -40%
		負荷率 70%以上 定格電圧の -20%
Fixed	固定	入力電圧の下限は右記の値に固定されます。負荷率によって切り換わりません。UPSの入力電流を抑制したい場合は、この設定値に設定してください。
		定格電圧の -20%

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

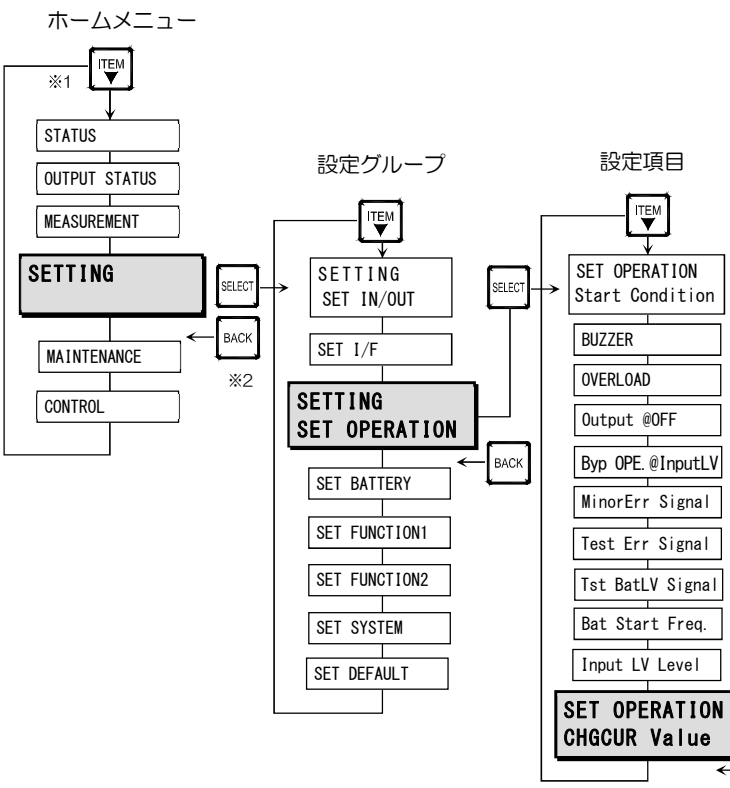
3.15 バッテリ充電電流値を設定する

バッテリー充電電流値を設定します。

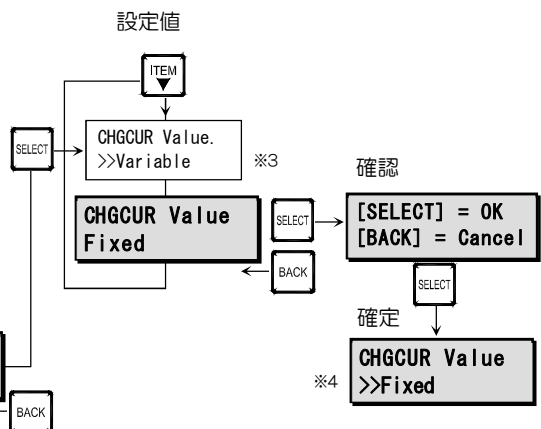
- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリー充電電流値を「Fixed」（固定）に設定する場合



- ポイント
- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
 - ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
 - ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
 - ※4. 変更確定後の設定値は、「>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

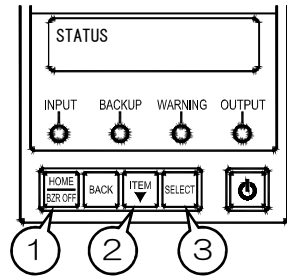
設定値	詳細	充電電流
Variable	切り換わる	負荷率が80%以下、かつ入力電圧が定格の80%超過 負荷率が81%以上、または入力電圧が定格の80%以下
Fixed	固定	低

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

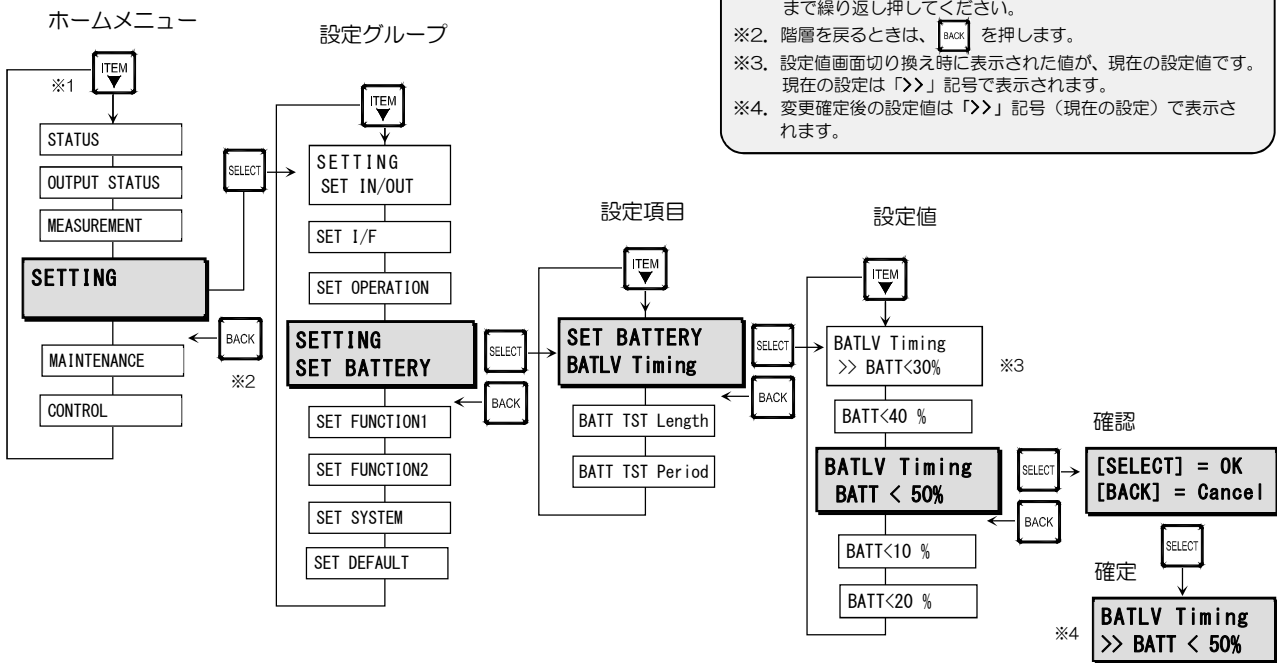
3.16 バッテリ電圧低下警告発生のタイミングを設定する

バッテリー電圧低下警告が発生するタイミングを設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：警告発生のタイミングを「BATT < 50%」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
BATT < 10%	バッテリー充電率の残容量が 10%*未満で警告が発生します。	電圧低下レベルを検出した時点で警告：LCD 画面「Batt Vol Low」表示、ブザー音「ビビビビ・・・」が発生します。
BATT < 20%	バッテリー充電率の残容量が 20%*未満で警告が発生します。	
初期設定 BATT < 30%	バッテリー充電率の残容量が 30%*未満で警告が発生します。	
BATT < 40%	バッテリー充電率の残容量が 40%*未満で警告が発生します。	
BATT < 50%	バッテリー充電率の残容量が 50%*未満で警告が発生します。	

※. 値(%)は目安です。「8 計測情報表示について」をご覧ください。

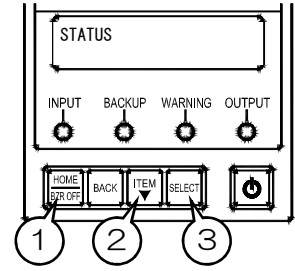
- 「3.6 ブザー音が鳴る条件を設定する」で設定値「SILENT」または「Group #2」に設定されている場合は、ブザーは鳴りません。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した UPS シャットダウン実行のタイミングで警告が発生します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると **BATLV Timing >> 4 Min. (Val)** のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
この設定値は **ITEM** を押すと表示されなくなりますが、いったん、**BACK** で戻り **SELECT** を押すと再度、表示されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

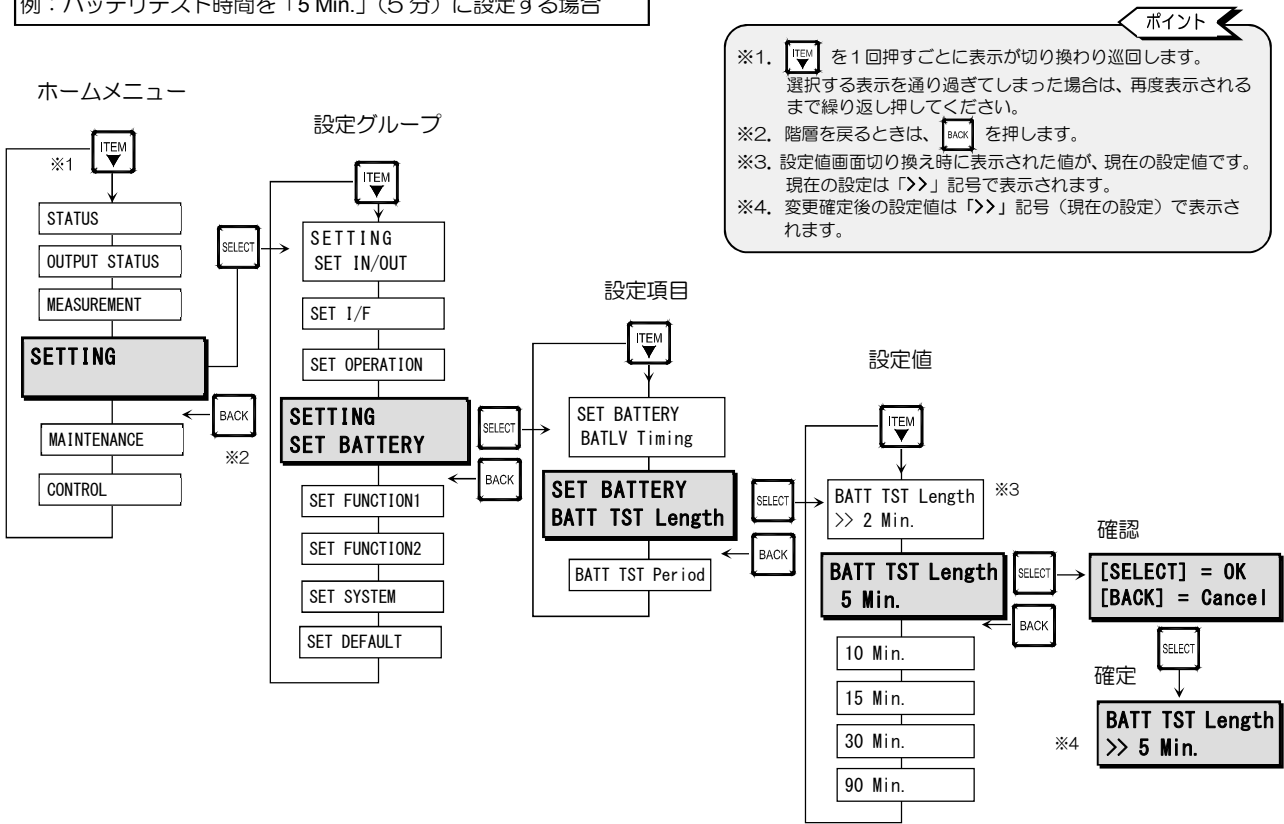
3.17 バッテリテストの実行時間を設定する

定期的、または手動で実施するバッテリテストの実行時間を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリテスト時間を「5 Min.」(5 分) に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
2 Min.	2分 バッテリテストが2分間 実行されます。
5 Min.	5分 バッテリテストが5分間 実行されます。
10 Min.	10分 バッテリテストが10分間 実行されます。
15 Min.	15分 バッテリテストが15分間 実行されます。
30 Min.	30分 バッテリテストが30分間 実行されます。
90 Min.	90分 バッテリテストが90分間 実行されます。

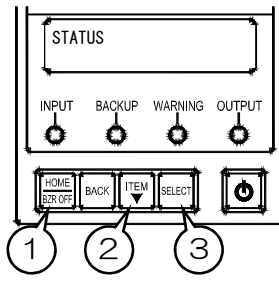
UPSに接続している負荷容量とバッテリー容量に応じてバッテリテスト実行時間を設定してください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

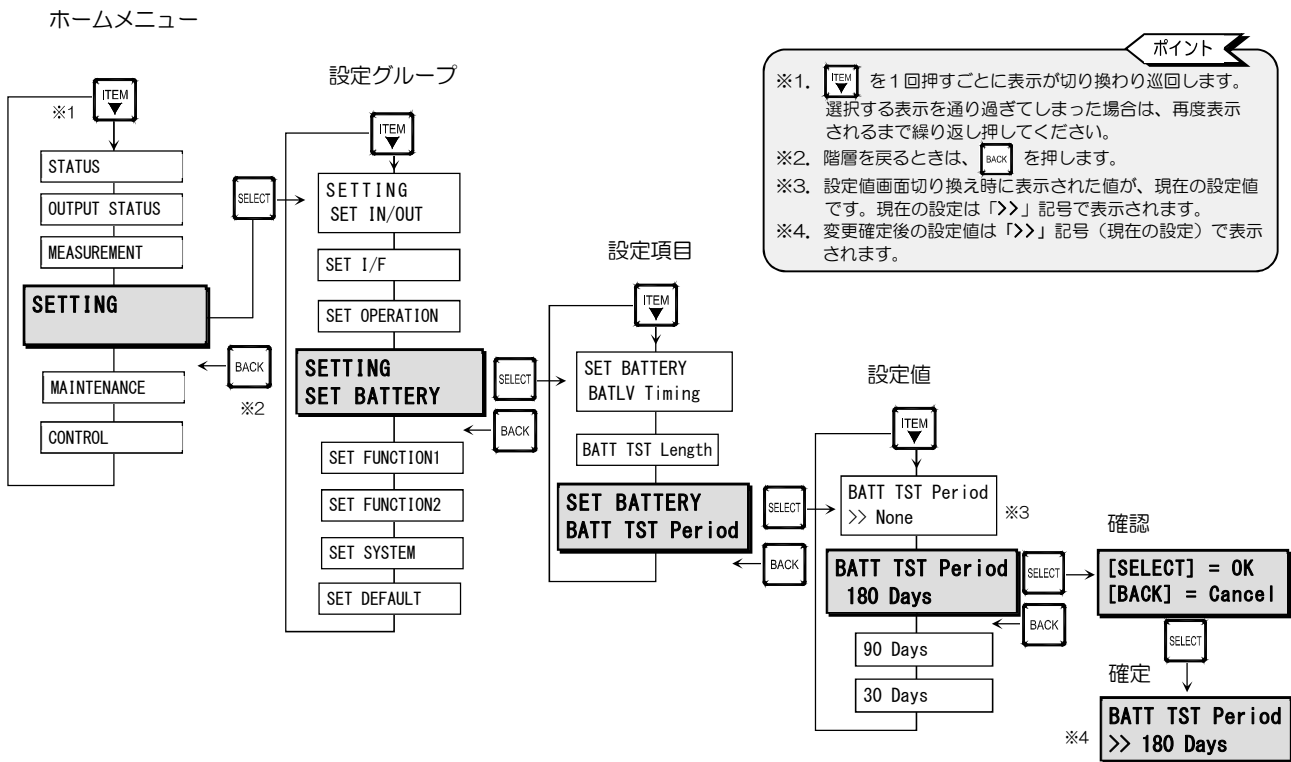
3.18 バッテリテストのスケジュールを設定する

自動的に実施されるバッテリテストの周期（日数）を設定します。設定した日数が経過すると自動的にバッテリテストが実施されます。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリテストスケジュールを「180 Days」（180 日）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
180 Days	180 日 180 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
90 Days	90 日 90 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
30 Days	30 日 30 日ごとに自動でバッテリテストが実施されます。
初期設定 None	しない バッテリテストは自動的に実施されません。

- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定したスケジュールでバッテリテストが実施されます。上記の操作で電源管理ソフトウェアと異なる設定値に設定した場合、いったん設定値は変更されますが、再度、設定値を表示させたときは電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
- バッテリテスト実施時に、UPS がバッテリテストをできない状態の場合は（インバータ停止状態など）、バッテリテストができる状態になった時点でバッテリテストが実施されます。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

3.19 系統コントロール*の有効/無効を設定する

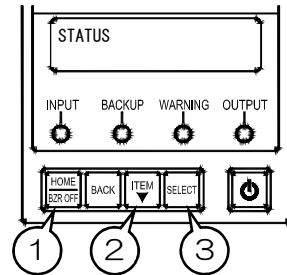
出カコンセントまたはコンセントボックス（オプション）の系統コントロール機能の「有効/無効」を設定します。「3.20」～「3.26」の項目を設定しても、この項目で「Enabled」（有効）設定されていないと系統コントロールは機能しません。

*系統コントロールとは・・・

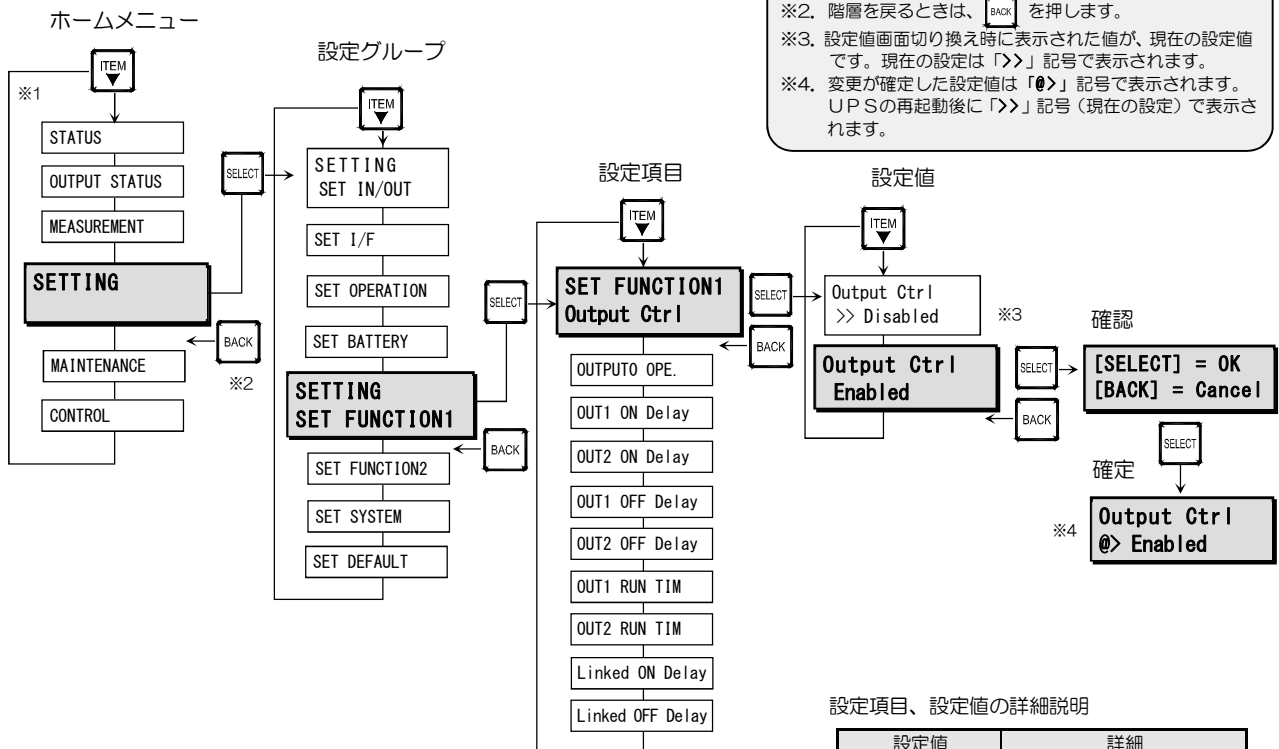
UPSにはOUTPUT0, 1, 2の3系統の出力があります。「OUTPUT 1」と「OUTPUT 2」の2系統の出力には、ON/OFF 遅延時間を設定し、起動/停止をコントロールすることができます。この機能を利用した運用を「系統コントロール」と呼びます。この機能によりそれぞれのコンセントに接続した負荷機器を順次、起動/停止させることができます。

A11KL102, 152の場合はUPSの出カコンセントで、A11KL202, 302, 502の場合はコンセントボックスを接続して運用します。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：系統コントロールを「Enabled」（有効）に設定する場合



- ⑥ でホームメニューに戻ります。

ご注意

- 設定を変更した後は、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。再起動をしないと設定変更が有効になりません。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。
- UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されているときは、設定変更後にUPSが再起動されていない状態です。「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。

設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	無効	有効	詳細
初期設定	Disabled	無効	無効	系統コントロールをしない
	Enabled	無効	有効	系統コントロールをする

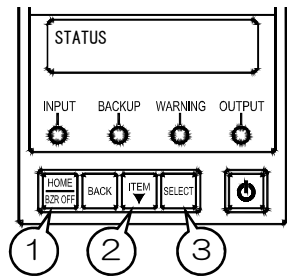
「無効」が選択されていると、「3.20」～「3.26」で設定する項目が有効になりません。「Enabled」（有効）を選択し設定確定後に、「Disabled」（無効）に変更しUPSを再起動すると、「3.20」～「3.26」で設定した系統遅延時間は初期値に戻ります。

3.20 OUTPUT コンセントの動作を設定する

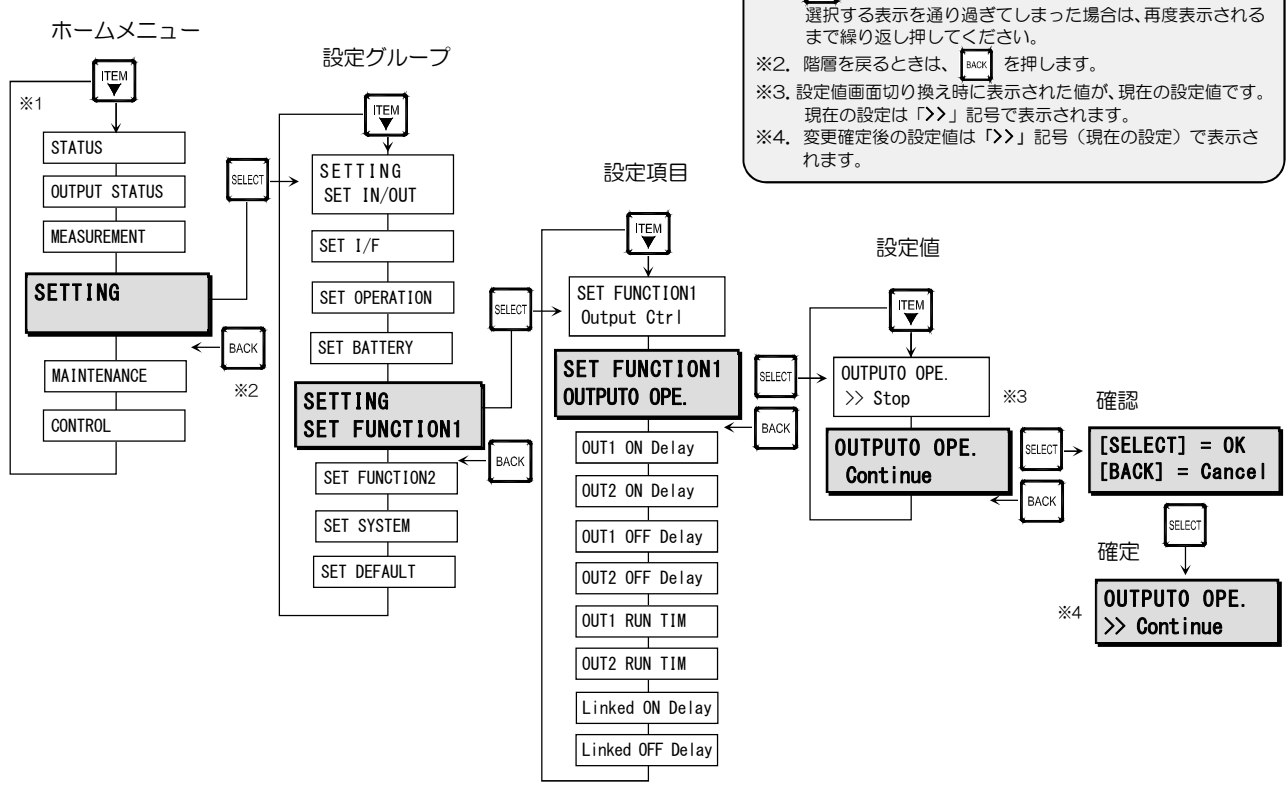
出力コンセントまたはコンセントボックス（オプション）のOUTPUT1, OUTPUT2 が、電源管理ソフトウェアにより停止、および「OUTPUT1, 2 停電時出力時間」の設定により停止した後の、OUTPUTO の動作を設定します。

「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：OUTPUTO の動作を「Continue」（継続）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	給電状態	詳細
初期設定	Stop	給電停止	OUTPUTOは給電を停止します。 ただし「3.8 OFF時のUPS給電状態を設定する」で、「OFF」に設定されている場合は給電を停止し、「バイパス」に設定されている場合はバイパス給電となります。
	Continue	給電継続	OUTPUTOは給電を継続します。

下記の条件により OUTPUT1, OUTPUT2 コンセントが停止した場合の OUTPUTO の動作です。

- ・電源管理ソフトウェアによる停止
- ・「3.25 OUTPUT1 コンセントの停電時出力時間を設定する」の設定
- ・「3.26 OUTPUT2 コンセントの停電時出力時間を設定する」の設定

ただし、正面パネルの OFF 操作、リモートスイッチ OFF 操作（インタフェース設定：Standalone スタンドアロン）をした場合は、「給電継続」が選択されていても、OUTPUT1, 2 の停止後、OUTPUTO は停止します。
「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

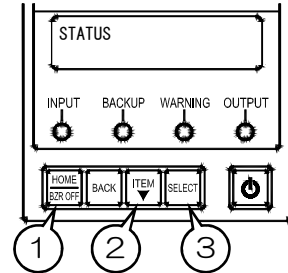
3.21 OUTPUT1 コンセントの「ON」遅延時間を設定する

UPS を起動した後、OUTPUT1 コンセントから電力供給が開始されるタイミングを設定します。選択した時間が経過した時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が供給されます。システムを順次起動させる場合などに設定します。

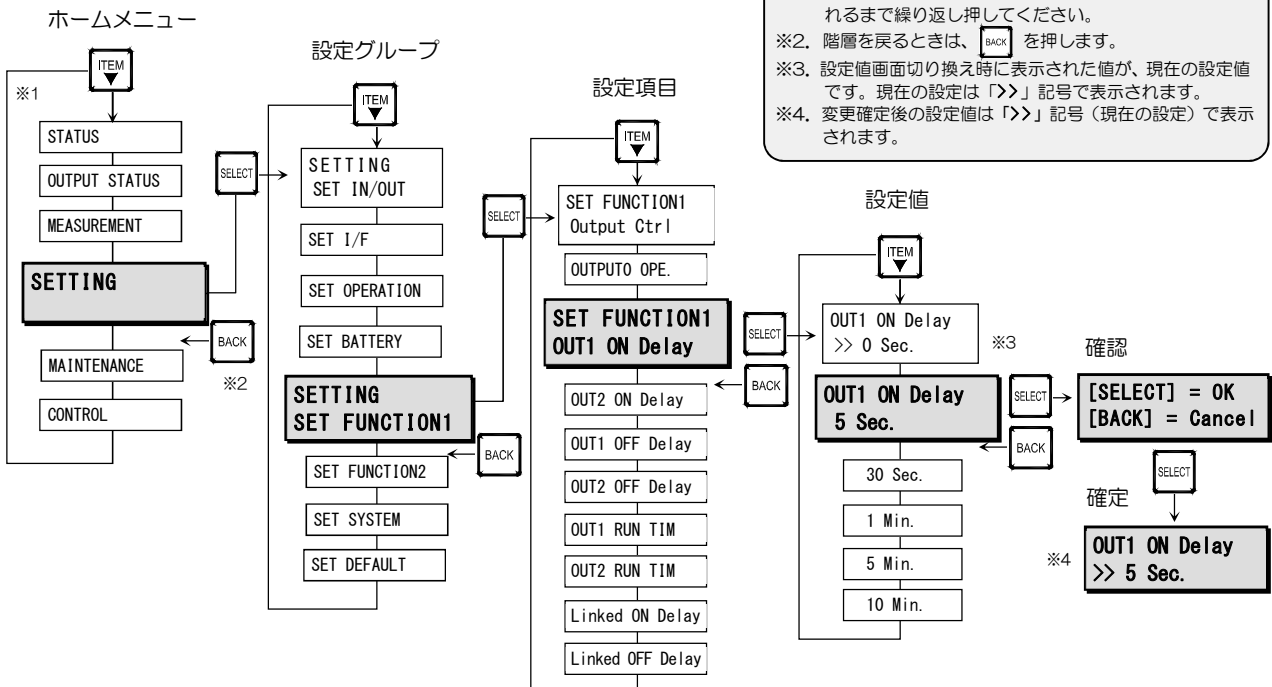
「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」(有効) に設定されていないと有効になりません。

電源管理ソフトウェアをご使用の場合、この項目は UPS で設定することができません。電源管理ソフトウェアで設定してください。詳細は、電源管理ソフトウェアのユーザガイドをご覧ください。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：ON 遅延時間を「5 Sec.」(5 秒) に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
0 Sec. 0 秒	UPS の起動操作後、設定した時間が経過した時点で OUTPUT1 コンセントから電力が供給されます。
5 Sec. 5 秒	
30 Sec. 30 秒	
1 Min. 1 分	
5 Min. 5 分	
10 Min. 10 分	

- 「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「Enabled」(有効) に設定されていないと、設定した ON 遅延時間が有効になりません。
- 「3.19」の設定値を「Enabled」(有効) に確定後、「Disabled」(無効) に変更し UPS を再起動すると、この設定項目で設定した ON 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
この設定値は を押すと表示されなくなりますが、いったん、 で戻り を押すと再度、表示されます。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

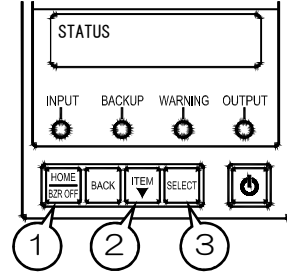
3.22 OUTPUT2 コンセントの「ON」遅延時間を設定する

UPS を起動した後、OUTPUT2 コンセントから電力供給が開始されるタイミングを設定します。選択した時間が経過した時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が供給されます。システムを順次起動させる場合などに設定します。

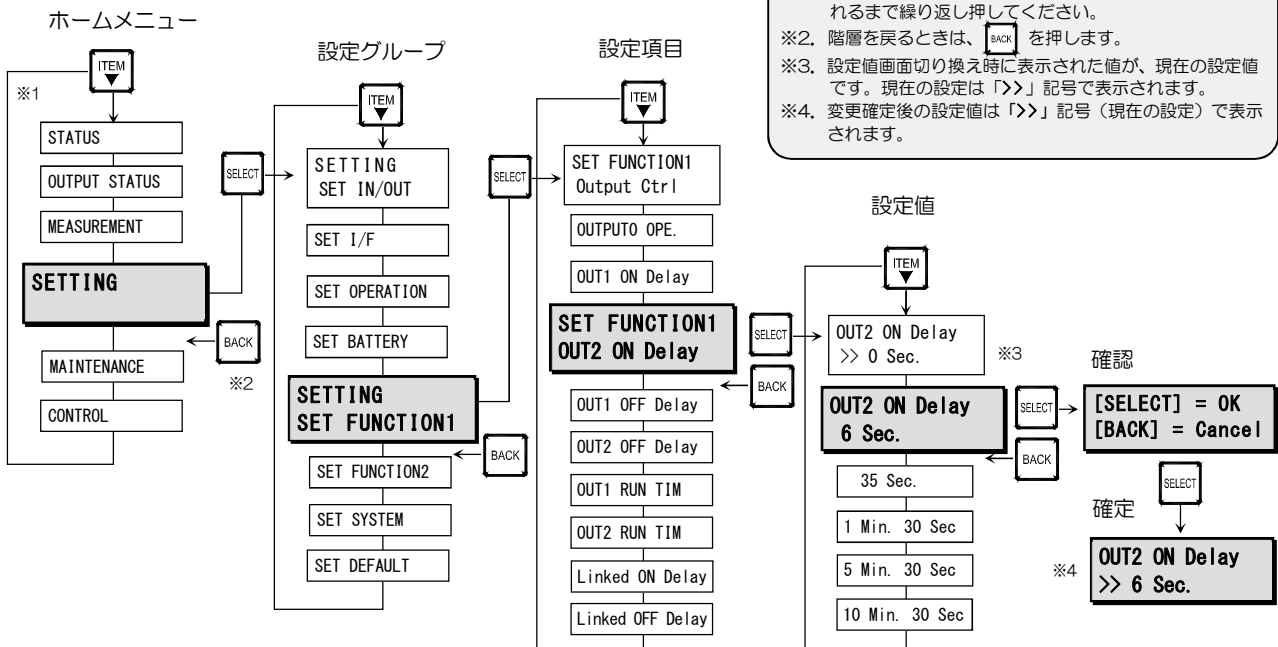
「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」（有効）に設定されていないと有効になりません。

電源管理ソフトウェアをご使用の場合、この項目は UPS で設定することができません。電源管理ソフトウェアで設定してください。詳細は、電源管理ソフトウェアのユーザガイドをご覧ください。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：ON 遅延時間を「6 Sec.」（6秒）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
0 Sec. 0 秒	UPS の起動操作後、設定した時間が経過した時点で OUTPUT2 コンセントから電力が供給されます。
6 Sec. 6 秒	
35 Sec. 35 秒	
1 Min. 30 Sec 1 分 30 秒	
5 Min. 30 Sec 5 分 30 秒	
10 Min. 30 Sec 10 分 30 秒	

- 「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「Enabled」（有効）に設定されていないと、設定した ON 遅延時間が有効になりません。
- 「3.19」の設定値を「Enabled」（有効）に確定後、「Disabled」（無効）に変更し UPS を再起動すると、この設定項目で設定した ON 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。
この設定値は を押すと表示されなくなりますが、いったん、 で戻り を押すと再度、表示されます。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

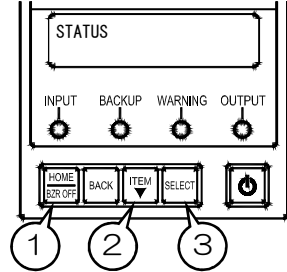
3.23 OUTPUT1 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する

UPS を停止した後、OUTPUT1 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した時間が経過した時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が停止します。システムを順次停止させる場合などに設定します。

「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」(有効) に設定されていないと有効になりません。

電源管理ソフトウェアをご使用の場合、この項目は UPS で設定することができません。電源管理ソフトウェアで設定してください。詳細は、電源管理ソフトウェアのユーザガイドをご覧ください。

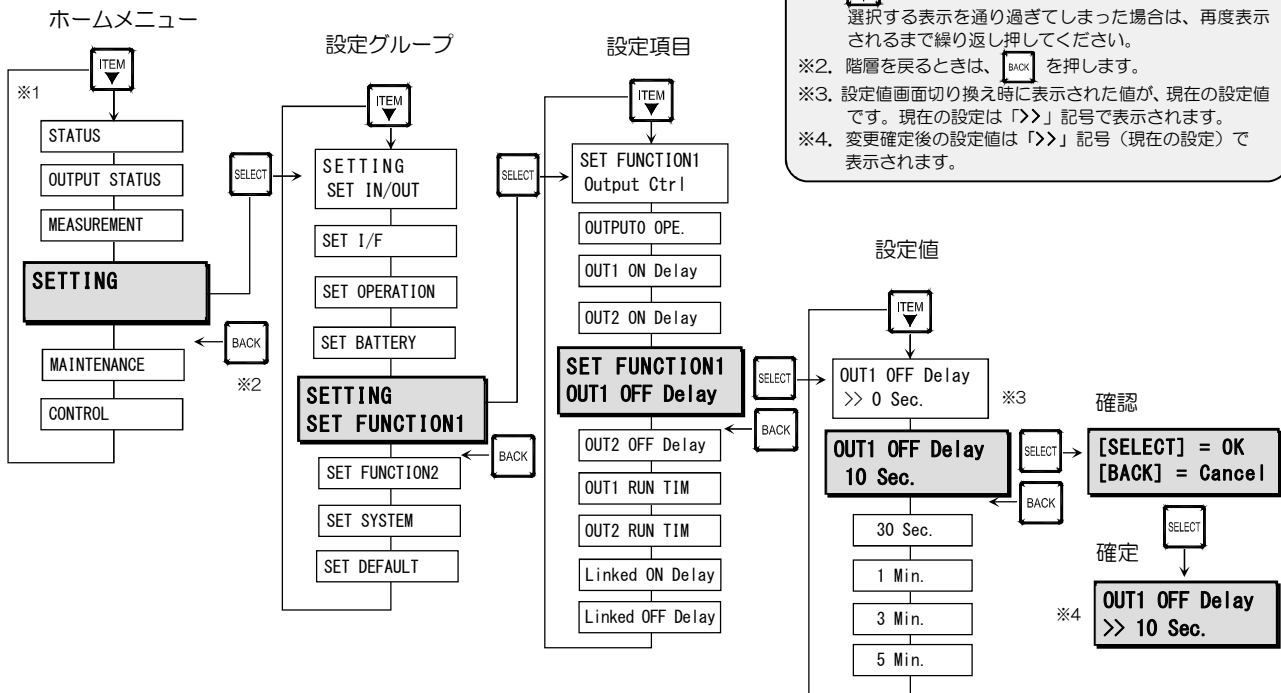
- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：OFF 遅延時間を「10 Sec.」(10 秒) に設定する場合

ポイント

- ※1. を 1 回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号(現在の設定)で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
0 Sec. / 0 秒	UPS の停止操作後、設定した時間が経過した時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が停止します。
10 Sec. / 10 秒	
30 Sec. / 30 秒	
1 Min. / 1 分	
3 Min. / 3 分	
5 Min. / 5 分	

- 「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「Enabled」(有効) に設定されていないと、設定した OFF 遅延時間が有効になりません。
- 「3.19」の設定値を「Enabled」(有効) に確定後、「Disabled」(無効) に変更し UPS を再起動すると、この設定項目で設定した OFF 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。この設定値は を押すと表示されなくなりますが、いったん、 で戻り を押すと再度、表示されます。

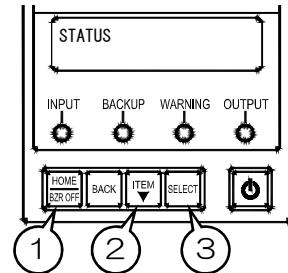
- ⑥ でホームメニューに戻ります。

3.24 OUTPUT2 コンセントの「OFF」遅延時間を設定する

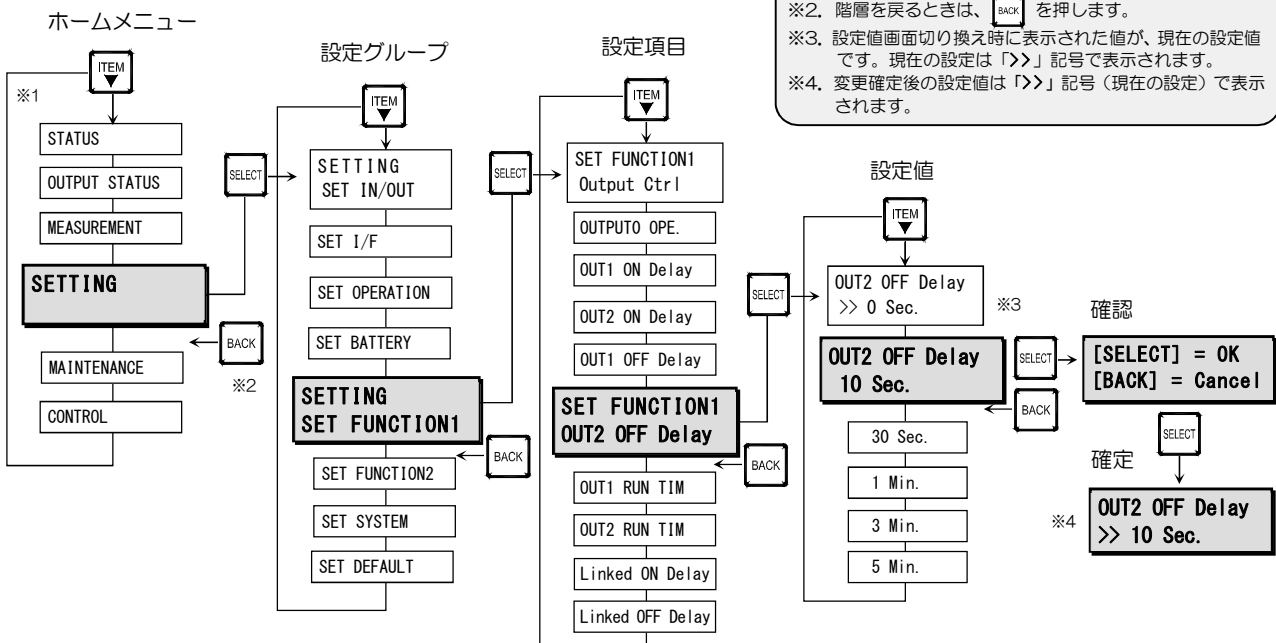
UPS を停止した後、OUTPUT2 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した時間が経過した時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が停止します。システムを順次停止させる場合などに設定します。

「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」(有効)に設定されていないと有効になりません。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：OFF 遅延時間を「10 Sec.」(10 秒) に設定する場合



ポイント

- ※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号(現在の設定)で表示されます。

設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
初期設定	
0 Sec. 0 秒	UPSの停止操作後、設定した時間が経過した時点でOUTPUT2コンセントからの電力が停止します。
10 Sec. 10 秒	
30 Sec. 30 秒	
1 Min. 1 分	
3 Min. 3 分	
5 Min. 5 分	

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

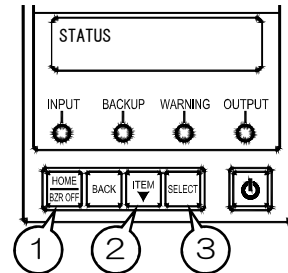
- 「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「Enabled」(有効)に設定されていないと、設定したOFF 遅延時間が有効になりません。
- 「3.19」の設定値を「Enabled」(有効)に確定後、「Disabled」(無効)に変更しUPSを再起動すると、この設定項目で設定したOFF 遅延時間は初期値「0 秒」に戻ります。
- 電源管理ソフトウェアを使用している場合は、電源管理ソフトウェアで設定した設定値で動作します。
この場合、上記の操作で設定値を表示させると **OUT2 OFF Delay >> 4 Min. (Val)** のように設定値の後に「(Val)」がついた状態で、電源管理ソフトウェアの設定値が表示されます。この設定値は **ITEM** を押すと表示されなくなりますが、いったん、**BACK** で戻り **SELECT** を押すと再度、表示されます。

3.25 OUTPUT1 コンセントの停電時出力時間を設定する

停電が発生した時点から OUTPUT1 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した設定値になった時点で OUTPUT1 コンセントからの電力が停止します。

「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」(有効)に設定されていないと有効になりません。

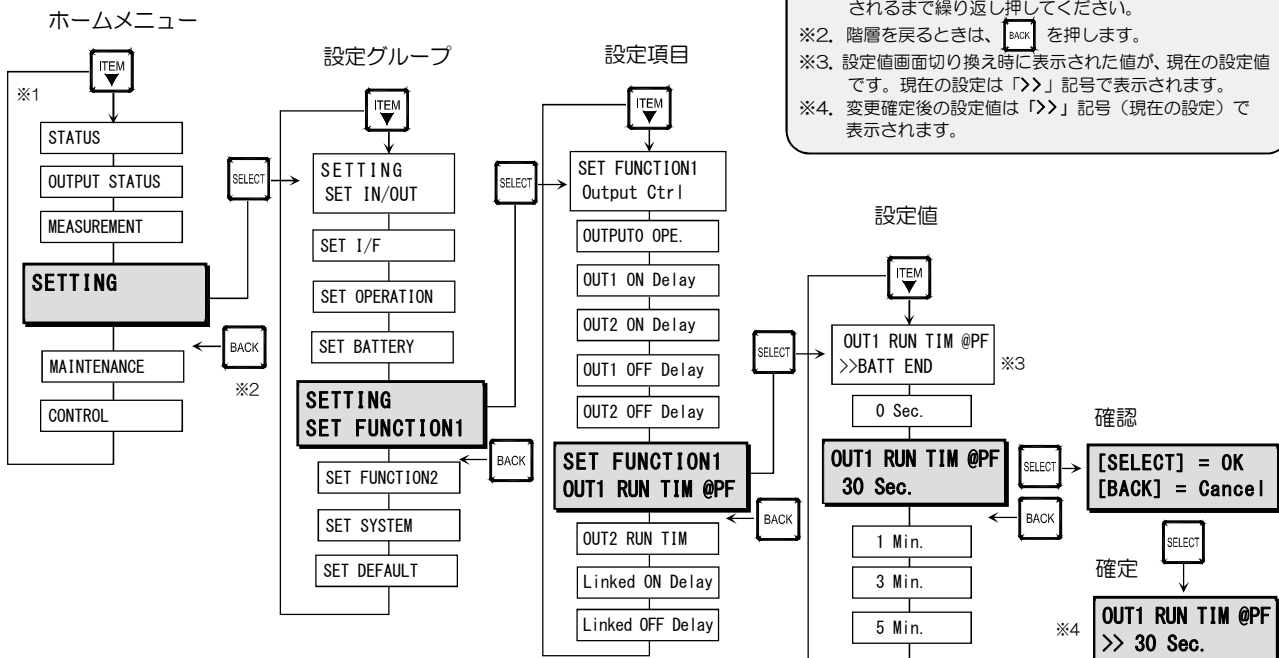
- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：停電時出力時間を「30 Sec.」(30 秒)に設定する場合

ポイント

- ※1. を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押してください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>」記号(現在の設定)で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	BATT END	放電終止まで
	0 Sec.	0 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分
		停電発生後、設定した値になった時点でOUTPUT1コンセントからの電力が停止します。

- 「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「Enabled」(有効)に設定されていないと、設定したOFF 遅延時間が有効になりません。
- この機能は、「3.3 インタフェースを設定する」で「Standalone」(スタンドアロン)に設定されていないと有効になりません。
- 電源管理ソフトウェアを使用する場合は、「BATT END」(放電終止まで)以外の設定値に設定しないでください。

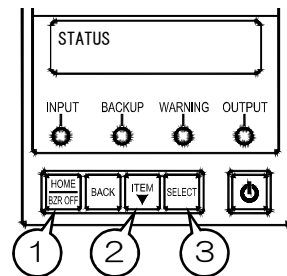
- ⑥ でホームメニューに戻ります。

3.26 OUTPUT2 コンセントの停電時出力時間を設定する

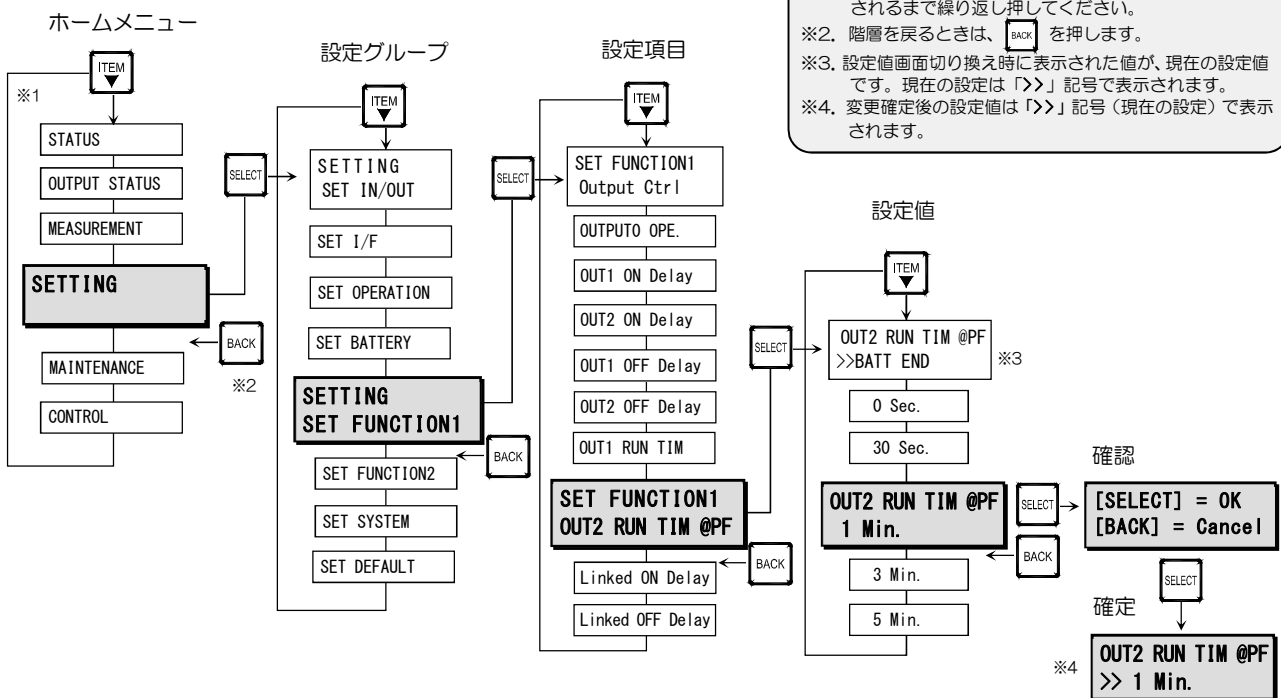
停電が発生した時点から OUTPUT2 コンセントの電力供給が停止するまでの時間を設定します。選択した設定値になった時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が停止します。

「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」が「Enabled」(有効)に設定されていないと有効になりません。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：停電時出力時間を「1 Min.」(1 分)に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

初期設定	設定値	詳細
	BATT END 放電終止まで	
	0 Sec. 0 秒	
	30 Sec. 30 秒	
	1 Min. 1 分	停電発生後、設定した値になった時点で OUTPUT2 コンセントからの電力が停止します。
	3 Min. 3 分	
	5 Min. 5 分	

- 「3.19 系統コントロールの有効/無効を設定する」で「Enabled」(有効)に設定されていないと、設定した OFF 遅延時間が有効になりません。
- この機能は、「3.3 インタフェースを設定する」で「Standalone」(スタンドアロン)に設定されていないと有効になりません。
- 電源管理ソフトウェアを使用する場合は、「BATT END」(放電終止まで)以外の設定値に設定しないでください。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

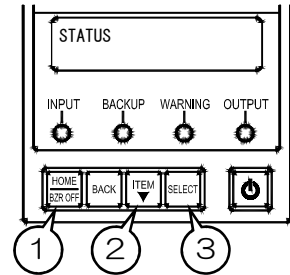
3.27 連動運転※時の「ON」遅延時間を設定する

連動運転をする場合の「ON」遅延時間を設定します。複数台のUPSを接続している場合は、それぞれのUPSに「ON」遅延時間を設定してください。

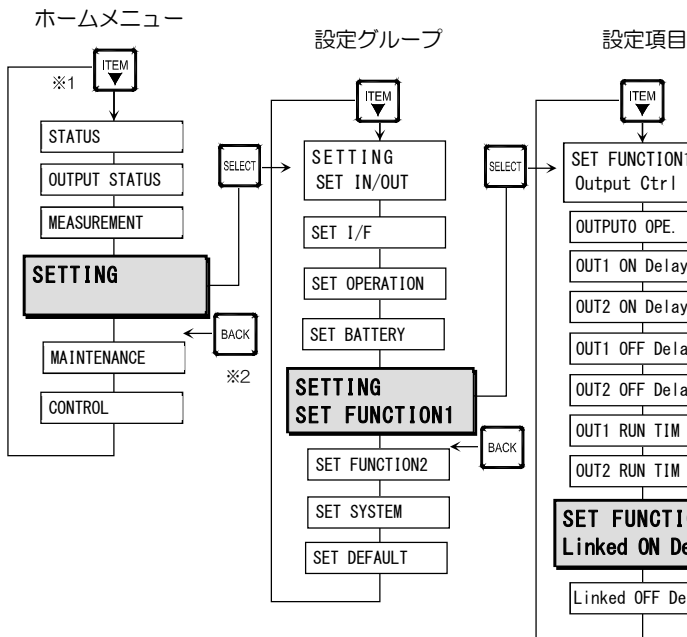
※連動運転とは・・・

複数台（最大5台）のUPSをケーブルで接続、それぞれのUPSにON/OFF遅延時間を設定し、順次、起動/停止させる運転方法を連動運転と呼びます。オプションの連動ケーブルとリモートスイッチが必要です。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。

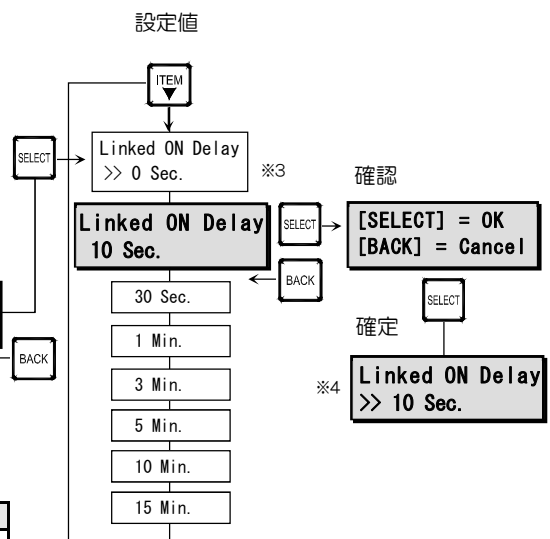


例：ON遅延時間を「10 Sec.」（10秒）に設定する場合



ポイント

- ※1. を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。
- ※3. 設定値画面切り換え時に表示された値が、現在の設定値です。現在の設定は「>>」記号で表示されます。
- ※4. 変更確定後の設定値は「>>>」記号（現在の設定）で表示されます。



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	0 Sec.	0 秒
	10 Sec.	10 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分
	10 Min.	10 分
	15 Min.	15 分
		リモートスイッチのON操作をした後、設定した時間が経過した時点で電力供給が開始します。

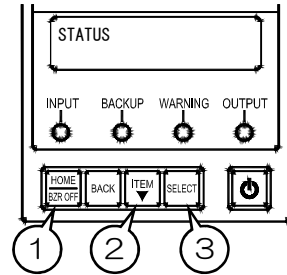
UPSが複数台の場合は、それぞれのUPSの設定値にしたがい、順次電力が供給されます。1台の場合は設定した時間が経過した時点で電力が供給されます。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

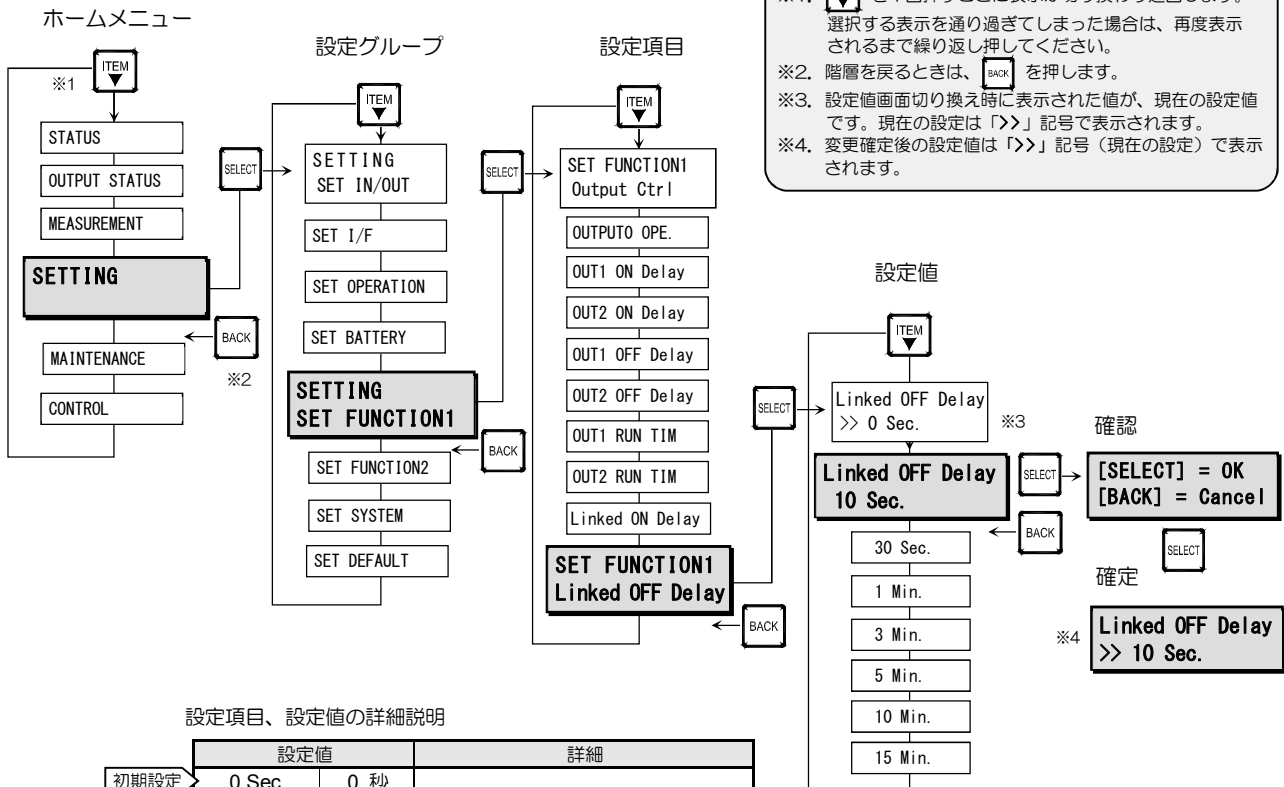
3.28 連動運転時の「OFF」遅延時間を設定する

連動運転をする場合の「OFF」遅延時間を設定します。複数台のUPSを接続している場合は、それぞれのUPSに「OFF」遅延時間を設定してください。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：OFF 遅延時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

初期設定	設定値	詳細
	0 Sec.	0 秒
	10 Sec.	10 秒
	30 Sec.	30 秒
	1 Min.	1 分
	3 Min.	3 分
	5 Min.	5 分
	10 Min.	10 分
	15 Min.	15 分
		リモートスイッチのOFF操作をした後、設定した時間が経過した時点で電力供給が停止します。

UPSが複数台の場合は、それぞれのUPSの設定値にしたがい、順次電力供給が停止します。1台の場合は設定した時間が経過した時点で電力供給が停止します。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

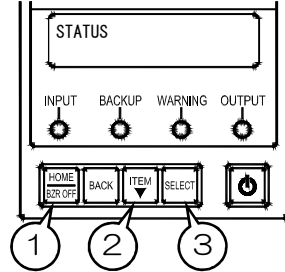
3.29 RING信号※の設定をする

UPS起動時にRING信号を出力するか、しないかを設定します。

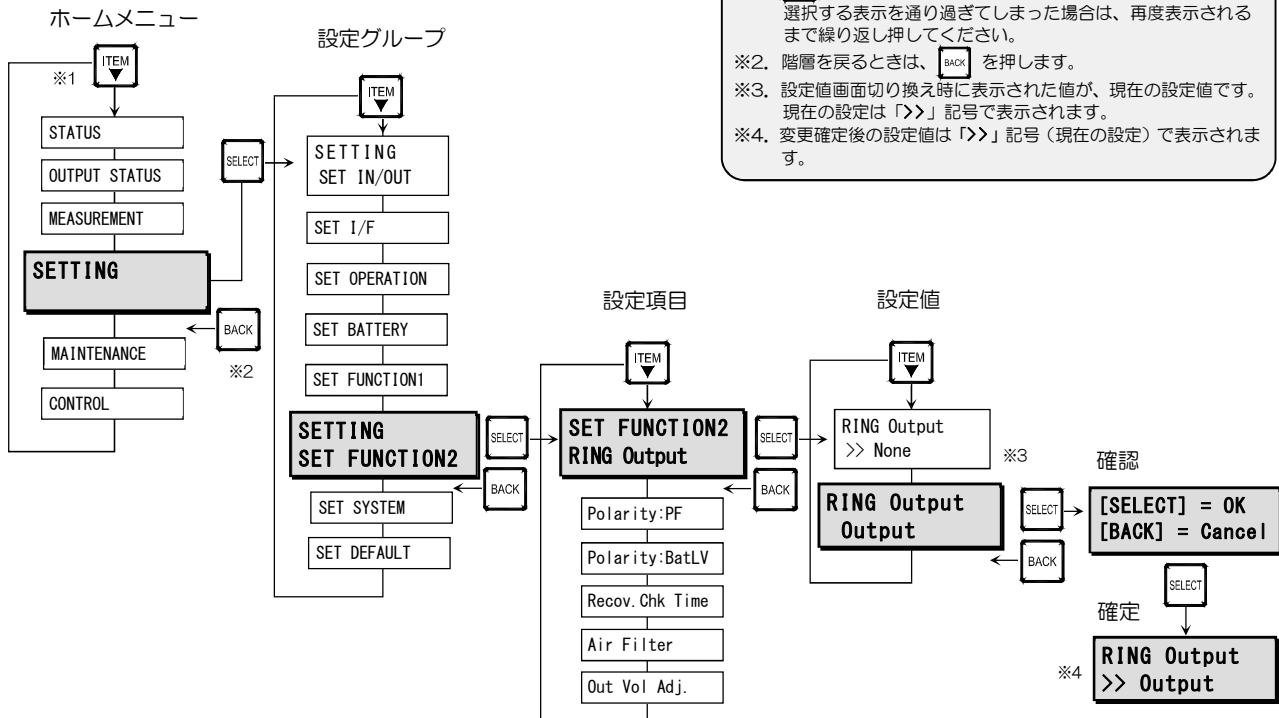
※ RING信号とは・・・

UPSの起動時に、接続されているコンピュータを自動的に起動させる信号です。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータとUPSがオプションの通信ケーブルで接続されている場合に有効になります。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：Ring信号を「Output」（出力する）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
None	RING信号は出力されません。
Output	UPS起動時にRING信号が出力されます。

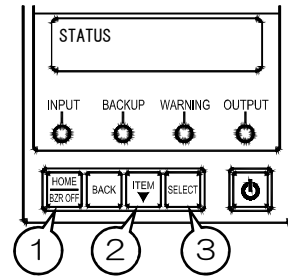
「Output」に設定すると、電源が供給されただけでは起動しないコンピュータをUPSの起動時に、自動的に起動させることができます。
Wake Up on Ring機能に対応したコンピュータのみに有効です。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

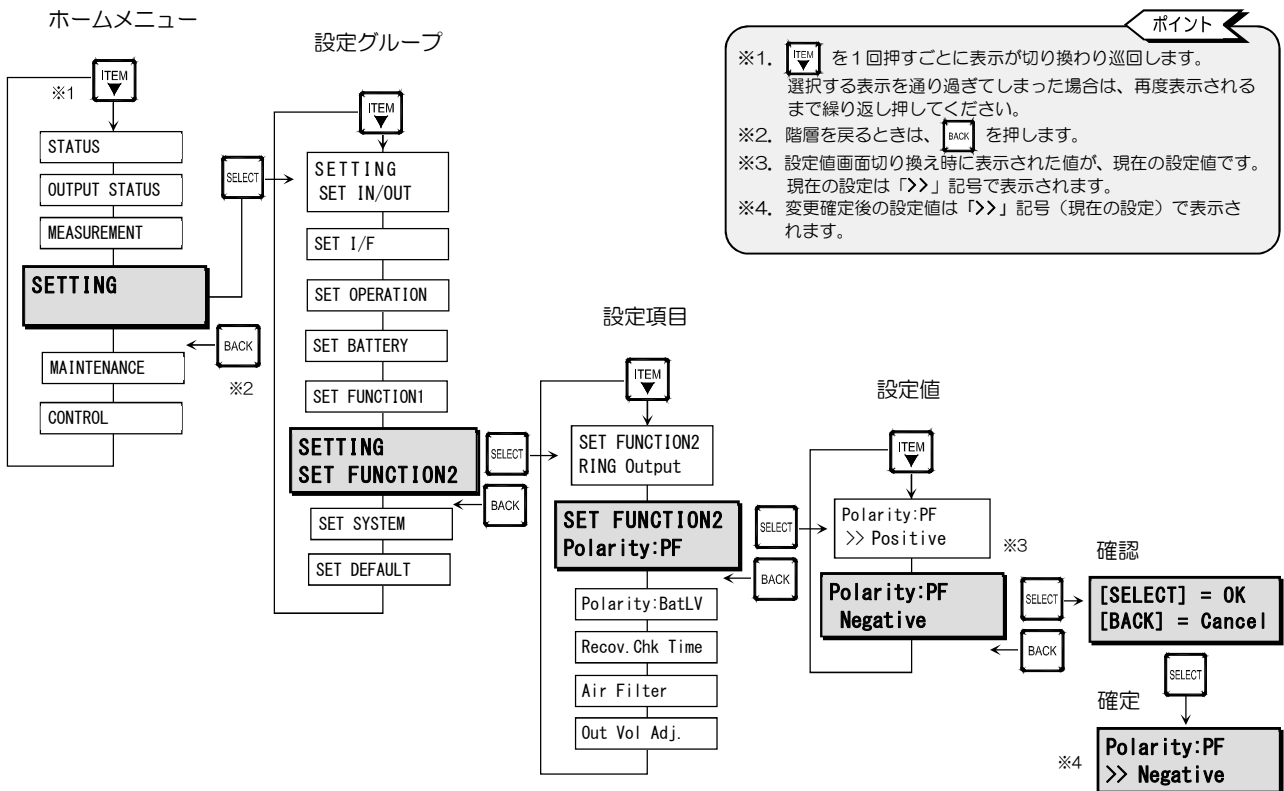
3.30 PC I/F RS-232C の停電信号の極性を設定する

UPS 背面の PC I/F RS-232C コネクタから出力される停電信号の極性を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：停電信号の極性を「Negative」（負）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細	
初期設定 Positive	正	停電信号の極性は「正」に設定されます。
Negative	負	停電信号の極性は「負」に設定されます。

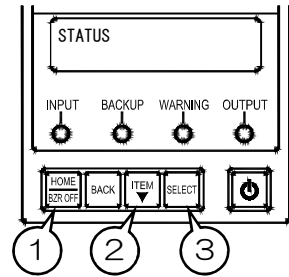
詳細は、UPS の取扱説明書「5.8 PC I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

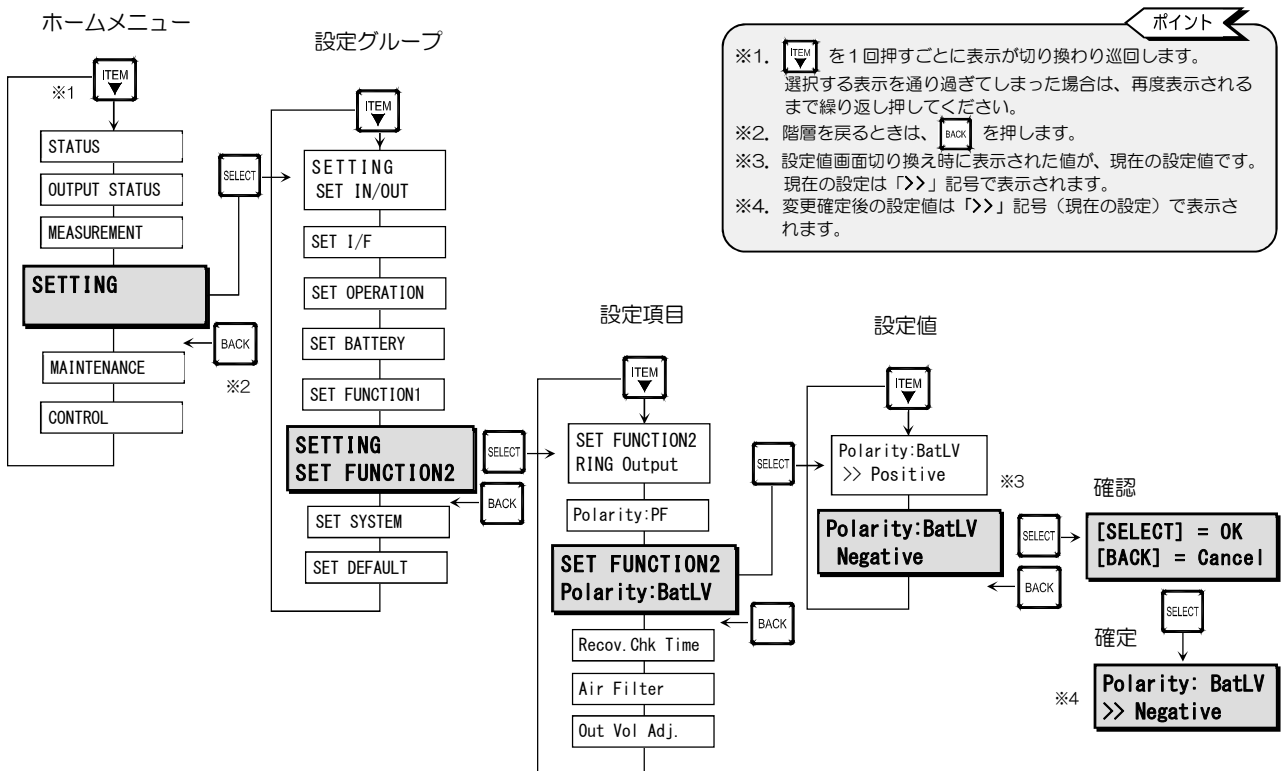
3.31 PC I/F RS-232C のバッテリー電圧低下信号の極性を設定する

UPS 背面の PC I/F RS-232C コネクタから出力されるバッテリー電圧低下信号の極性を設定します。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：バッテリー電圧低下信号の極性「Negative」（負）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値	詳細
初期設定	Positive	正 バッテリー電圧低下信号の極性は「正」に設定されます。
	Negative	負 バッテリー電圧低下信号の極性は「負」に設定されます。

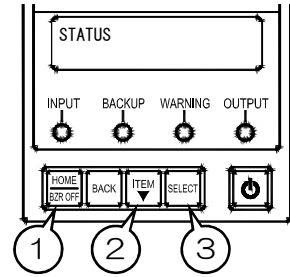
詳細は、UPS の取扱説明書「5.8 PC I/F RS-232C コネクタにコンピュータを接続して運用する」をご覧ください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

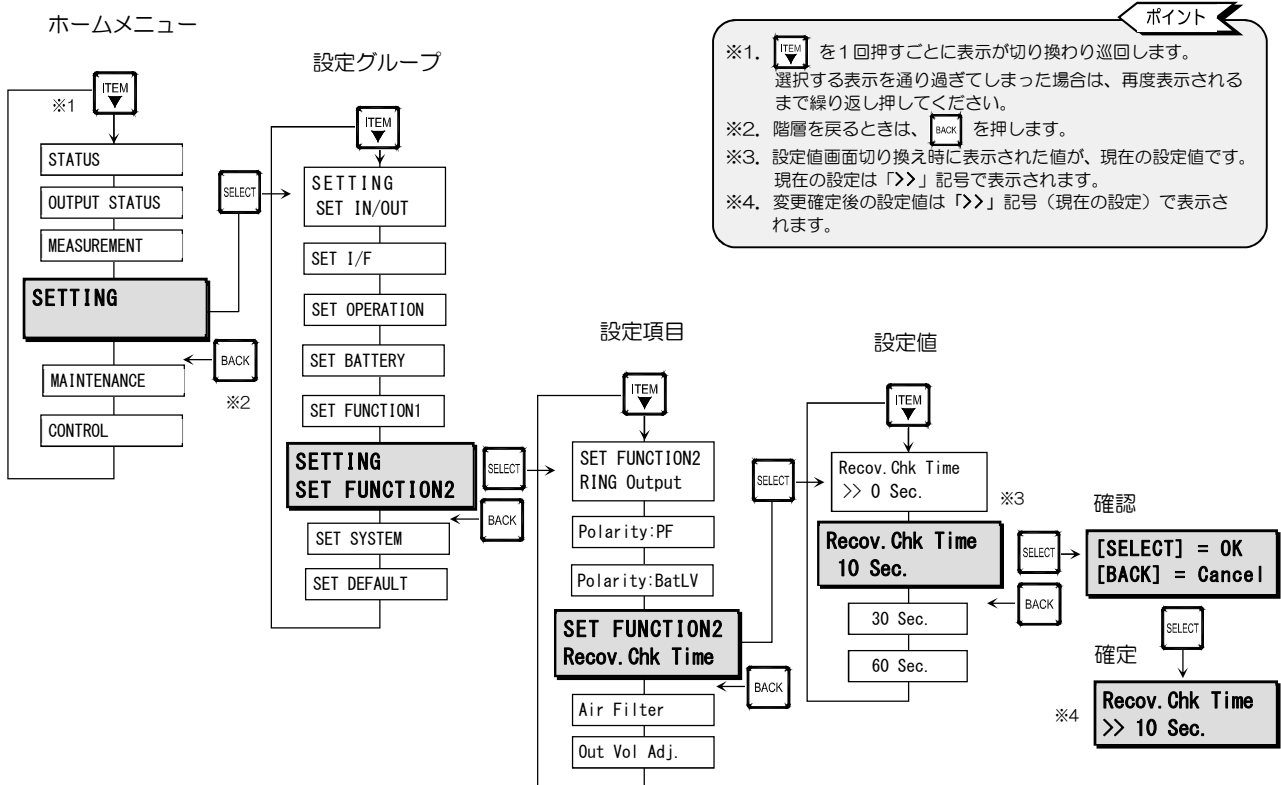
3.32 復電確認時間を設定する

停電発生時、UPSがバッテリー放電終止により停止した後、商用電源が復帰したとき、UPSが復電したと認識するまでの時間を設定します。

- ① を押して LCD 画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で設定値を切り換え、設定する値を で選択し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：復電時確認時間を「10 Sec.」（10 秒）に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

初期設定	設定値	詳細
	0 Sec.	0 秒
	10 Sec.	10 秒
	30 Sec.	30 秒
	60 Sec.	60 秒
	停電時、UPSが放電終止により停止した後、停電が復旧したとき、設定した時間が経過した時点でUPSは停電が回復したと認識します。	

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

3.33 エアフィルタを使用 する/しない を設定する

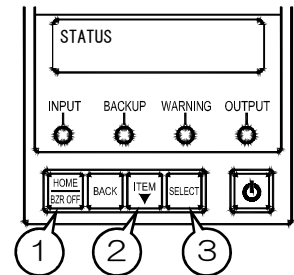
UPSの正面パネルにエアフィルタ（オプション）を取り付けるか、取り付けないかを設定します。エアフィルタを取り付ける場合は、設定値を変更してください。

なお、この設定値を変更してもエアフィルタは自動的ににはセットされません。エアフィルタの取扱説明書をご覧ください。

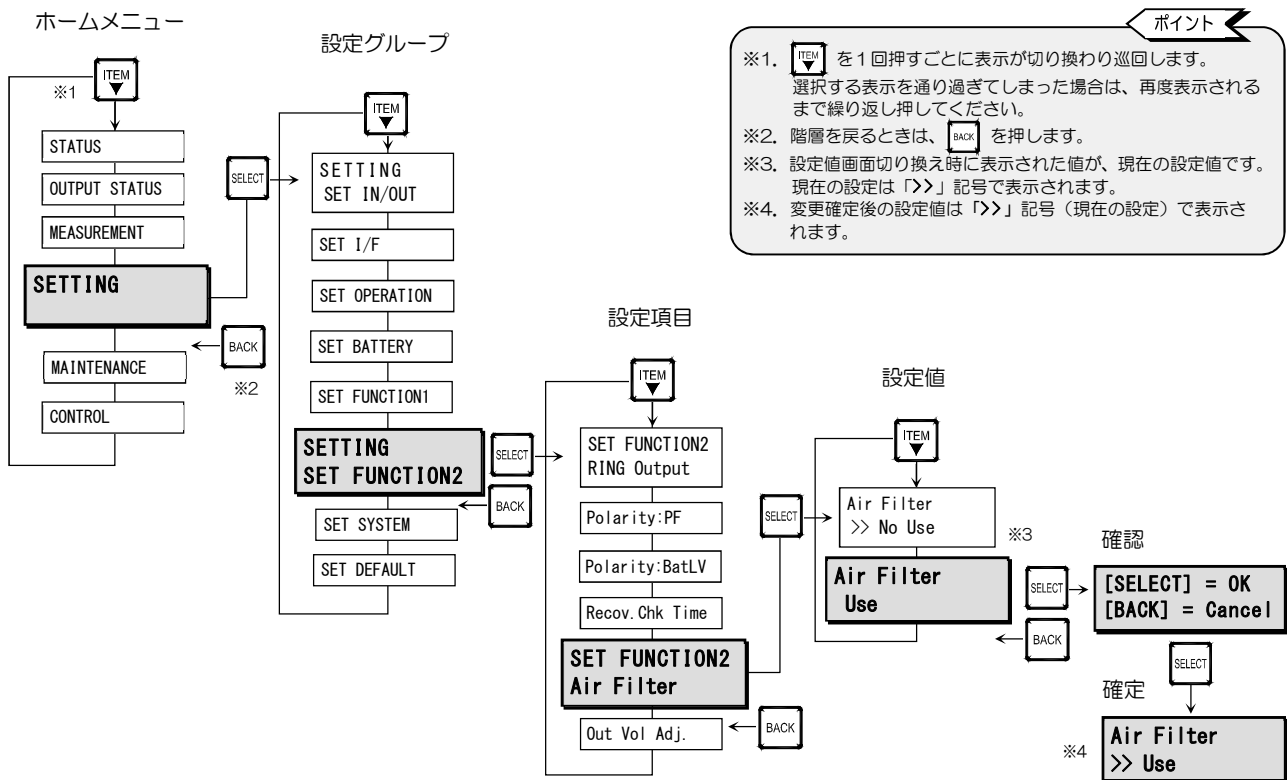
ご注意

エアフィルタにはオプション品を使用し、指定以外のものは使用しないでください。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：エアフィルタを使用する場合の設定



設定項目、設定値の詳細説明

	設定値		詳細
初期設定	No Use	使用しない	エアフィルタを使用しない場合
	Use	使用する	エアフィルタを使用する場合

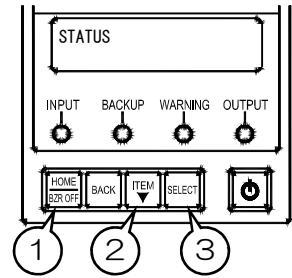
設定値により、UPS内部冷却用のファンモータの制御が異なります。実際のエアフィルタの使用状況と、異なる設定値に設定されているとUPSが正常に動作しないことがあります。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

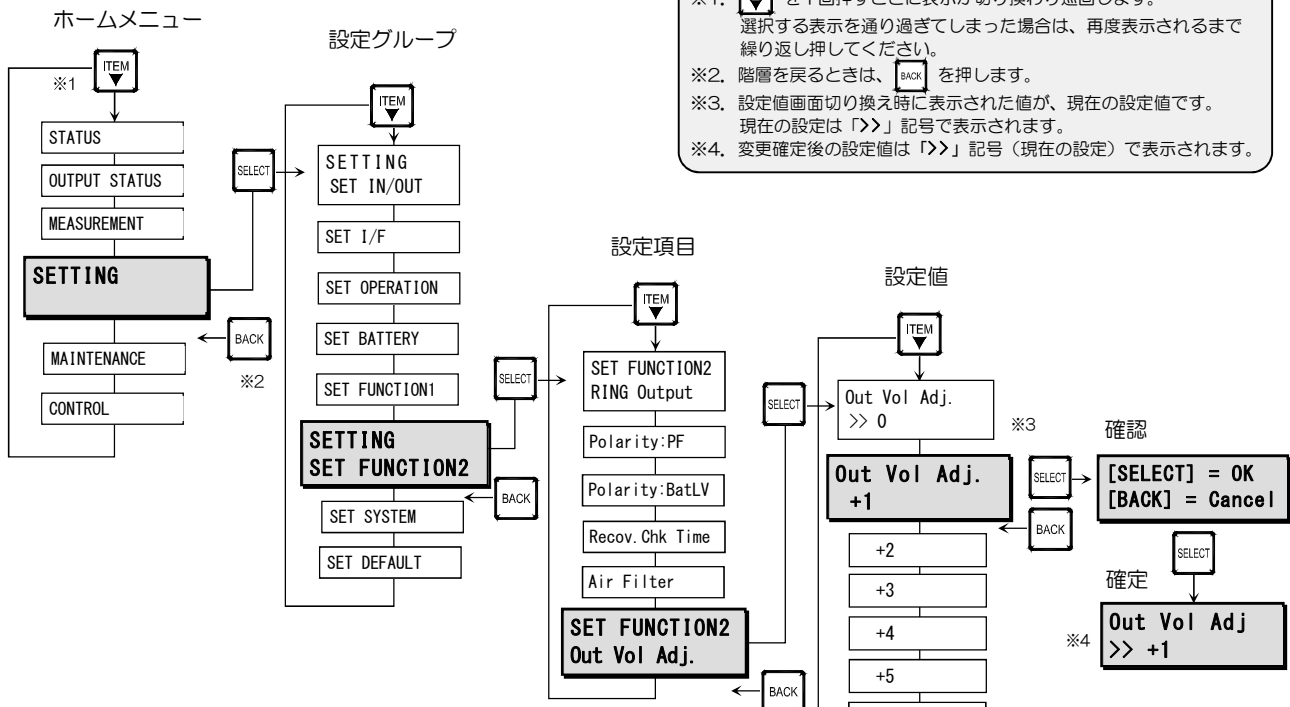
3.34 出力電圧の調整値を設定する

「3.1 電圧を設定する」で設定した出力電圧に対する調整値を設定します。
マイナス側に5段階、プラス側に5段階（約 -5V~+5V）の範囲で調整できます。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で設定値を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：調整値を「+1」に設定する場合



設定項目、設定値の詳細説明

設定値	詳細
+5	プラス側に5段階(約5V)高く設定されます。
+4	プラス側に4段階(約4V)高く設定されます。
+3	プラス側に3段階(約3V)高く設定されます。
+2	プラス側に2段階(約2V)高く設定されます。
+1	プラス側に1段階(約1V)高く設定されます。
0	設定電圧のまま出力されます。
-1	マイナス側に1段階(約1V)低く設定されます。
-2	マイナス側に2段階(約2V)低く設定されます。
-3	マイナス側に3段階(約3V)低く設定されます。
-4	マイナス側に4段階(約4V)低く設定されます。
-5	マイナス側に5段階(約5V)低く設定されます。

初期設定

調整値1段階は約1Vです。

「3.1 電圧を設定する」で設定した出力電圧に対して、選択した値が調整されます。

接続している負荷の状態や設置環境に応じて設定してください。

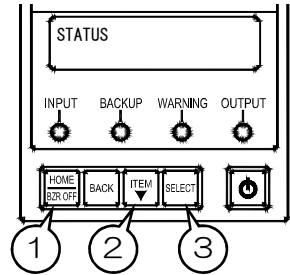
なお、この調整値は、出力電圧のみに適用されます。交流入力電圧の範囲は変わりません。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

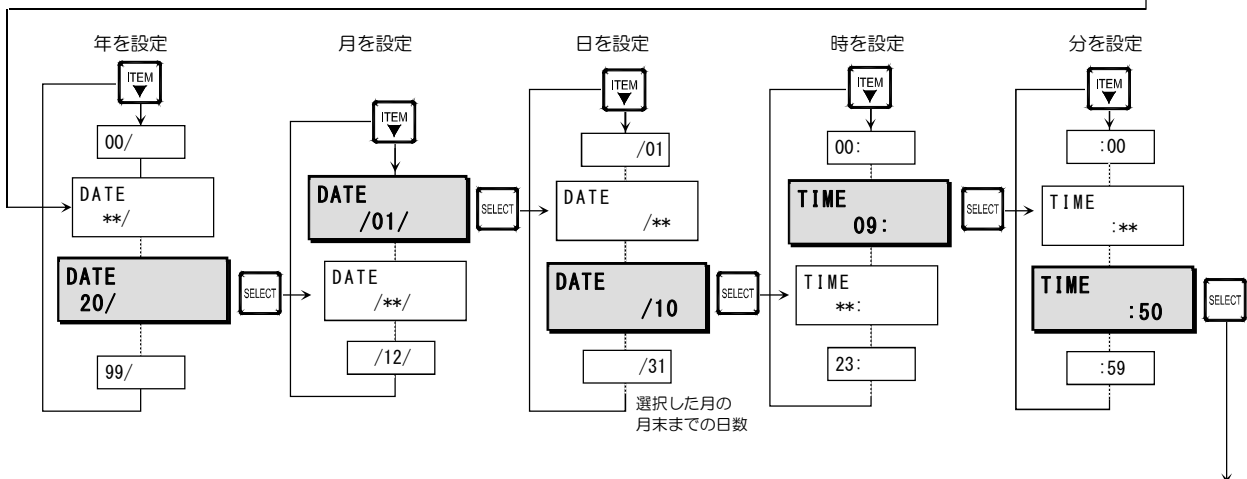
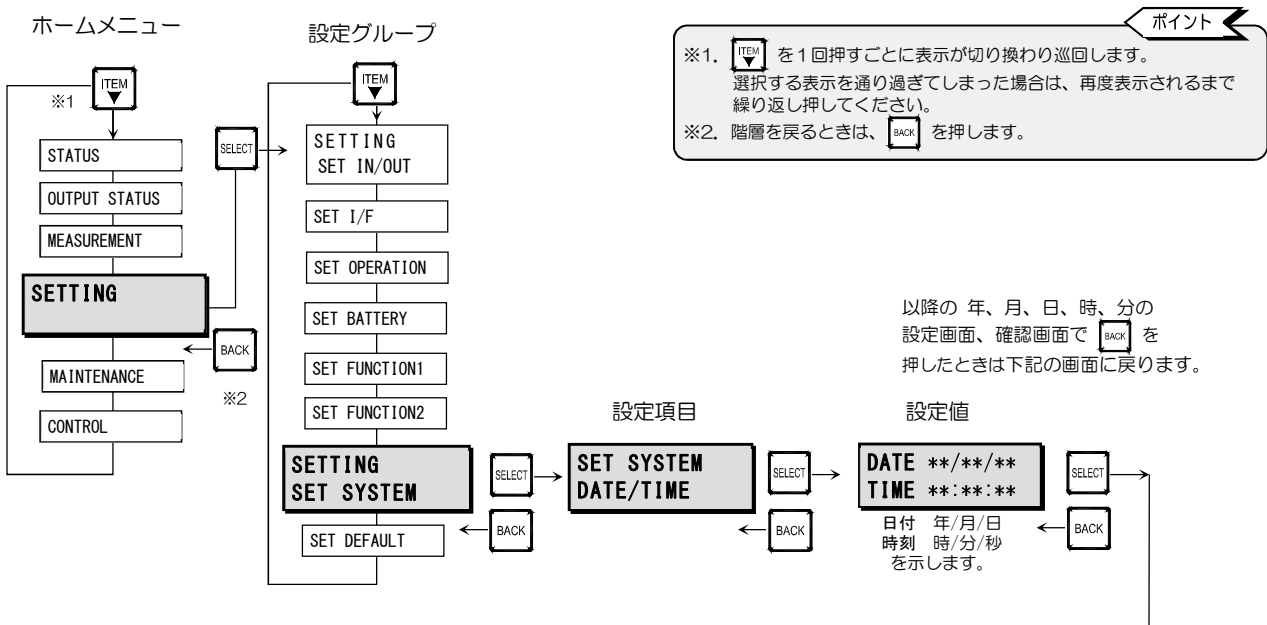
3.35 時刻を設定する

UPSの時刻を設定します。工場出荷時に設定されていますので、通常は変更しないでください。

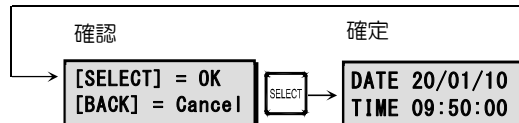
- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」→「設定項目」→「設定値」へ進みます。
- ⑤ で切り換え、設定する値を で選択します。この操作を繰り返し、確認画面で再度 を押して確定します。



例：時刻を「2020年1月10日9時50分」に設定する場合



階層を切り換えたときに表示される数値が、現在設定されている値です。設定したい数値を選択してください。秒は時刻を設定した時点で「0」になります。



- ⑥ でホームメニューに戻ります。






3.36 設定値をリセットする

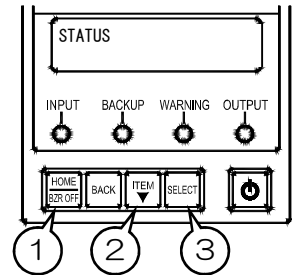
3.1～3.35 までの設定項目の設定値を工場出荷時の初期設定にリセットします。

初期設定は「3. UPSの設定をする」の設定項目一覧表で確認してください。

この操作をすると、すべての設定項目の設定値がリセットされます。設定項目ごとにリセットすることはできません。

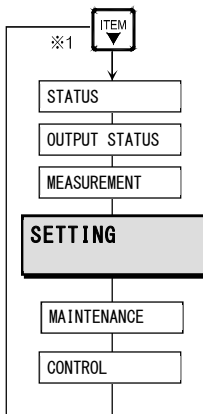
いったんリセットした設定値をもとに戻すことはできません。

- ①  を押して LCD 画面を表示させます。
- ②  を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③  を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「設定グループ」へ進みます。
- ⑤  を押し確認画面を表示させ、再度  を押してリセットします。

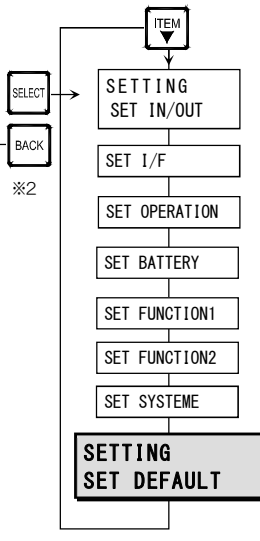


例：設定をリセットする場合

ホームメニュー



設定グループ





確認


[SELECT] = OK
[BACK] = Cancel

リセット

SETTING
SET DEFAULT

ポイント

- ※1.  を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。
- ※2. 階層を戻るときは、 を押します。

- ⑥  でホームメニューに戻ります。

ご注意

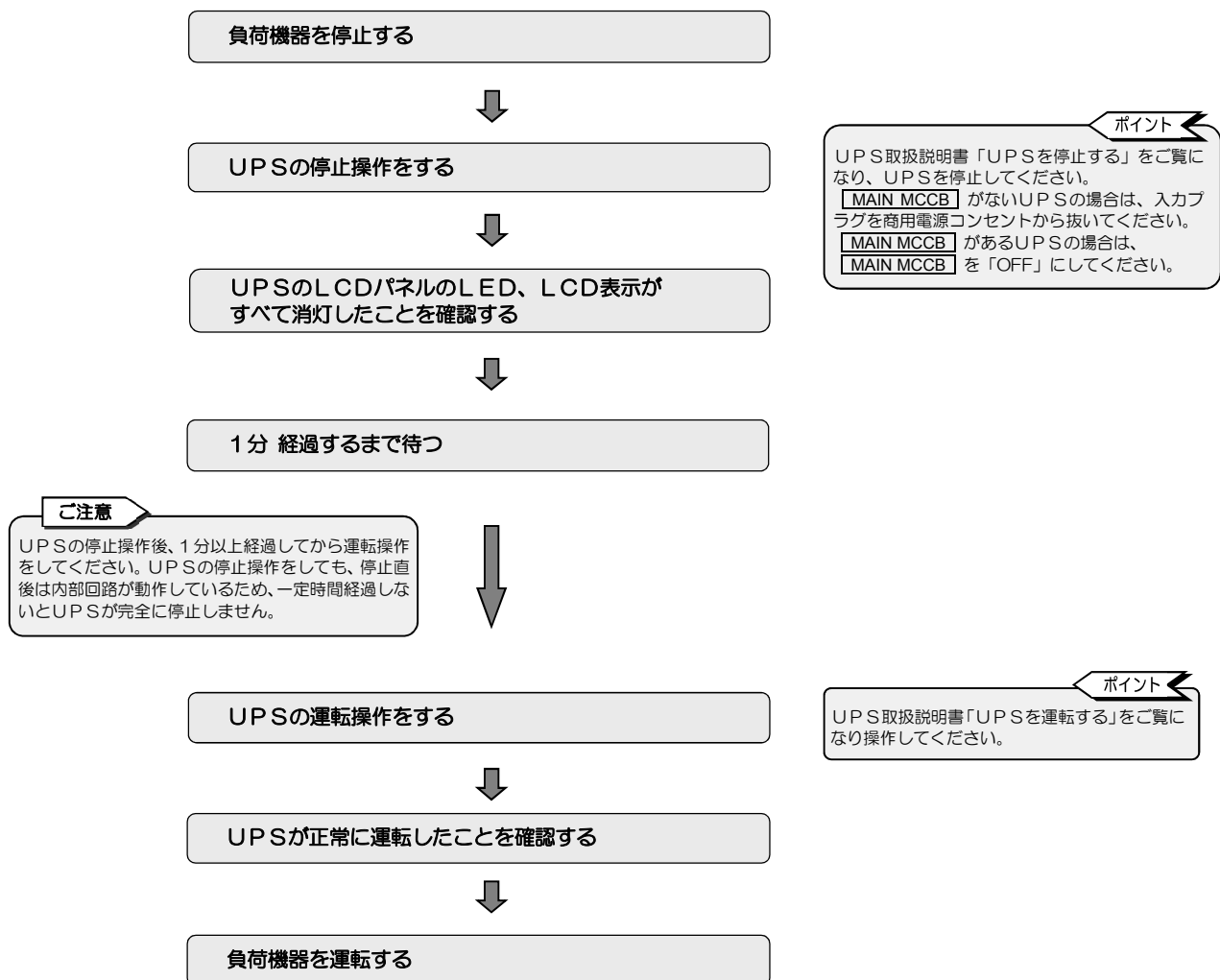
リセット操作により、UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された場合は、UPSの再起動が必要です。この場合、UPS状態表示に「Req To Restart」が表示されますので、「3.37 UPSを再起動する」をご覧になり、UPSを再起動してください。UPSを停止するときは、必ず負荷機器を停止してください。

3.37 UPSを再起動[※]する

※ 再起動とは・・・

運転中のUPSをいったん停止し、もう一度運転することです。
LCDパネル操作説明書（本書）、またはUPS取扱説明書に、設定メニューの設定値変更を有効にするときなど「UPSを再起動してください。」と記載されている場合は、運転中のUPSを停止し、指定された時間が経過してから、再度UPSを運転してください。

9～10 ページの設定項目一覧表の設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。「★」印のメニューの設定値を変更した場合は、下記の手順をご覧になり、UPSを再起動してください。UPSの停止、起動操作はUPSのモデルにより異なります。詳細はUPS取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」の項目をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。



このページは空白です。

4. UPSの操作をする

「UPSの起動・停止」、「バッテリーテスト」、「バイパス切換」の3つの操作を、コントロールメニューから実行することができます。操作方法の詳細は、4.1～4.4の各項目をご覧ください。

操作項目一覧表

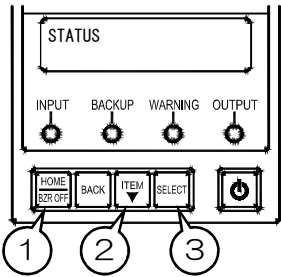
ホームメニュー：CONTROL

操作項目		表示項目		表示内容				参照項目	参照ページ
表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
INV ON	UPSの起動	[SELECT] = OK	起動	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了	4.1	50
		[BACK] = Cancel	取り消し						
INV OFF	UPSの停止	[SELECT] = OK	停止	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了		
		[BACK] = Cancel	取り消し						
BATTERY TEST	バッテリーテスト	Start	テスト実行	[SELECT] = OK	実行する	Control NG	実行中止	4.2	51
				[BACK] = Cancel	取り消し	Control OK	正常終了		
		Cancel (バッテリーテスト中)	テスト中止	[SELECT] = OK	中止する	Control NG	実行中止		
				[BACK] = Cancel	テスト継続	Control OK	正常終了		
		Status	テスト状態	BATTST Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能	4.3	53
						Impossible	テスト開始不可		
						Testing	テスト中		
				Last Test Time	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
		Last Result	前回の テスト結果	BATTST:OK	正常	4.4	54		
				BATTST:NG	異常				
BATTST:No Result	前回履歴なし								
BATTST>Error	エラー								
		BATTST:Suspended	中断						
BYPASS	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = OK	切り換える	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了		
		[BACK] = Cancel	取り消し						

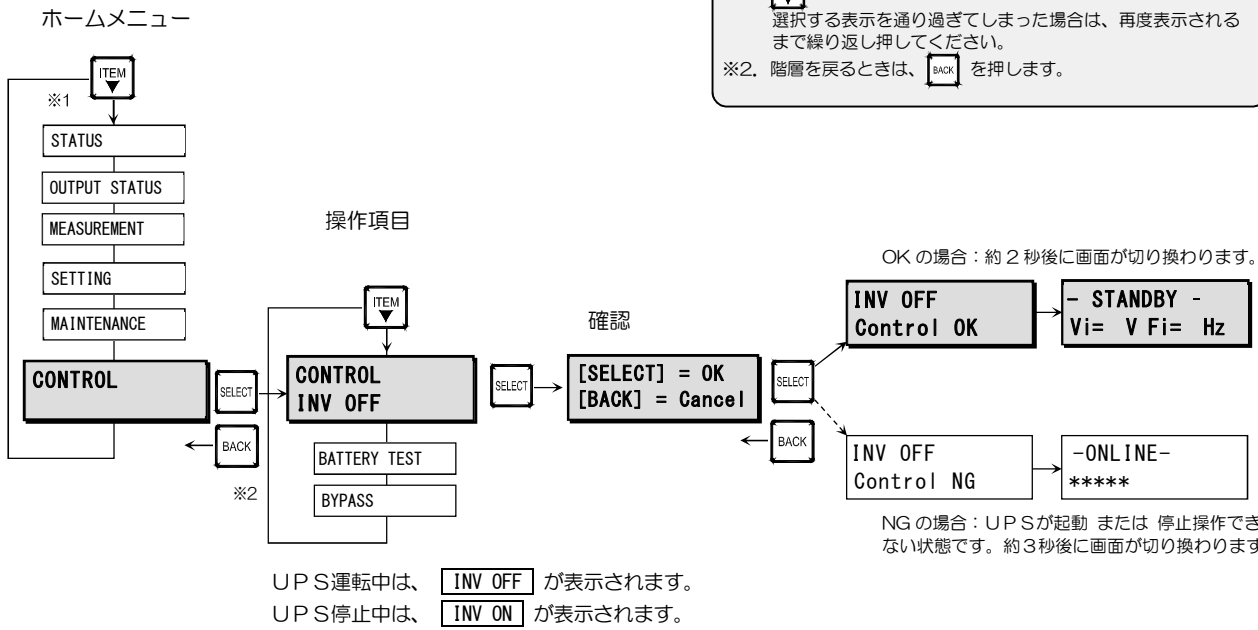
4.1 UPSを起動する または 停止する

LCDパネルのコントロールメニューから、UPSの起動、停止の操作をすることができます。UPSを停止するときには、必ず事前に負荷機器を停止してください。

- ① **HOME BZR OFF** を押してLCD画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で操作する項目を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



例：UPSを停止する



起動・停止操作についてのご注意

下記の状態のときは、操作はできません。

- 起動操作ができない状態
 - ① インバータ起動中
 - ② 入力電圧、入力周波数が定格範囲外の場合
 - ③ UPS故障中
 - ④ Remote OFF 信号連続入力中
 - ⑤ インバータ/バイパス切換スイッチが「BYP.」側の場合
 - ⑥ 通常運転中
- 停止操作ができない状態
 - ① バイパス運転中
 - ② インバータ停止中

ON/OFFボタンによる起動・停止操作

LCDパネルの **ON/OFF** ボタンでも、UPSの起動・停止操作ができます。詳細は、UPS取扱説明書「4.2 UPSの運転操作」をご覧ください。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

4.2 バッテリテストをする

バッテリーの状態をテストします。出荷時、自動バッテリーテストは実施されないように設定されています。

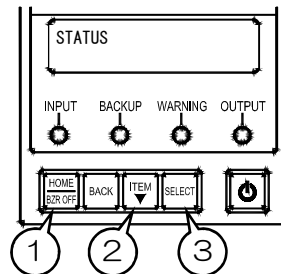
手動でバッテリーテストをする場合は下記の手順で実施してください。

バッテリーテストは負荷を停止させることなく実施できます。ただし、バッテリーテスト実施前にUPSがバッテリー運転をしていると、バッテリーテスト結果が異常になることがあります。バッテリーテスト前にUPSがバッテリー運転をしていない状態で実施してください。

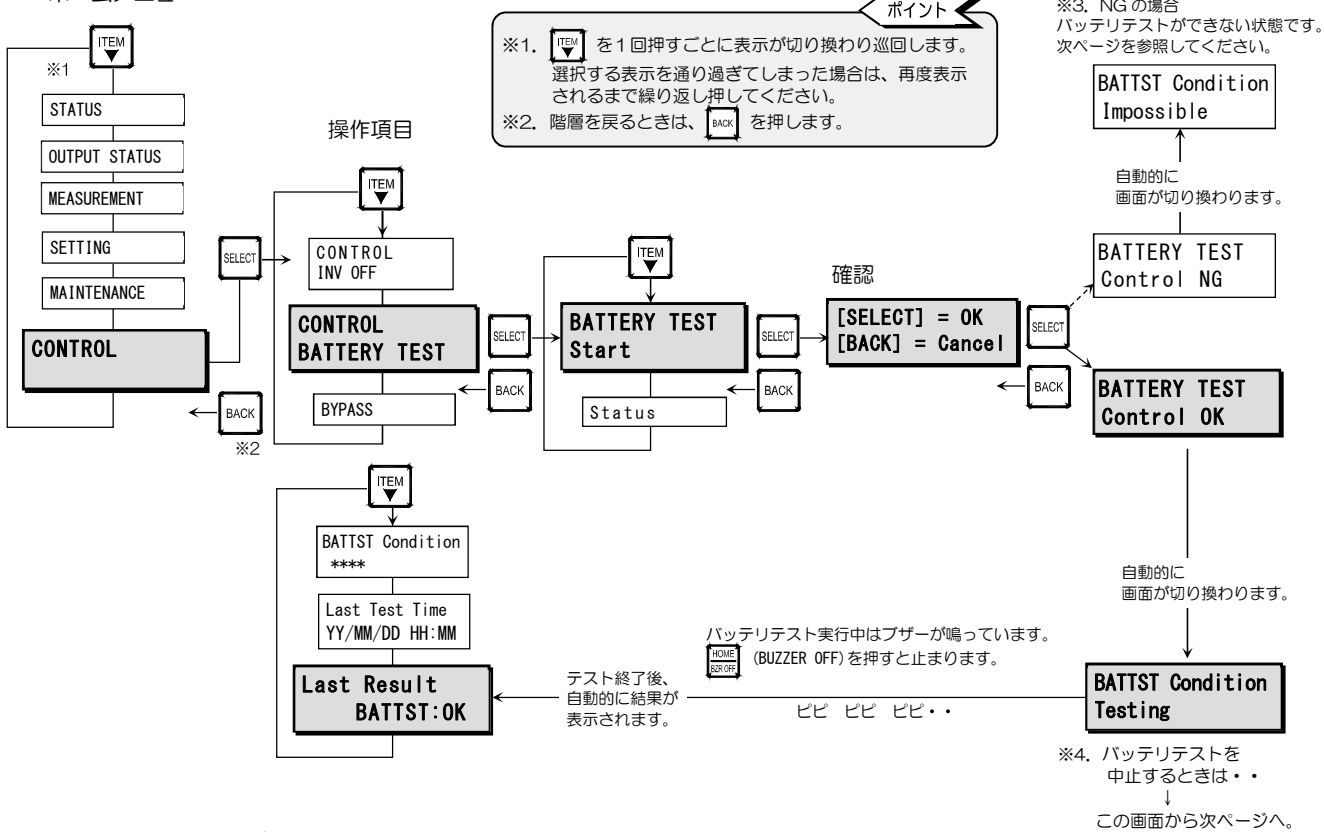
ポイント

- バッテリテストを実施する時間(分)を設定することができます。「3.17 バッテリテストの実行時間を設定する」をご覧ください。
- 自動で定期的にバッテリーテストを実施させる期間(日数)を変更することができます。「3.18 バッテリテストのスケジュールを設定する」をご覧ください。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で操作する項目を切り換え、設定する値を **SELECT** で選択し、確認画面で再度 **SELECT** を押して確定します。



ホームメニュー



バッテリーテストの表示項目

項目		内容	
表示	内容	表示	内容
BATTST Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
		Impossible	テスト開始不可
		Testing	テスト中
Last Test Time	前回のバッテリーテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリーテスト結果がない状態です。
Last Result	バッテリーテスト結果	BATTST:OK	バッテリーは正常です。
		BATTST:NG	バッテリーが異常の可能性が有ります。
		BATTST:No Result	バッテリーテストの前回履歴がありません。
		BATTST:Error	エラー発生。何らかの要因によりバッテリーテストができませんでした。
		BATTST:Suspended	テストが中断されました。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります

バッテリーテストについてのご注意

判定結果は目安です。正常と判定された場合でもUPS取扱説明書の「6.2 バッテリーの点検」をご覧ください。バッテリーが劣化している場合は購入先または当社までご連絡ください。

バッテリーテストができない状態

▶ 下記の①～⑧の状態のときは、バッテリーテストはできません。UPS取扱説明書「8. こんなときには・・・」をご覧ください。対処してください。

- ① インバータ停止中
- ② バイパス給電中
- ③ バッテリー運転中
- ④ バッテリーテスト実行中（自動、手動、電源管理ソフトウェアによるバッテリーテスト実行中は、バッテリーテストの操作はできません。）
- ⑤ UPS故障
- ⑥ バイパスブレーカトリップ
- ⑦ バッテリー温度異常発生
- ⑧ バッテリー充電率が「3.16 バッテリー電圧低下警告発生のタイミングを設定する」で設定した値未満のとき

バッテリーテストの中断について

▶ バッテリーテスト中にテストを中止する場合は・・・

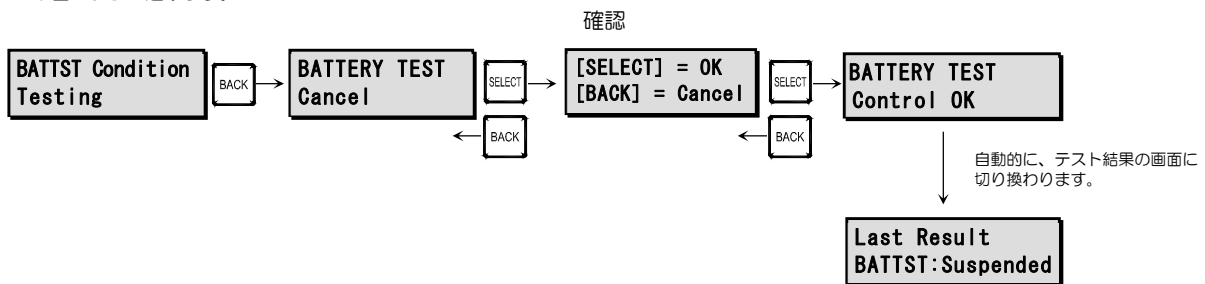
LCD画面に「Cancel」が表示されている状態で を押します。 ⇒ UPSは通常運転に戻ります。

▶ バッテリーテスト中に①～⑥のことが発生、または⑦～⑩の操作をした場合はバッテリーテストは中止されます。

- | | |
|-----------------|--|
| ① 入力（電圧、周波数）の異常 | ⑦ インバータ/バイパス切換スイッチを切り換えた。 |
| ② UPS故障 | ⑧ <input type="button" value="MAIN MCCB"/> を「OFF」にした。（ <input type="button" value="MAIN MCCB"/> があるUPSの場合） |
| ③ 出力過電流 | ⑨ UPSのOFF操作をした。 |
| ④ バイパスブレーカトリップ | ⑩ 電源管理ソフトウェアでバッテリーテスト中止を実行。 |
| ⑤ バッテリー温度異常発生 | |
| ⑥ バッテリー電圧低下発生 | |

※3. 「Control NG」が表示され、バッテリーテストが実行されなかったときは、UPSが上記のバッテリーテストができない状態になっている可能性があります。 で戻り、UPSの状態を確認し、再度操作をしてください。

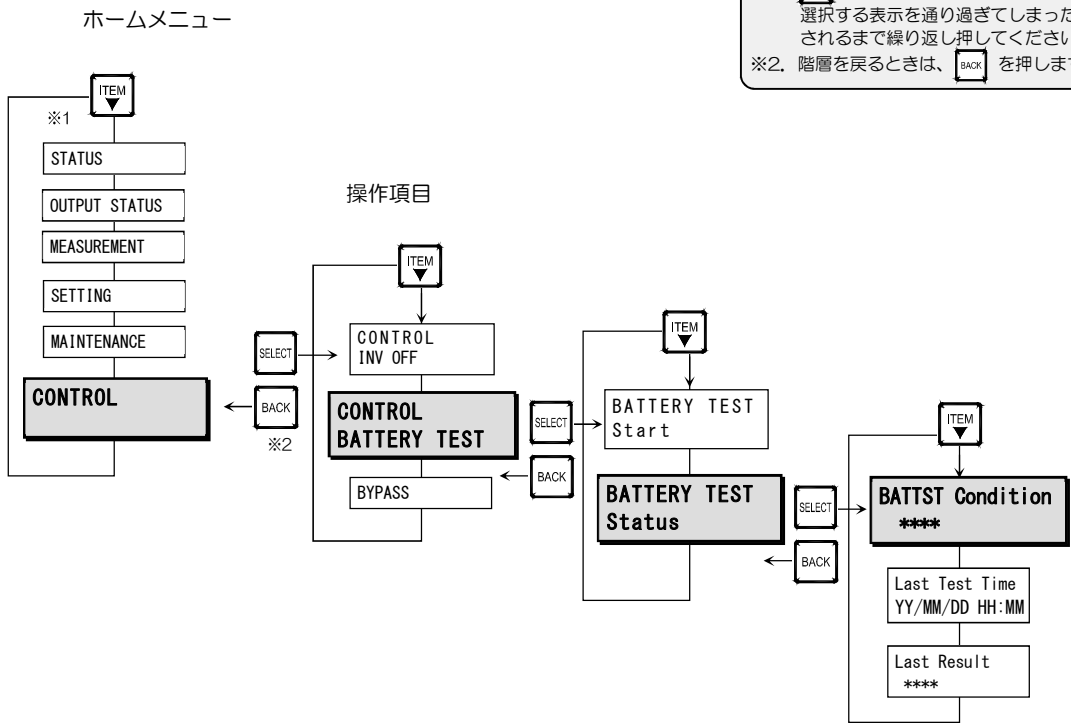
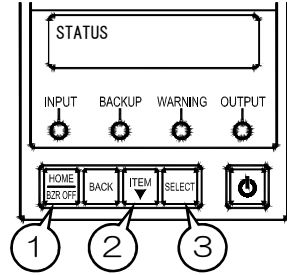
※4 バッテリーテストを中止するときは・・・
下図のように進みます。



4.3 バッテリテストの結果を見る

自動的に実施されたバッテリテスト、または手動で実施したバッテリテストの結果を見ます。

- ① **HOME BZR OFF** を押して LCD 画面を表示させます。
- ② **ITEM** を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ **SELECT** を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ **ITEM** で操作する項目を切り換え、**SELECT** で選択し、表示させます。



ポイント

※1. **ITEM** を1回押すごとに表示が切り換わり巡回します。選択する表示を通り過ぎてしまった場合は、再度表示されるまで繰り返し押ししてください。

※2. 階層を戻るときは、**BACK** を押します。

バッテリテストの表示項目

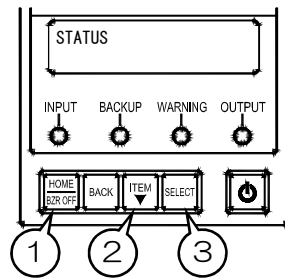
項目		内容	
表示	内容	表示	内容
BATTST Condition	テスト状態	Possible	テスト開始可能
		Impossible	テスト開始不可
		Testing	テスト中
Last Test Time	前回のバッテリテスト実施日時	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時分 「**/**/** **:**」が表示された場合は、前回のバッテリテスト結果がない状態です。
Last Result	前回のバッテリテスト結果	BATTST:OK	バッテリーは正常です。
		BATTST:NG	バッテリーが異常の可能性ががあります。
		BATTST:No Result	バッテリテストの前回履歴がありません。
		BATTST:Error	エラー発生。何らかの要因によりバッテリテストができませんでした。
		BATTST:Suspended	テストが中断されました。

- ⑥ **HOME BZR OFF** でホームメニューに戻ります。

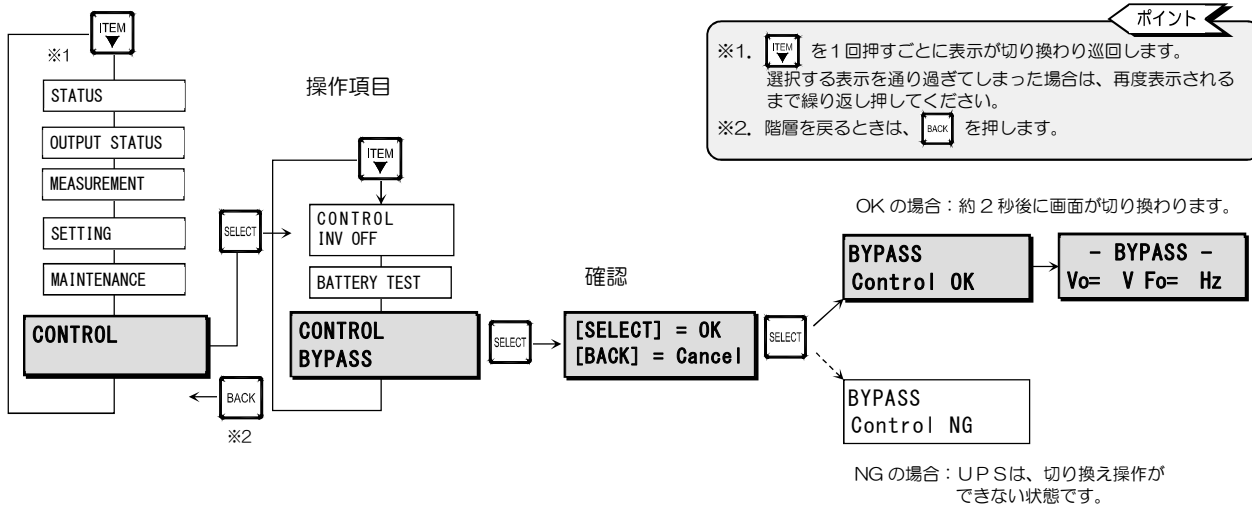
4.4 バイパス運転に切り換える

UPSの保守時、万一の故障時などに、下記の操作でバイパス運転に切り換えることができます。

- ① を押してLCD画面を表示させます。
- ② を押してホームメニューを切り換え、下図に示す画面を表示させます。
- ③ を押して決定します。
- ④ 同様に、それぞれの階層で、下図に示す画面を選択し、「ホームメニュー」→「操作項目」へ進みます。
- ⑤ で操作する項目を切り換え、 で選択し、確認画面で再度 を押して確認します。



ホームメニュー



バイパス運転切り換えについてのご注意

- UPSが故障し、出力が停止している場合は、上記の操作でバイパス運転へ切り換えることはできません。
- UPSが同期運転中は無瞬断でバイパス運転へ切り換わります。
- UPSの正面パネル内部にあるインバータ/バイパス切換スイッチの操作により、バイパス運転に切り換えることもできます。
- バイパス運転中に下記の状態になると出力供給が停止しますのでご注意ください。
 - **MAIN MCCB** または **BYPASS MCCB** を「OFF」にした場合。
 - 入力過電圧になった場合。
 - 「3.9 入力異常時のバイパス給電切り換え 有効/無効 を設定する」で「Disabled」（無効）に設定した場合、入力電圧が低下したとき、または入力周波数異常になったとき。
- バイパス運転中にUPSを停止（入カプラグを抜く、または **MAIN MCCB** を「OFF」）した後、再度起動した場合、UPSはバイパス運転にはならずスタンバイ状態になります。下記のAまたはBの操作をすると、インバータ運転になります。

バイパス運転からインバータ運転への切り換え方法

下記のAまたはBの操作でインバータ運転へ切り換えます。

- A. LCDパネルの ボタンを押してON操作をします。
- B. 「4.1 UPSを起動する または 停止する」の操作項目で「CONTROL INV ON」を選択します。操作手順は「4.1 UPSを起動する または 停止する」をご覧ください。

ただし、上記のAまたはB操作をしても、入力電圧が異常な場合はインバータ運転に切り換わりません。また、入力周波数が「3.2 周波数変動範囲を設定する」で設定した値（±1%、±3%、±5%、±7%）の範囲内ないとインバータ運転に切り換わりません。

- ⑥ でホームメニューに戻ります。

5. メンテナンスメニュー（サービス員^{*}用）

メンテナンスメニューは、UPSのメンテナンスをするときに使用するサービス員用のメニューです。メンテナンスメニューの項目は「6. メニュー一覧表」に記載されていますが、お客様は操作をしないでください。

操作方法はサービス員用の保守説明書に記載されています。

^{*} サービス員について

電気設備施工に関する専門知識を有するサービス技術員、または当社および当社から委託された本製品の知識を有するサービス技術員を指します。当該サービス員以外は施工・保守作業を実施しないでください。

6. メニュー一覧

1. STATUS / 状態

ホームメニュー	UPS 運転モード		状態表示			
	表示	内容	表示	内容	表示	内容
STATUS UPS の状態表示	STANDBY	待機中	Input Error	入力異常	Batt Vol End	バッテリー放電終止
	ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	Batt Vol Low	バッテリー電圧低下
	BYPASS	バイパス運転中	Input Vol High	入力過電圧	Batt Vol Error	バッテリー電圧異常 (軽故障)
	BATTERY	バッテリー運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	Over Load	過負荷
	BATT TEST	バッテリーテスト中	INV Vol High	インバータ過電圧 (重故障)	CHG Vol High	充電器過電圧 (重故障)
	SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Low	インバータ電圧低下 (重故障)	CHG Vol Low	充電器不足電圧 (重故障)
			Output Stop (HV)	バイパス出力断 (過電圧)	FAN Error	ファン異常 (軽故障)
			Output Stop (LV)	バイパス出力断 (不足電圧)	EEPROM Error	ROM 異常 (重故障)
			Byp MCCB Error	バイパスブレーカ異常 (軽故障)	Arrestor Error	避雷器異常 (軽故障)
			Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	LCD COM Error	LCD パネルとの通信異常 (軽故障)
			Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	DSP Error	コントローラ異常 (重故障)
			LF= % CHG= %※1	負荷率 %、 バッテリー充電率 %	BUS Error	直流電圧異常 (重故障)
			Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	Fin Temp Error	フィン温度異常 (重故障)
			Remote	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中	Minor Error	軽故障
			Remote OFF	Remote OFF による停止中	Fatal Error	重故障
			Wakeup Wait	復電時確認時限中	ChgRate Wait	充電率起動待ち中
			Wakeup = s	スケジュール起動遅延中	Linked ON = s	連動 ON 遅延中
			Shutdown= s	スケジュール停止遅延中	Linked OFF= s	連動 OFF 遅延中
			Batt Temp Error	バッテリー温度異常 (軽故障または重故障※3)	Req To Restart	再起動要
			BMS COM Error※2	バッテリーとの通信異常 (軽故障)	COM Error	UPS 内部の通信異常 (軽故障)
		Over Discharge	過放電 (軽故障または重故障※3)	Over Charge	過充電 (重故障)	
		Batt FET Error	バッテリー FET 異常 (重故障)	Cell Balance Err	セルバランス異常 (重故障)	

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. Battery Management System : バッテリーマネジメントシステムの略。

※3. UPS の状態により、軽故障の場合と重故障の場合があります。

2. OUTPUT STATUS／出力状態

ホームメニュー	出力状態			
	表示	内容	表示 ^{※1}	内容
OUTPUT STATUS 出力状態	OUT0, A, B, C	OUTPUT0,A,B,C コンセントの電力供給状態	ON	電力供給中
			OFF	電力供給停止
	OUT1	OUTPUT1 コンセント の電力供給状態	ON	電力供給中
			OFF	電力供給停止
			OUT1 ON OFF Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により OFF 遅延実行中
			OUT1 OFF ON Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により ON 遅延実行中
	OUT2	OUTPUT2 コンセント の電力供給状態	ON	電力供給中
			OFF	電力供給停止
			OUT2 ON OFF Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により OFF 遅延実行中
			OUT2 OFF ON Delay **s	系統コントロール運転の OFF 遅延時間の設定 により ON 遅延実行中

※1. 出力状態により、いずれかの状態が表示されます。

3. MEASUREMENT／計測

ホームメニュー	計測項目		計測値表示	
	表示	内容	表示	内容
MEASUREMENT 計測値表示	INPUT	入力計測値	Vin = V	入力電圧
			Fin = Hz	入力周波数
	OUTPUT	出力計測値	Vout = V	出力電圧
			Iout = A ^{※1}	出力電流
			Watt = kW ^{※1}	出力電力(W)
			VA = kVA ^{※1}	出力電力(VA)
			LF = % ^{※1}	負荷率
			Fout = Hz	出力周波数
	BATTERY	バッテリー計測値	Vbatt = V	バッテリー電圧
			Ibatt = A	バッテリー放電電流
			ChgRate = %	バッテリー充電率
			RunTm = h m ^{※1}	バッテリー残保持時間
			Battery Health % ^{※2}	バッテリー状態
			Power Failure Times	停電発生回数
	CHARGER	充電器計測値	Vchg = V	充電器電圧
			Ichg = A	充電器電流
	TEMPERATURE	温度計測値	T-Amb = °C	周囲温度
			T-Batt = °C	バッテリー温度

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. バッテリーの容量率を示します。UPS取扱説明書「6.2 バッテリーの点検」をご覧ください。

ホームメニュー	設定グループ	設定項目		設定値		初期設定	
		表示	内容	表示	内容		
SETTING 各種の設定	SET IN/OUT 入出力設定	Voltage	電圧 ★ *1	UPS の電圧を設定。 出力電圧と入力電圧は同一。	100V	出力電圧100V	※
					110V	出力電圧110V	
					120V	出力電圧120V	
		FREQ Range	周波数変動範囲 ★ *1	出力周波数の変動範囲(%)を設定。	1%	±1%	
					3%	±3%	※
					5%	±5%	
	7%				±7%		
	SET I/F インタフェース設定	Interface	インタフェース	外部インタフェース部のコネクタ 使用時のインタフェースを設定。	Standalone	スタンドアロン	
					WS	ワークステーション	※
		Baud Rate	通信ボーレート	パーソナルコンピュータ、LAN イン タフェースカード、ワークステーショ ン接続時の通信ボーレートを設 定。	9600	9600bps	※
					4800	4800bps	
	SET OPERATION 動作設定	Start Condition	復電時の動作	停電発生時、バッテリー放電終 止によるUPS 停止後、商用電源が 復電した場合のUPS の動作を 設定。	Auto	自動起動	※
					STOP	停止	
					BATT>30%	充電率30%以上で起動	
					BATT>50%	充電率50%以上で起動	
		BUZZER	ブザー音	ブザー音が鳴る条件を設定。	ALL	すべて	
					Group #0	グループ0	※
					Group #1	グループ1	
Group #2					グループ2		
OVERLOAD		過負荷時の動作	過負荷によるバイパス給電への 切替後の動作を設定。	Auto Ret BYP	バイパス自動復帰		
				Stay on BYP	過負荷時バイパス給電	※	
Output @OFF		OFF 時 給電状態 ★ *1	UPS 停止時の給電状態を設定。	OFF	出力停止	※	
Byp OPE. @InputLV		入力異常時の バイパス給電	入力異常時のバイパス給電への 切り換え 有効/無効を設定。	Enabled	有効	※	
				Disabled	無効		
MinorErr Signal		軽故障時の転送 信号	軽故障発生時に転送信号を送出 する/しないを設定。	Output	送出する	※	
				None	送出しない		
Test Err Signal		装置異常の疑似 転送信号送出	試験用の装置異常の転送信号を送 出。	Output	送出する		
				None	送出しない	※	
Tst BatLV Signal		バッテリーLVの擬 似転送信号送出	試験用のバッテリー電圧低下の転送 信号を送出。	Output	送出する		
	None			送出しない	※		
Bat Start Freq.	バッテリー起動時 出力周波数	バッテリー電力で起動するときの 出力周波数を設定。	50Hz	50Hz			
			60Hz	60Hz			
			Disabled	無効	※		
Input LV Level	入力電圧の下限	負荷率により入力電圧の下限が 切り換わる/固定を設定。	Variable	切り換わる	※		
			Fixed	固定			
CHGCUR Value	バッテリー 充電電流値	負荷率によりバッテリー充電電流値 が切り換わる/固定を設定。	Variable	切り換わる	※		
			Fixed	固定			
SET BATTERY バッテリー設定	BATLV Timing	バッテリーLV タイミング	バッテリー電圧低下警告の 発生タイミングを設定。	BATT<10%	バッテリー充電 残り10%		
				BATT<20%	バッテリー充電 残り20%		
				BATT<30%	バッテリー充電 残り30%	※	
				BATT<40%	バッテリー充電 残り40%		
				BATT<50%	バッテリー充電 残り50%		
	BATT TST Length	バッテリーテスト 時間	バッテリーテストの実行時間を設定。	2 Min.	2分間実行	※	
				5 Min.	5分間実行		
				10 Min.	10分間実行		
				15 Min.	15分間実行		
				30 Min.	30分間実行		
	BATT TST Period	バッテリーテスト 周期	自動的に実施されるバッテリー テストの期間(日数)を設定。	90 Days	90日で自動テスト		
				30 Days	30日で自動テスト		
180 Days				180日で自動テスト			
None				自動テストしない	※		

ホームメニュー	設定グループ	設定項目		設定値		初期設定	
		表示	内容	表示	内容		
SETTING 各種の設定	SET FUNCTION1 機能設定 1	Output Ctrl	系統コントロール有無 ★ *1, *2	出力コンセントの系統コントロール有効/無効の設定	Enabled Disabled	有効 無効	※
		OUTPUT OPE.	OUTPUTOの動作 *2	OUTPUT1,2コンセント停止後のOUTPUTOの動作を設定。	Stop Continue	給電停止 給電継続	※
		OUT1 ON Delay	OUTPUT1 ON遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT1コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※
					5 Sec.	5秒	
					30 Sec.	30秒	
					1 Min.	1分	
					5 Min.	5分	
		OUT2 ON Delay	OUTPUT2 ON遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS起動後、OUTPUT2コンセントから電力供給を開始するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※
					6 Sec.	6秒	
					35 Sec.	35秒	
					1 Min.30 Sec	1分30秒	
					5 Min.30 Sec	5分30秒	
		OUT1 OFF Delay	OUTPUT1 OFF遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS停止後、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントから電力供給を停止するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※
					10 Sec.	10秒	
					30 Sec.	30秒	
1 Min.	1分						
3 Min.	3分						
OUT2 OFF Delay	OUTPUT2 OFF遅延時間 *2	系統コントロール時、UPS停止後、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントから電力供給を停止するタイミングを設定。	0 Sec.	0秒	※		
			10 Sec.	10秒			
			30 Sec.	30秒			
			1 Min.	1分			
			3 Min.	3分			
OUT1 RUN TIM @PF	OUTPUT1 停電時運転時間 *2	停電発生時、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントがバックアップを開始してから電力供給を停止するまでの時間を設定。	BATT END	放電終止まで	※		
			0 Sec.	0秒			
			30 Sec.	30秒			
			1 Min.	1分			
			3 Min.	3分			
OUT2 RUN TIM @PF	OUTPUT2 停電時運転時間 *2	停電発生時、OUTPUT1またはOUTPUT2コンセントがバックアップを開始してから電力供給を停止するまでの時間を設定。	0 Sec.	0秒	※		
			10 Sec.	10秒			
			30 Sec.	30秒			
			1 Min.	1分			
			3 Min.	3分			
Linked ON Delay	連動ON遅延時間 *3	複数台のUPSを連動運転する場合のON/OFF遅延時間を設定。	0 Sec.	0秒	※		
			10 Sec.	10秒			
			30 Sec.	30秒			
			1 Min.	1分			
			3 Min.	3分			
Linked OFF Delay	連動OFF遅延時間 *3	複数台のUPSを連動運転する場合のON/OFF遅延時間を設定。	0 Sec.	0秒	※		
			10 Sec.	10秒			
			30 Sec.	30秒			
			1 Min.	1分			
			3 Min.	3分			
SETTING 各種の設定	SET FUNCTION2 機能設定 2	RING Output	RING動作	UPS起動時にRING信号を出力する/しないを設定。	Output None	出力する 出力しない	※
		Polarity:PF	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性	PC I/F RS-232Cの停電信号の極性を設定。	Positive	正	※
					Negative	負	
		Polarity:BatLV	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性	PC I/F RS-232Cのバッテリー電圧低下信号の極性を設定。	Positive	正	※
					Negative	負	
		Recov. Chk Time	復電時確認時間	復電時、商用電源が復旧したとUPSが認識するまでの時間を設定。	0 Sec.	0秒	※
					10 Sec.	10秒	
					30 Sec.	30秒	
					60 Sec.	60秒	
		Air Filter	エアフィルタ使用の有無	エアフィルタを使用する/しないを設定。	Use No Use	使用する 使用しない	※
		Out Vol Adj.	出力電圧調整	定格電圧に対する調整値を設定。 1段階で約1Vの調整。	-5	5段階マイナス	
					-4	4段階マイナス	
					-3	3段階マイナス	
					-2	2段階マイナス	
					-1	1段階マイナス	
0	調整しない				※		
+1	1段階プラス						
+2	2段階プラス						
+3	3段階プラス						
+4	4段階プラス						
+5	5段階プラス						
SET SYSTEM システム設定	DATE/TIME	年月日/時刻	UPSの時刻を設定。	DATE YY/MM/DD TIME HH:MM:SS	月日 年/月/日 時刻 時:分:秒		
SET DEFAULT 設定値 初期化	SET DEFAULT	工場出荷時の状態にリセット。		-	-	-	

ご注意

- *1. 設定項目欄に「★」印があるメニューは、設定変更後にUPSを再起動しないと設定値が有効になりません。設定変更をした場合は「3.37 UPSを再起動する」をご覧ください。UPSを再起動してください。UPSの運転操作の詳細はUPS取扱説明書をご覧ください。UPSを停止するときは、必ず事前に負荷機器を停止してください。
- *2. UPSを複数台接続し連動運転をする場合は、オプションの接続ケーブル、リモートスイッチが必要です。

5. CONTROL/操作

ホームメニュー	操作項目		表示項目		表示内容					
	表示	内容	表示	内容	表示	内容	表示	内容		
CONTROL UPSの操作	INV ON	UPSの起動	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	起動 取り消し	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了		
	INV OFF	UPSの停止	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	停止 取り消し	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了		
BATTERY TEST	バッテリーテスト	バッテリーテスト	Start	テスト実行	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	実行する 取り消し	Control NG Control OK	実行中止 正常終了		
			Cancel (バッテリーテスト中)	テスト中止	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	中止する テスト継続	Control NG Control OK	実行中止 正常終了		
			STATUS	テスト状態	BATTST Condition	テスト状態	Possible Impossible Testing	テスト開始可能 テスト開始不可 テスト中		
					Last Test Time	前回テスト実施日	YY/MM/DD HH:MM	年/月/日 時:分		
					Last Result ※1	前回のテスト結果	BATTST:OK	正常		
							BATTST:NG	異常		
BATTST:No Result	前回履歴なし									
BATTST:Error	エラー									
BATTST:Suspended	中断									
BYPASS	バイパス運転 切り換え	[SELECT] = OK [BACK] = Cancel	切り換える 取り消し	Control NG	実行中止	Control OK	正常終了			

6. MAINTENANCE/保守 (サービス員専用)

ホーム メニュー	操作グループ	表示項目		項目			
		表示	内容				
MAINTENANCE メンテナンス	SYSTEM システム	FAIL HIST	故障履歴	HIST # (1~20)	故障履歴表示 最大 20 件まで保存		
		OPE. HIST	操作履歴	HIST # (1~30)	操作履歴表示 最大 30 件まで保存		
	INTERNAL INFO.	バッテリー情報	BATTERY INFO.	バッテリー情報	Power Failure Times	停電発生回数	
					INV OPE. Time Hours	UPS 運転積算時間	
					Backup OPE. Time Sec.	バッテリー運転積算時間	
					Last Test Time YY/MM/DD HH:MM	前回のテスト実施日	
					Last Result ※1	前回のテスト結果	
	RESET BATT INFO.	バッテリー情報リセット					
	Unit INFO.	システム情報	UPS Model	UPSモデル名	Pow Dist Num	出力系統数	
			ROM Ver.	プログラムバージョン	Always Out	常時出力の有無	
			Run Time	定格バックアップ時間	Serial ID	シリアル番号	
			Out Capa	定格容量	P1-CONT Ver.	CONTプログラムバージョン	
Input Phases			入力相数	P3-LCD Ver.	LCDプログラムバージョン		
Output Phases			出力相数	P8-I/F Ver.	I/Fプログラムバージョン		
Rated voltage			定格入力電圧	—	—		

※1. 「MAINTENANCE」メニューの Last Result の項目は、「CONTROL」メニューの Last Result と同じです。

7. 状態表示説明

ホームメニュー「STATUS」でLCD画面に表示されるUPS状態の詳細は下表のとおりです。
お客様で対応できない場合、UPSの故障時は、購入先または当社までご連絡ください。

UPS運転モード		状態表示		
表示	内容	表示	内容	詳細 および 対応
STANDBY	待機中	Input Error	入力異常	入力電源の瞬断が検出されました。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態を確認してください。
ONLINE	オンライン	Input Freq Err	入力周波数異常	入力電源が許容周波数範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態を確認してください。
BYPASS	バイパス運転中	Input Vol High	入力過電圧	入力電源が許容電圧範囲を超えています。通常運転中に発生した場合は、自動的にバッテリーからの給電に切り換わります。頻繁に発生する場合は、入力電源状態および、UPSの周波数設定を確認してください。
BATTERY	バッテリー運転中	Input Vol Low	入力電圧低下	同上
BATT TEST	バッテリーテスト中	INV Vol High	インバータ過電圧(重故障)	インバータ出力電圧の異常が検出されました。UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
SYS FAILURE	システム故障中	INV Vol Low	インバータ電圧低下(重故障)	同上
		Output Stop (HV)	バイパス出力断(過電圧)	バイパス運転中に入力過電圧が検出されたため、給電が停止しました。
		Output Stop (LV)	バイパス出力断(不足電圧)	バイパス運転中に入力電圧低下が検出されたため、給電が停止しました。
		Byp MCCB Error	バイパスブレーカ異常(軽故障)	バイパスブレーカ「BYPASS MCCB」が「OFF」になっています。または、出力の過負荷、短絡によりバイパスブレーカがトリップしています。接続している負荷機器を減らしてください。
		Vo= V Fo= Hz	出力電圧、出力周波数	出力電圧、出力周波数
		Vi= V Fi= Hz	入力電圧、入力周波数	入力電圧、入力周波数
		LF= % CHG= % ※1	負荷率 %、バッテリー充電率 %	負荷率 %、バッテリー充電率 %
		Bypass SW ON	バイパススイッチ ON	インバータ/バイパス切換スイッチが「BYP」になっています。
		Over Load	過負荷	UPSに接続されている負荷機器が多く、UPSの定格容量を超えています。接続している負荷機器を減らしてください。
		Remote	遠隔操作によるバッテリーテスト実行中	電源管理ソフトウェアからの遠隔操作により、バッテリーテスト実行中です。
		Remote OFF	Remote OFFによる停止中	リモートOFF信号が入力されているため、インバータの起動操作が中止されました。
		Req To Restart	再起動要	UPSを再起動しないと変更が有効にならない設定項目が変更された後、再起動されていません。「3.37」をご覧ください。UPSを再起動してください。
		Batt Vol Error	バッテリー電圧異常(軽故障)	バッテリーパックが接続されていません。バッテリーパックを確実に搭載してください。接続に異常がない場合は、バッテリーが劣化しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Batt Vol End	バッテリー放電終止	バッテリー放電終止です。
		Batt Vol Low	バッテリー電圧低下	バッテリー電圧が低下しています。
		Linked ON = s	連動ON遅延中	連動運転時のON遅延時間設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは起動します。
		Linked OFF= s	連動OFF遅延中	連動運転時のOFF遅延時間設定によりOFF遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは停止します。
		ChgRate Wait	充電率起動待ち中	復電時のUPS起動条件が充電率に設定されている場合の充電中の状態です。設定された充電率になるとUPSは起動します。
		WakeUp Wait	復電時確認時限中	復電時、UPSが復電したと判断するまでの確認時間の待機中です。
		WakeUp = s	スケジュール起動遅延中	電源管理ソフトウェアのスケジュール運転の設定によりON遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは起動します。
		Shutdown= s	スケジュール停止遅延中	電源管理ソフトウェアのスケジュール運転の設定によりOFF遅延時間実行中です。設定時間経過後、UPSは停止します。
		CHG Vol High	充電器過電圧(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		CHG Vol Low	充電器不足電圧(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		LCD COM Error	LCDパネルとの通信異常(軽故障)	LCDパネルとの通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。
		EEPROM Error	ROM異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		Arrestor Error	避雷器異常(軽故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		DSP Error	コントローラ異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
		BUS Error	直流電圧異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。
FAN Error	ファン異常(軽故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。		
FIN Temp Error	フィン温度異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。		
Minor Error	軽故障	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。		
Fatal Error	重故障	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。		
BMS COM Error	バッテリーの通信異常(軽故障)	バッテリーの通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。		
COM Error	UPS内部の通信異常(軽故障)	UPS内部の通信に異常が発生しています。購入先または当社へご連絡ください。		
Over Charge	過充電(重故障)	バッテリー過充電です。購入先または当社へご連絡ください。		
Over Discharge	過放電(軽故障または重故障 ※2)	バッテリー過放電です。LCD画面に「Minor Error」が表示されている場合は、バッテリーを充電してください。「Fatal Error」が表示されている場合は、購入先または当社へご連絡ください。		
Batt Temp Error	バッテリー温度異常(軽故障または重故障 ※2)	バッテリーの温度が高くなっています。周囲温度を下げてください。		
Batt FET Error	バッテリーFET異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。		
Cell Balance Err	セルバランス異常(重故障)	UPSが故障しています。購入先または当社へご連絡ください。		

※1. 「8 計測情報表示について」をご覧ください。

※2. UPSの状態により、軽故障の場合と重故障の場合があります。

8. 計測情報表示について

バッテリー充電率表示について

- (1) 充電率はUPSの運転時間に応じて増加しますので、UPS取扱説明書「使用前の準備をする」の項目をご覧ください。充電率が100%と表示されるまでの時間は、接続されているバッテリーの構成により異なります。
- (2) バッテリーが正しく接続されていない状態でUPSを運転すると、充電率「ChgRate = %」が正常に表示されません。

バッテリー残保持時間について

- (1) 表示されるバッテリー残保持時間「RunTm = h m」は目安です。実際の保持時間と異なる場合もあります。
- (2) 計画停電などが予定されている場合は、予定時間の12時間以上前にバッテリーテストを実施し、実際にバックアップできることを確認してください。バッテリーテストについては「4.2 バッテリーテストをする」をご覧ください。

バッテリーの充電について

- (1) バッテリー充電率が100%になると、バッテリーの充電は停止します。このとき、充電電圧は「Vchg = 0V」と表示されます。バッテリー充電率が低下するとバッテリーの充電が再開します。

負荷率表示について

- (1) 負荷率が5%未満の場合、負荷率、出力電流、出力電力は「0」と表示されます。
電源管理ソフトウェア (SANUPS SOFTWARE)、またはLANインタフェースカードを使用している場合、電源管理ソフトウェア (SANUPS SOFTWARE)、LANインタフェースカードに表示される値も、負荷率、出力電流、出力電力は「0」となります。